

ちくちん CD ラベルメーカー[®]



ユーザーズマニュアル

はじめに

“らくちん CD ラベルメーカー”をお買い上げいただきましてありがとうございます。

“らくちん CD ラベルメーカー”は、CD・DVDはもちろん、AV/0Aを含む様々なメディアのラベルをらくちんに作成することができるラベル作成ソフトです。

本製品のご使用条件

株式会社メディアナビ（以下「弊社」とします）は、本製品の使用に関し下記の条件を設定しています。

1. 本製品を開封した時点より、本製品の使用条件が有効になります。
2. 本製品を賃貸業（レンタルやリース）に使用することはできません。
3. 本製品の全部または一部を無断で複製・転載したり、第三者に販売・譲渡したりすることはできません。
4. 弊社は、いかなる場合も本製品の使用に起因するどのような事態に対しても一切の責任を負いません。
5. 開封後の返品は、お断りしています。

動作環境

OS	： 日本語 Windows® 10 / 8.1（64ビット/32ビット両 OS 対応） ※64ビット版 Windows では、32ビット互換モード（WOW64）で動作します。 ※デスクトップモードで動作します。
CPU/ メモリ	： ご使用の OS が推奨する環境以上 （高解像度画像の編集・印刷には、128MB 以上のメモリを推奨）
ディスプレイ	： 1024 × 768 ドット、High Color モード（32000 色）以上
ハードディスク	： 300MB 以上 （すべての素材をインストールするには最大 4GB 以上の空き容量が必要）
プリンタ	： 上記環境で動作可能なプリンタ、およびプリンタドライバ
対応イメージデバイス	： TWAIN32 対応のイメージスキャナ、フィルムスキャナ、デジタルカメラなど（すべての TWAIN 機器の動作保証をするものではありません。詳しくは、「3-10-3. TWAIN から取り込む」を参照してください。）

- ・ CD-TEXT 機能の利用には CD-TEXT 対応の CD-ROM ドライブが必要です。
- ・ 音楽 CD の曲データを Windows Media Player から取得するには、Version7 以上の Windows Media Player が必要です。
- ・ DVD または動画のキャプチャには、再生が可能な環境であることが条件となります。

ユーザーサポートについて

“らくちん CD ラベルメーカー” の操作中に問題や疑問が生じた場合は、正規登録ユーザーの方に限りサポート（無料）を受けることができます。

ユーザー登録は、インターネットでのオンライン登録をお願い致します。

登録に必要な「製品シリアル番号」は本製品に同梱されている「ユーザー登録カード」をご参照ください。ダウンロード版の場合は、ご購入時のメール等に記載されます。

パッケージ同梱物一覧

1. DVD-ROM 1 枚
2. クイックスタートガイド 1 冊
3. ユーザー登録カード

注意事項

- “らくちん CD ラベルメーカー” は、Windows 対応のソフトウェアであり、Windows 上での基本操作、関連用語などを理解されている前提で作成されております。Windows 内での基本操作（コピー、削除など）は、Windows のマニュアルやヘルプを参照してください。
- 収録されている写真・イラスト・背景柄などの素材は著作権フリーではございません。営利目的でのご利用はできませんので、ご注意ください。
- “らくちん印刷” に対応していないプリンタでも、通常通りに印刷できます。
- CDDB の利用にはインターネットに接続できる環境が必要です。
- 収録されている写真の一部は digitalvision より使用許諾を得ています。
- 本製品で作成されたラベルはお客様の責任においてご利用ください。

旧バージョン及びLight 版をお使いの方へ

“らくちん CD ラベルメーカー”では、下記の製品（以下、旧バージョンの“らくちん CD ラベルメーカー”）で作成したデータもお使いになれますが、一部表現されない箇所もあります。

- ・ らくちん CD ラベルメーカー 各バージョン
- ・ らくちん CD ラベルメーカー Personal3/Personal2
- ・ らくちん CD ラベルメーカー 10 Personal
- ・ らくちん CD ラベルメーカー Light 3/Light 2/Light
- ・ らくちん CD ラベルメーカー Jr.
- ・ らくちん CD ダイレクトプリント for Canon (Windows 版)

また、旧バージョンの“らくちん CD ラベルメーカー”のいずれかがインストールされた環境で、最新の“らくちん CD ラベルメーカー”をインストールしても、旧バージョンの“らくちん CD ラベルメーカー”も今まで通りに使用できます。

ただし、最新の“らくちん CD ラベルメーカー”のデータを旧バージョンの“らくちん CD ラベルメーカー”で読み込むことはできませんので、ご注意ください。

Windows Media Player/DirectX のインストール

CD の曲名データを Windows Media Player から取得するためには、Version7 以上の Windows Media Player をパソコンにインストールする必要があります。Windows Media Player の最新版は、下記の URL からダウンロードすることができます。

- ・ Windows Media Player (<http://www.microsoft.com/windows/windowsmedia/>)

また、プログラムを安定してお使いいただくためには、定期的にコントロールパネル内の<Windows Update>から Windows をアップデートすることをお奨めいたします。

対応動画ファイル

動画キャプチャ機能に対応した動画ファイルおよび環境は以下の通りです。

■対応動画ファイル

DVD-Video(.vob)、AVI(.avi)、Windows Media Video(.wmv / .asf)、MPEG(.m1v / .m2v / .mp4 / .mov / .mpg / .mpeg / .3gp / .3g2)、Real Media(.rm / .rmvb)、Flash Video(.flv)、Digital Video(.dv)、その他

■ハードウェア環境

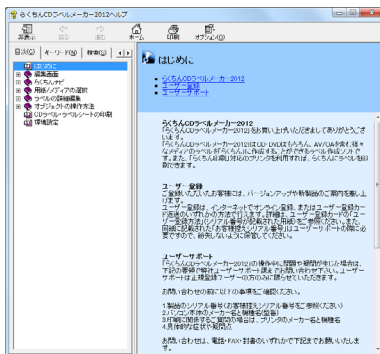
- ・ DVD 取り込みの場合は、DVD の動画再生が可能な環境

※対応動画形式であっても、すべてのファイルの対応を保証するものではありません。
 ※ CSS または、他のデジタル著作権保護で保護された DVD をリッピングすることはできません。
 また、取り込んだデータおよび印刷物の利用は、個人で楽しむ為の用途のみに留めてください。

ヘルプについて

“らくちん CD ラベルメーカー” の使用中の疑問はヘルプで解決できます。

ヘルプを表示させたいダイアログで、メニュー〈ヘルプ (H)〉>らくちん CD ラベルメーカーの使い方 (C)〉を選択するか、【F1】キーを押してください。ヘルプ画面が表示されます。



Chapter 1 準備

この章では、“らくちん CD ラベルメーカー” を使用する前に必要な準備や、起動後の基本画面を説明します。

1-1. インストール

“らくちん CD ラベルメーカー” を使うには、パソコンのハードディスクドライブ（以下 HDD とします）へ、“らくちん CD ラベルメーカー” DVD-ROM に収録されているアプリケーションや素材データなどを複製する必要があります。この作業をインストールと呼びます。本文の手順を読みながら、**クリック!**にしたがってインストールしてください。

Step 1

Windows を起動します。他のプログラムを起動している場合は、終了します。
“らくちん CD ラベルメーカー” のアプリケーション DVD-ROM をドライブにセットします。

※他のプログラムを起動していると、正しくインストールできない場合があります。

Step 2

数秒待つと DVD-ROM に対して行う操作の案内が表示されます。【Setup.exe の実行】を選択してください。

「らくちん CD ラベルメーカーのセットアップ」のウィンドウが表示されましたら、【らくちん CD ラベルメーカーのセットアップ (S)】を選択してください。

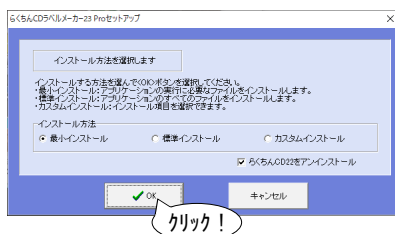


Step 3

インストール方法の選択画面が表示されます。「最小インストール」を選択すると、アプリケーションの起動に必要なデータのみインストールします。

※「最小インストール」した場合は、素材データを読み出す際に、DVD-ROM を DVD ドライブに挿入しておく必要があります。

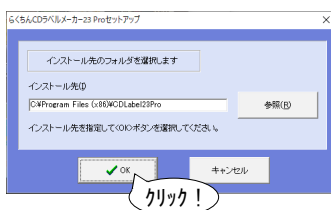
※「カスタムインストール」を選択した場合は、インストールする素材ファイルを選択することができます。



Step 4

インストール先を決定します。

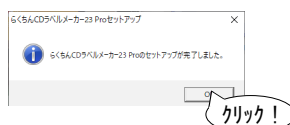
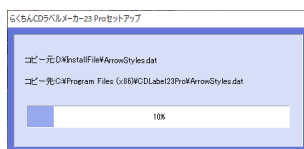
※インストール先を変更したい場合は、【参照】ボタンを押し、フォルダ選択してください。



Step 5

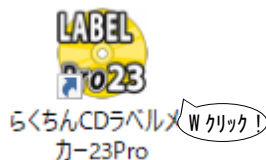
インストールが始まります。

進行状況を示すグラフが表示されたあと、セットアップが完了したことを示すダイアログが表示されますので【OK】ボタンを押します。



Step 6

インストールが終了すると、デスクトップ上に“らくちん CD ラベルメーカー”と書かれたショートカットアイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックします。



Step 7

下図の起動画面が表示されれば、インストールは成功です。

※素材ファイルもインストールしたい場合は、「1-2. 追加インストール」を参照してください。



Check

“らくちん CD ラベルメーカー”は、管理者権限でご利用いただく仕様になっています。インストールおよび用紙 / メディアのアップデートの際には、管理者権限を持ったアカウントで実行してください。

1-2. 追加インストール

追加インストールは、“らくちん CD ラベルメーカー” で作成するために必要なラベルのテンプレート、背景柄、クリップアート等のデータファイルをインストールします。

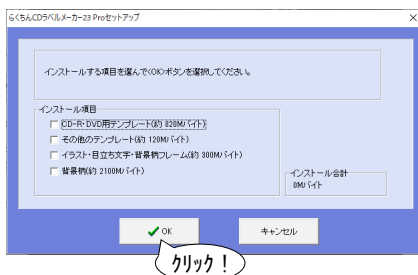
Step 1

DVD-ROM をパソコンの DVD ドライブにセットします。数秒待つと DVD-ROM に対して行う操作の案内が表示されます。【Setup.exe の実行】を選択してください。「らくちん CD ラベルメーカーのセットアップ」のウィンドウが表示されましたら、【追加インストール (A)】を選択してください。



Step 2

インストールしたい素材をチェックし、【OK】ボタンをクリックすると、ファイルが複写されます。



●追加インストールの内容

CD-R・DVD 用テンプレート (約 820MB)

その他のテンプレート (約 120MB)

イラスト・目立ち文字・背景柄フレーム (約 300MB)

その他の背景柄 (約 2100MB)

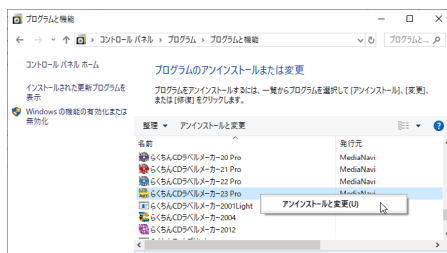
1-3. アンインストール

HDD にコピーした “らくちん CD ラベルメーカー” を HDD から削除します。

Step 1

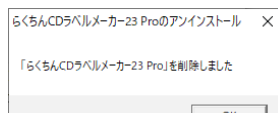
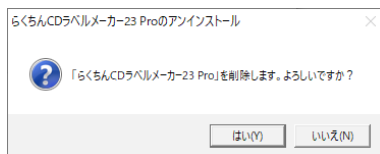
コントロールパネルの [プログラム] - [プログラムのアンインストール] を選択します。

Windows 8.1 以降では、スタートメニューからアプリの一覧画面を表示後 “らくちん CD ラベルメーカー” のアイコンを右クリックし、表示された [アンインストール] メニューからも「プログラムのアンインストール」画面を表示することができます。表示されたリストから “らくちん CD ラベルメーカー” を右クリックし、[アンインストールと変更 (U)] を選択します。



Step 2

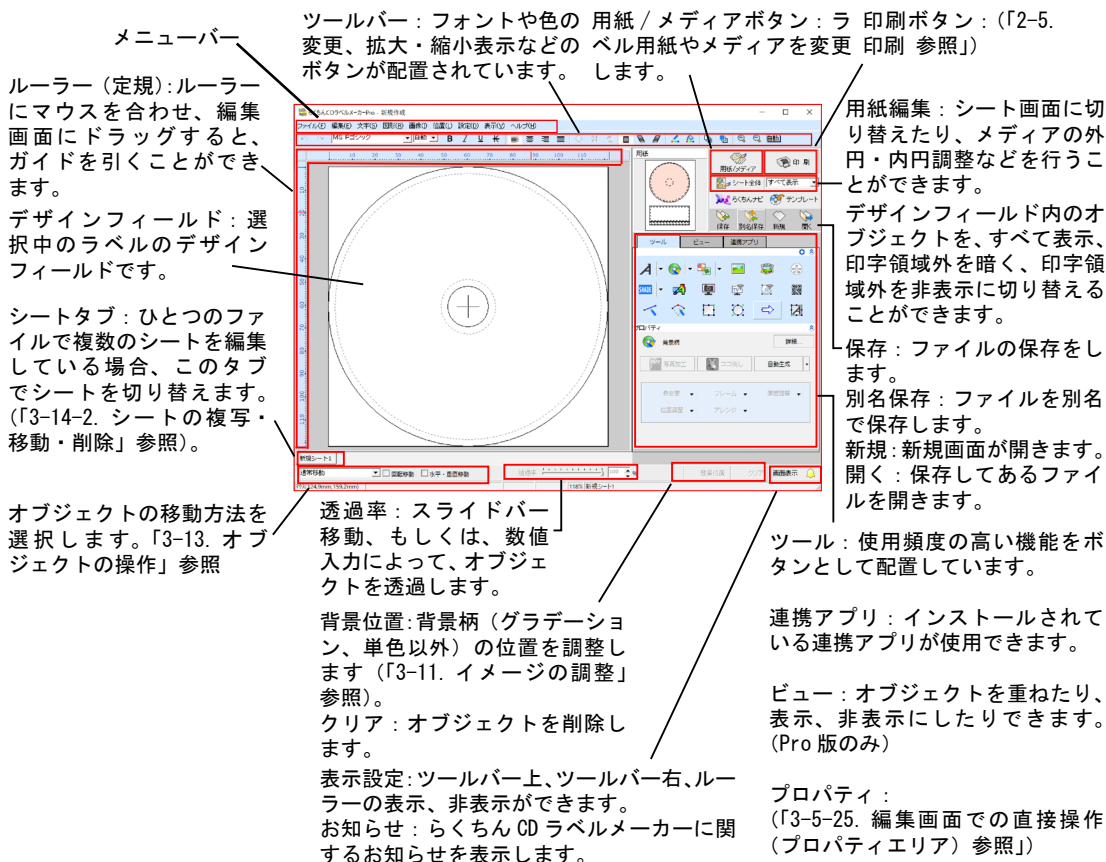
下図のメッセージが表示されますので、【はい】 ボタンを押します。※「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールすることもできます。



1-4. 基本画面

ラベル編集画面には、ラベルを編集するためのツールボタンが配置されています。ツール（右）には、使用頻度が高い機能をボタンとして配置しています。

1-4-1. ラベル編集画面：ラベルを編集するためのツールボタンが配置されています。



1-4-2. ツール：使用頻度の高い機能をボタンとして配置しています。



「らくちんナビ」を起動します。ウィザードにしたがってラベルを作成します。



テンプレートを選択します。テンプレートはクリエイター情報・プロダクト情報を活用することでさらに使いやすくなります。



文字の入力や変形、文字色の変更など、文字関係のすべてをおこなうツールです。CDD、CD TEXT、アルバム情報などへのアクセスもこのボタンから始めます。



背景柄を選択します。スキャナ、デジタルカメラや動画から画像を背景柄として取り込む時もここから始めます。



イラスト集や保存してある画像の呼び出しができます。またスキャナやデジタルカメラから画像をイラストオブジェクトとして取り込む時もここから始めます。



お手持ちの写真や画像を参照します。



複数の画像ファイルや、動画ファイルからオブジェクト配置します。



シェード図形（塗り色を自由に選択できるイラストオブジェクト）を追加します。



目立ち文字（図形と文字を組み合わせた自由に作成できるオブジェクト）を追加します。



自動写真レイアウトです。複数枚の写真と文字をレイアウトします。



直線を描きます。



円弧を描きます。



四角を描きます。



円を描きます。

以下のボタンはPro版のみ配置することができます。



矢印を描きます。



変形文字を描きます。



デスクトップを撮影し、貼り付けます。



スマホでテレビを撮影し、スキャン・補正します。



スマホでディスクを撮影し、スキャン・補正します。



飾り文字を追加します。



日付文字を追加します。



カタログ検索です。Amazon やフォト蔵で写真を検索します。



QR コードを追加します。

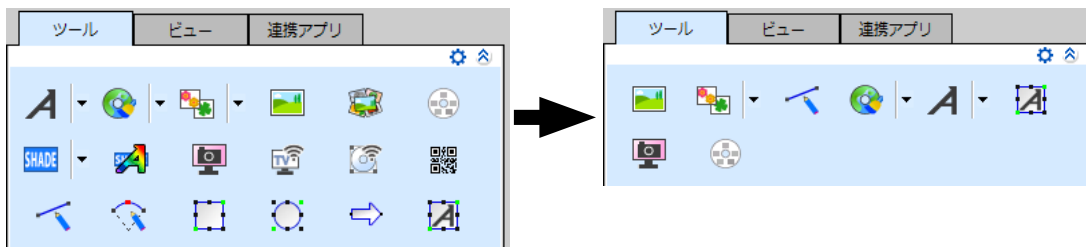


JAN コードを追加します。

1-4-3. お気に入りツール：ツールタブにツールボタンを最大 18 個好きな順番で配置できます（Pro 版のみの機能です。）



ツールタブに必要なボタンを自由な順番で配置することができます。

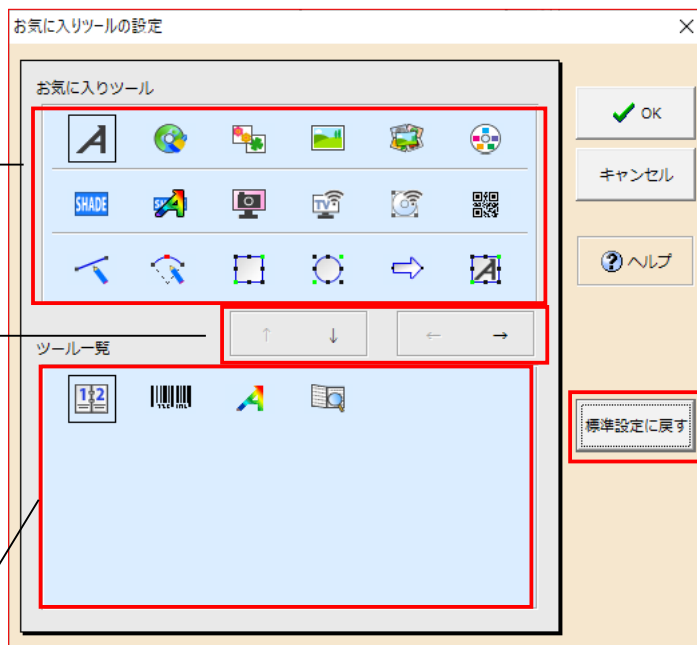


ツールタブ右上の ボタンをクリックしてお気に入りツールの設定画面を表示します。
メニュー〈ファイル (F)〉〈お気に入りツール (F)〉をクリックして表示することもできます。

お気に入りツールの一覧に表示されているアイコンがツールエリアに配置されます。

上下左右のボタンでアイコンの位置を移動します。
配置をやめたいときは、お気に入りツールの一覧にあるアイコンを選択して下矢印をクリックします。
配置の順番を変更するときには変更したいアイコンを選択した状態で左右の矢印をクリックします。

ツールの一覧のアイコンはツールエリアに配置されないアイコンです。



お気に入りツールの一覧に 1 つ以上アイコンを配置する必要があります。
お気に入りツールには 18 個以上配置することができません。すでに 18 個配置されている場合は、下矢印でツールの一覧に移動してから配置したいアイコンを上矢印で移動してください。

アイコンの並び順を購入時の状態に戻します。

1-4-4. ビュー：オブジェクトの重ね順の変更、表示・非表示、編集ロックのボタンを配置しています。(Pro 版のみの機能です。)



重ね順変更：選択したオブジェクトを最前面や最背面に配置することができます。

表示・非表示：選択したオブジェクトの表示、非表示ができます。

編集ロック：選択したオブジェクトの編集をロックできます。

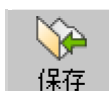
詳細編集：選択したオブジェクトの詳細編集画面を開きます。

1-4-5. 連携アプリ：インストールされている連携アプリケーションのボタンを配置しています。



らくちん CD ラベルメーカーと連携可能なアプリケーションを 1 クリックで起動できます。

1-4-6. ファイル：ファイルの保存、別名保存、新規作成、開くのボタンを配置しています。



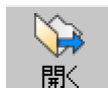
作成したラベルのデータを保存します。保存先は指定できます。



新しいラベルのデザインをするために、新規作成画面を開きます。用紙選択で前回選択した用紙が自動的に表示されます。

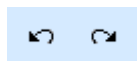


別名でファイルを保存できます。

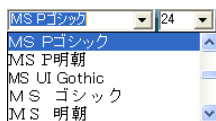


保存してあるラベルのデータを呼び出します。最後に開いたフォルダを記憶しています。

1-4-7. ツールバー：フォントや色の変更、拡大・縮小表示などのボタンが配置されています。



オブジェクトの編集を戻ったり進めたりすることができます。



文字フォントの種類・フォントのサイズを指定します。
フォントの種類がプルダウン表示されます。
フォントサイズ「自動」を選択することもできます。
(「3-6-9. 文字自動サイズ」参照)



文字を太くしたり、斜体をかけたり、文字スタイルを変更します。



文字の寄せを設定します。



文字を円周に沿って配置します。(Pro 版のみの機能です。)



文字を円形に配置します。



文字列を反転します。



複数行の文字列の上下配置（まっすぐ、右方向ずらし、左方向ずらし）を設定します。



文字色、図形オブジェクトの塗り色・枠線の色を指定します。



選択しているオブジェクトを最前（背）面に移動できます。

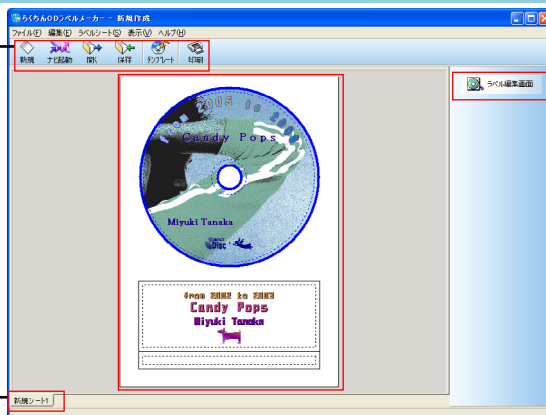


ラベルの表示（拡大、縮小、自動）を変更できます。

※文字を円形に配置したい場合は、「3-6-4. 文字の円形配置」を参照してください。

1-4-8. シート全体画面：ラベルシートを編集するための画面です。ラベル単位での編集を行います。

ツールバー：使用頻度の高い機能をボタンとして配置しています。

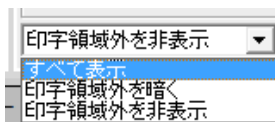


【ラベル編集画面】ボタン：ラベル編集画面に切り替えます。

シートタブ：ひとつのファイルで複数のシートを編集している場合、このタブでシートを切り替えます（「3-14. ラベルシートの編集」参照）。

シートデザイン画面：選択中のラベルは青い枠が表示されます。他のラベルに切り替えることもできます。

1-4-9. 印字領域の表示 / 非表示：編集画面上で印字領域以外を暗くしたり非表示にできます。ドロップダウンから切り替えます。



すべて表示：
編集画面上のオブジェクト全てを表示します。

印字領域外を暗く：
実際に印刷される箇所以外を、暗く表示します。

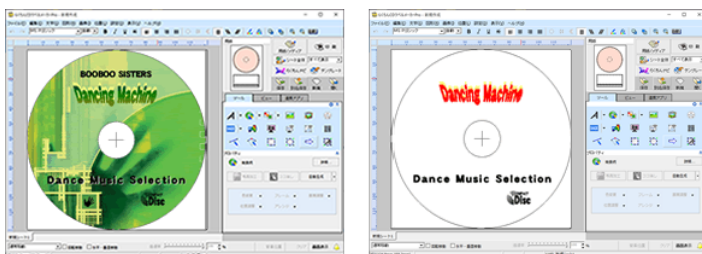
印字領域外を非表示：
実際に印刷される箇所以外を、非表示にします。

1-4-10. ウィンドウの多重起動：複数のウィンドウを起動することができます。

「らくちん CD ラベルメーカー」では、複数のウィンドウを起動することができます。

「らくちん CD ラベルメーカー」が起動中に、スタートメニューからアプリの一覧画面を表示し、＜らくちん CD ラベルメーカー＞を起動をします。

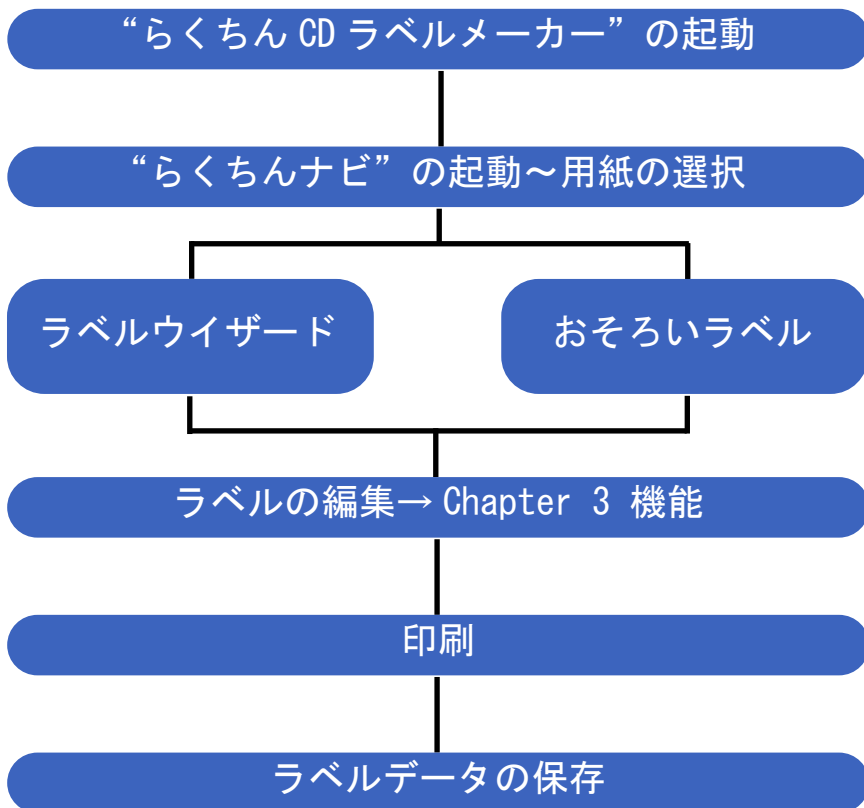
2つのウィンドウを起動すれば、ラベルを見比べながらデザインすることができます。



Chapter 2 作成

“らくちん CD ラベルメーカー”では、“らくちんナビ”（ラベル作成ウィザード）に従うだけで簡単にラベルを作成することができます。この章では、“らくちんナビ”を利用した CD ラベルの作成方法を説明します。

“らくちんナビ”を使ったラベル完成までのおおまかな流れは次の通りです。



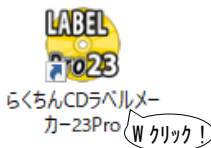
それでは、まず“らくちん CD ラベルメーカー”を起動しましょう。

2-1. “らくちんナビ” の起動～用紙の選択

Step 1

インストール後に表示される、デスクトップ上にある「らくちん CD ラベルメーカー」のショートカットアイコンをダブルクリックします。

※ツールバーの【らくちんナビ】ボタンをクリックしても同じ画面を表示できます。



Step 2

起動画面が表示された後、「らくちんナビ」の画面が表示されます。

新規作成、テンプレートから作成、用紙を選んで作成など選択できます。

ここでは「用紙 / メディアを選択して作成」の方法を説明します。ステップ形式で簡単にラベルを作成することができます。

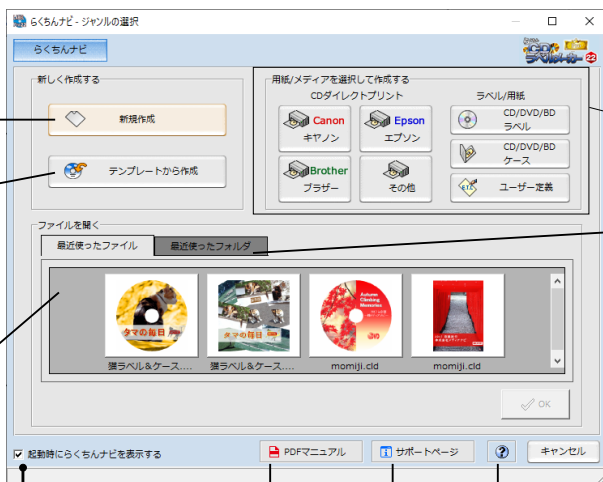
新規でラベルを作成します。

ラベルのテンプレート呼び出します。

最近使ったファイルを表示します。

用紙 / メディアを選択して作成

最近使ったフォルダのデータを表示します。



PDF マニュアルを表示します。

ヘルプを表示します。

サポートページを表示します。

チェックを外すと、次回起動時から「らくちんナビ」を表示させずに、直接ラベル編集画面に移動します。

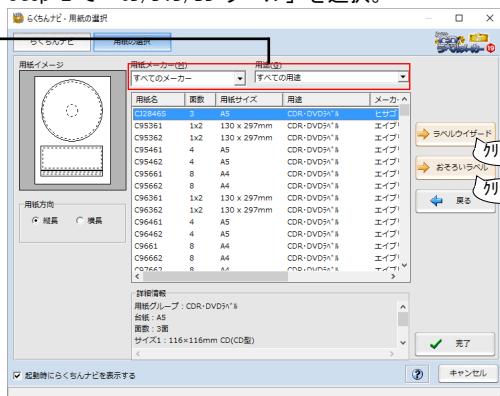
Step 3

「らくちんナビ - 用紙の選択」ダイアログが表示されます。ラベルの用紙品番を選択します。

ラベル個々に応じたデザインを選択したい場合は、【ラベルウイザード】ボタンを、ラベルシート上の全ラベルを統一してデザインしたい場合は、【おそろいラベル】ボタンを、それぞれクリックします。

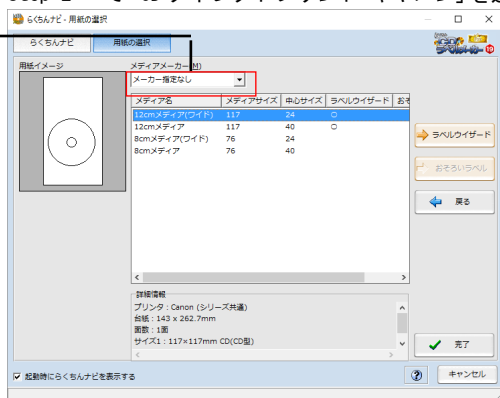
Step 2 で「CD/DVD/BD ラベル」を選択。

プルダウンメニューから「用紙メーカー」と「用途」を選択すると、簡単に「用紙名」を絞り込むことができます。



Step 2 で「CD ダイレクトプリント キヤノン」を選択。

プルダウンメニューから「メディアメーカー」を選択すると、簡単に「メディア名」を絞り込むことができます。



※ダイレクトプリントのメディアの選択方法の詳細は「3-15-2. ダイレクトプリントメディアの選択」を参照してください。

ラベル個々に応じたデザインを選択したい

→ 「2-2. ラベルウイザード」へ

ラベルシート上の全ラベルをいっぺんに統一してデザインしたい

→ 「2-3. おそろいラベル」へ

2-2. ラベルウィザード

Step 1

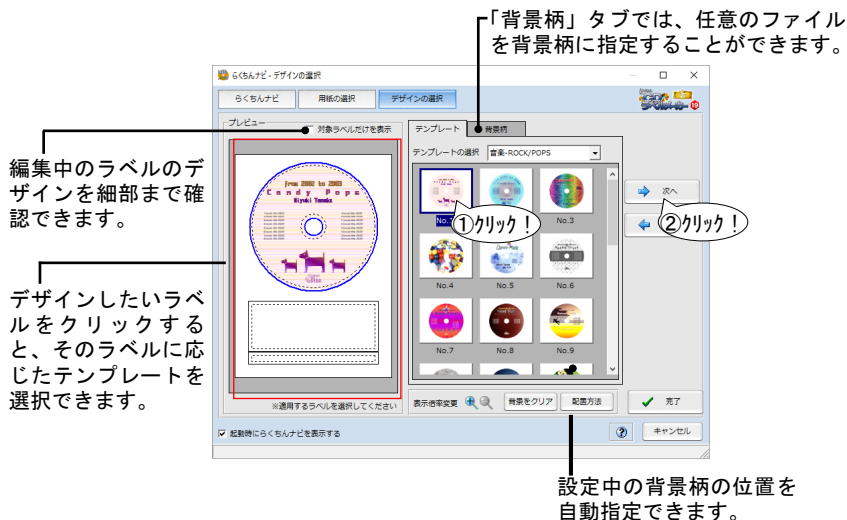
「らくちんナビ-用紙の選択」ダイアログで、【ラベルウィザード】ボタンをクリックすると、「らくちんナビ-デザインの選択」ダイアログが表示されます。まず、編集対象のラベル面をクリックして選んだ後に、テンプレートの選択ドロップダウンメニューから作成したいジャンルを選択します。

※ラベルウィザードは、CDR・DVD ラベルと一部の CD ケースラベルに対応しています。



Step 2

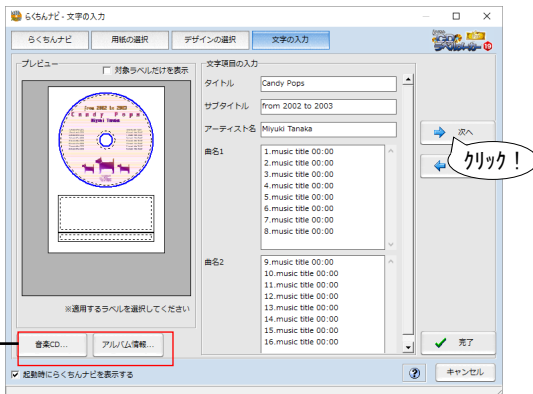
ラベルデザインを適用するラベルを選び、テンプレートのジャンルを選択し、テンプレートを選びます。【次へ】ボタンを押します。



Step 3

「らくちんナビ - 文字の入力」ダイアログが表示されますので、「文字項目の入力」に任意の文字列を入力します。【次へ】ボタンを押します。

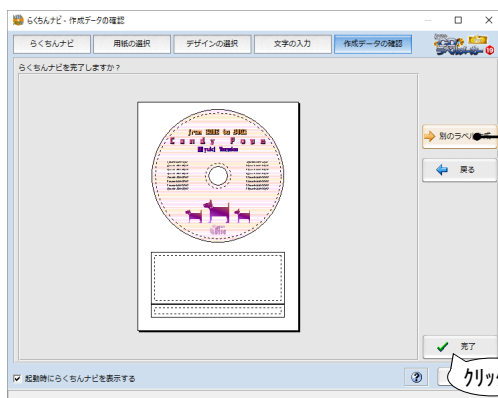
※曲名データの取得方法は、「3-8. 曲名データの自動入力」を参照してください。



曲名などの情報をインターネットやアルバム情報から取得し、文字列に自動入力することも可能です。

Step 4

「らくちんナビ - 作成データの確認」ダイアログが表示されますので、プレビューを確認し、【完了】ボタンを押します。ラベル編集画面へ移動します(「2-4. ラベル編集画面」へ)。



Step2に戻ります。別のラベルを作成します。

2-3. おそろいラベル

Step 1

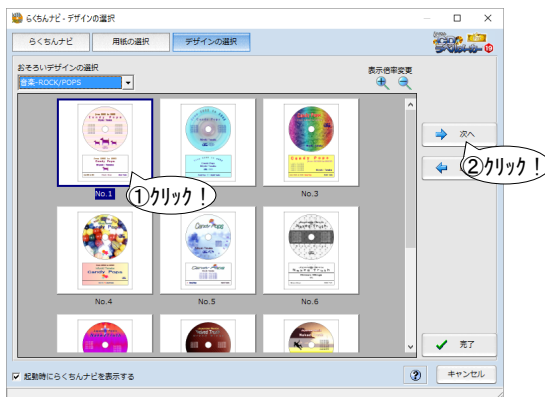
「らくちんナビ－用紙の選択」ダイアログで、【おそろいラベル】ボタンをクリックすると、「らくちんナビ－デザインの選択」ダイアログが表示されます。まずは、テンプレートのジャンルを選択します。

※おそろいラベルは、CDR・DVDラベルと一部のCDケースラベルに対応しています。



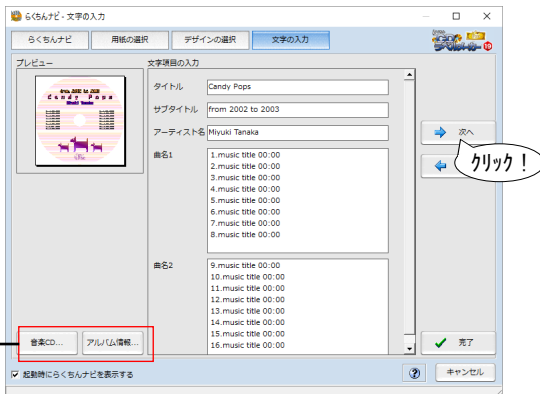
Step 2

テンプレートデザインを選択し、【次へ】ボタンを押します。



Step 3

「らくちんナビ - 文字の入力」ダイアログが表示されますので、「文字項目の入力」に任意の文字列を入力します。【次へ】ボタンを押します。



曲名などの情報をインターネットやアルバム情報から取得し、文字列に自動入力することも可能です。

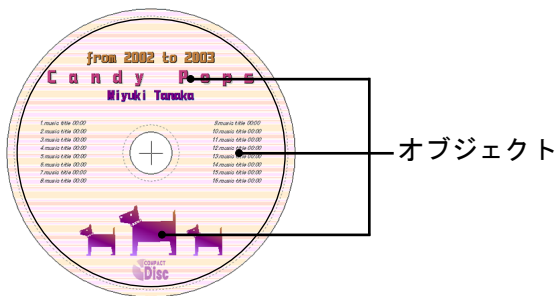
Step 4

「らくちんナビ - 作成データの確認」ダイアログが表示されますので、プレビューを確認し、【完了】ボタンを押します。



2-4. ラベル編集画面

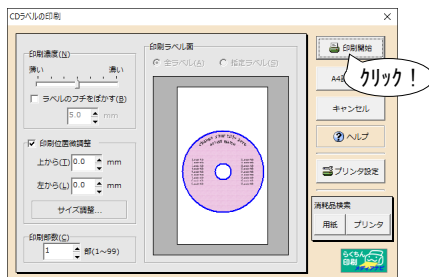
“らくちんナビ”が完了すると、ラベル編集画面に移動します。ラベル上には文字やイラストや背景柄などが設定されています。これらを総称してオブジェクトと呼びます。



各オブジェクトの編集方法は、「Chapter3 機能」を参照してください。
オブジェクトの編集が完了したら、いよいよ印刷です。次の「2-6. 印刷」を参照してください。

Step 3

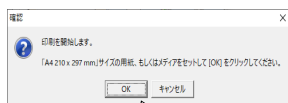
【印刷開始】ボタンをクリックします。



Step 4

用紙の確認メッセージが表示されます。正しく用紙がセットされているのを確認できたら、【OK】ボタンをクリックします。

プログレスバーが表示され、印刷が実行されます。



作成したラベルデータを保存する場合は、次の「2-6. ラベルデータの保存・展開」を参照してください。

2-5-2. A4 試し印刷

「A4 試し印刷」ボタンを押せば、A4 の定型用紙で印刷されます。色味や印刷の濃さ、実際の雰囲気を実番前に素早くご確認いただけます。

Step 1

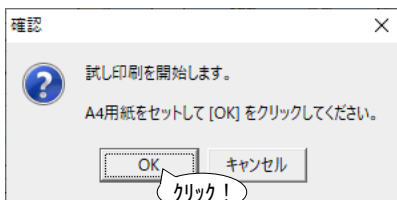
【A4 試し印刷】ボタンをクリックします。



Step 2

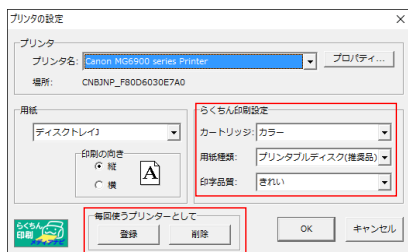
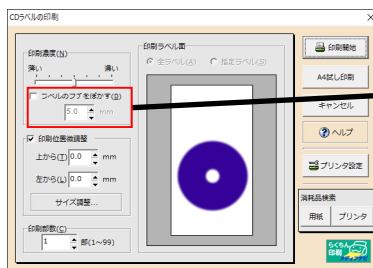
用紙の確認メッセージが表示されます。正しく用紙がセットされているのを確認できたら、【OK】ボタンをクリックします。

プログレスバーが表示され、印刷が実行されます。



Check

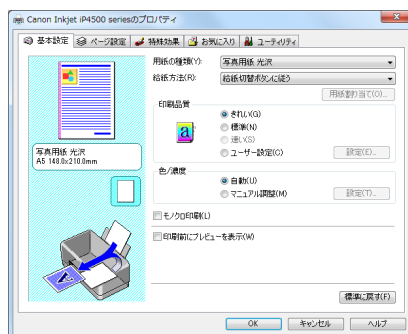
ラベルシートの印刷でオプションで「ラベルのフチをぼかす」をチェックすると、印刷時にラベルの外円と内円のフチを自動的にぼかします。印刷領域のずれなどによって生じた隙間をより自然に仕上げます。



“らくちん印刷”とは、ラベル用紙ごとに最適なプリンタ設定を自動設定する機能です。らくちん印刷対応のプリンタ（Canon/EPSON/Brother 製のインクジェットプリンタに対応）では、らくちん印刷に対応したラベル用紙に最適なプリンタ設定を行います。プリンタを複数台お持ちの方は、印刷に毎回使うプリンタを登録することができます。


印刷設定を手動で細かく指定したい場合は、「プリンタの設定」画面で【プロパティ】ボタンをクリックしてください。プリンタドライバのプロパティ画面が表示されます。用紙の種類、給紙方法など細かい設定を行うことが可能です。

※画面はプリンタドライバの種類によって異なります。詳しい設定方法はプリンタ添付の取り扱い説明書などを参照してください。

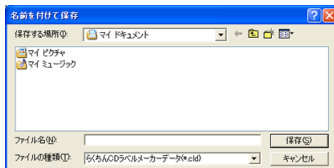


2-6. ラベルデータの保存・展開

2-6-1. ラベルデータの保存

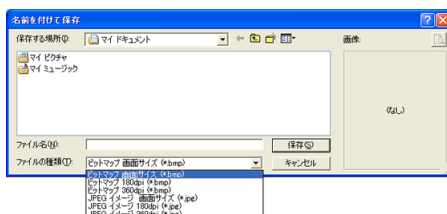
ツールの  をクリックします。新規に作成したラベルデータの場合、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。ディスクにラベルデータ（拡張子.cld）が保存されます。

※メニュー<ファイル(F)>-<保存(S)>を選択しても同じ画面を表示できます。




2-6-2. ラベルデータ他形式保存

ラベルを他形式（画像ファイル）で保存することも可能です。メニュー<ファイル(F)>-<他形式保存>を選び、保存形式を選択してください。BMPとJPEGのいずれかで保存ができます。



データサイズ（画面サイズ/180dpi/360dpi）を指定できます。

2-6-3. ラベルデータを開く

保存したラベルデータ（拡張子.cld）は、ツールバーの  で開くことができます。



※メニュー<ファイル(F)>-<開く(O)>を選択しても同じ画面を表示できます。

2-6-4. 自動バックアップ

自動バックアップ機能を有効にすると、らくちんCDラベルメーカーは自動的にデータのバックアップを取ります。メニュー<ファイル(F)>-<自動バックアップ(B)>を選び、<自動バックアップ>を実行する時間の間隔を選択ください。PCが操作不能になった場合やOSが再起動してしまっても保存作業ができなかった場合、次回らくちんCDラベルメーカーを起動時にバックアップされたデータを開くことができます。

Chapter 3 機能

“らくちんCDラベルメーカー”には、素材呼び出しの補助機能、文字及び画像の編集、曲名自動入力など、様々な機能が盛り込まれています。ここでは、各コマンドがどのような機能を持っているのかを説明します。

3-1. らくちんブラウザ

“らくちんブラウザ”とは、テンプレートや背景集などの素材データを、ブラウザの一覧からラベル編集画面にドラッグ＆ドロップするだけで、それぞれのデータとして読み込むことができる機能です。

Step 1

メニュー<画像 (I)><素材を探す (K)>をクリックします。「らくちんブラウザ」画面が表示されます。



「背景集」タブの場合



ジャンル・色が選択できます。ジャンルの時は参照元やラベル用途、色からの場合はカラーピッカーが表示されます。

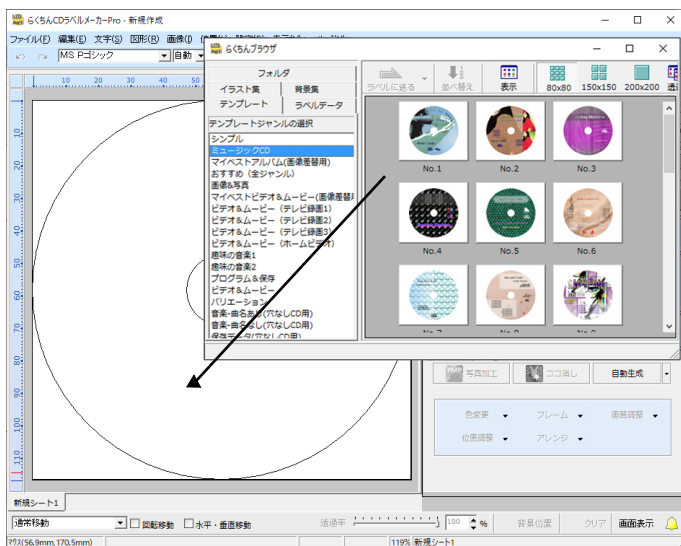
「ラベルデータ」「フォルダ」タブの場合



エクスプローラ画面が表示されます。指定したフォルダにデータが存在する場合、らくちんブラウザ画面右にデータが一覧されます。

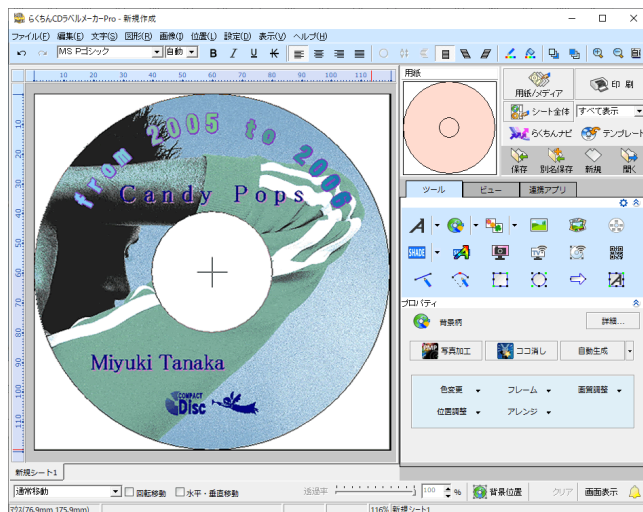
Step 2

「らくちんブラウザ」画面から利用したいデザインをラベル編集画面にドラッグ＆ドロップするか、【ラベルに送る】ボタンを押します。



Step 3

デザインがラベル編集画面に反映されます。



3-2. カタログ検索

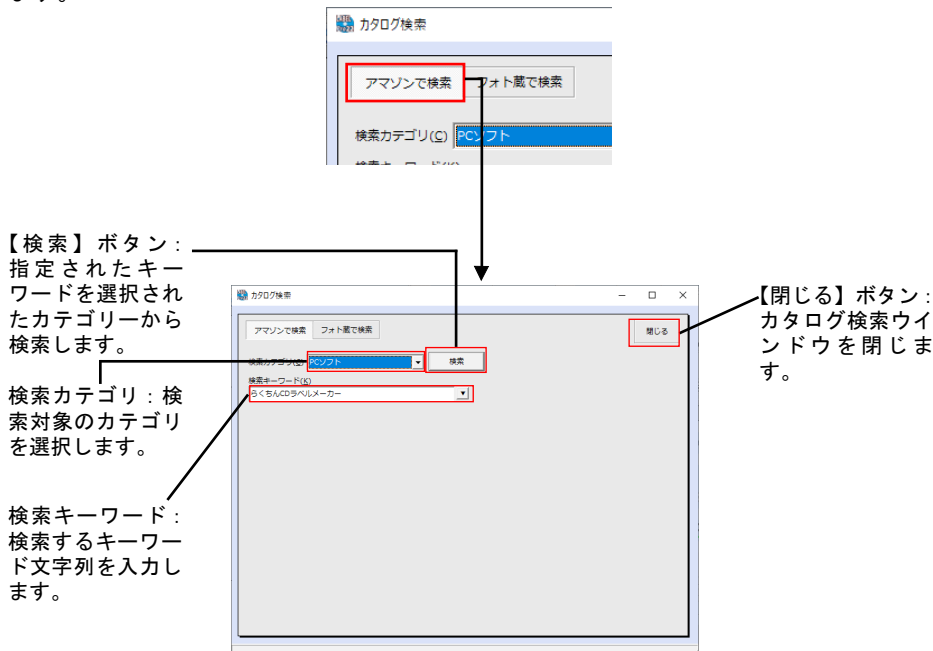
“カタログ検索”とは、インターネットを利用してアーティストやタイトル等の情報を商品から検索したり、キーワードを用いて画像を検索する機能です。

また、プリンタ用インクやDVDメディア等のサプライ品を検索することもできます。

3-2-1. アマゾンで検索：アーティストやタイトル等の情報を商品から検索します。サプライ品を検索することもできます。

Step 1

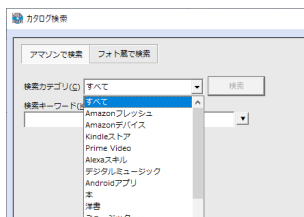
メニュー〈画像 (I)〉>〈カタログ検索 (C)〉をクリックします。「カタログ検索」画面が表示されたら、左上に表示されている「アマゾンで検索」をクリックします。



Step 2

「検索カテゴリ」で検索対象のカテゴリをリストから選択し、「検索キーワード」欄に検索したい文字列の一部や全部を入力します。

「検索カテゴリ」と「検索キーワード」（消耗品ジャンル）を正しく設定したら【検索】ボタンを押してください。

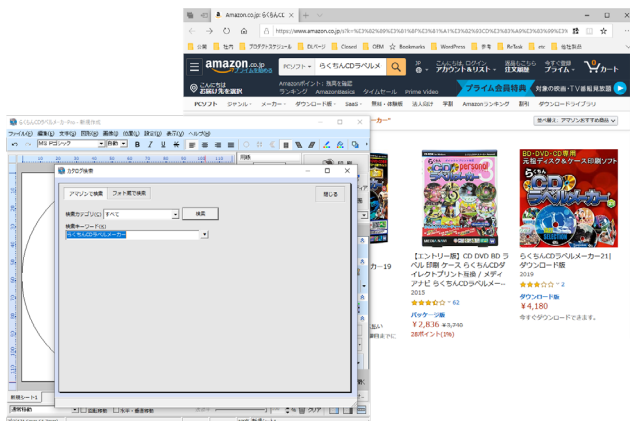


※サービス料は無料ですが、接続料金等が別途必要になります。

※「検索カテゴリ」で「消耗品（ジャンル別検索用）」を選択した場合は、「検索キーワード」の入力項目が「消耗品ジャンル」のリストに切り替わります。

Step 3

ブラウザが起動し、指定したカテゴリ、キーワードで検索した Amazon の検索結果ページが表示されます。



3-2-2. フォト蔵で検索：画像に関連付けられたキーワード（タグ）から検索します。

Step 1

メニュー〈画像 (I)〉>〈カタログ検索 (C)〉をクリックします。「カタログ検索」画面が表示されたら、左上に表示されている「フォト蔵で検索」をクリックします。

【検索】ボタン：指定されたキーワードと選択された著作権情報を持つ画像を検索します。

著作権：各画像に設定されている著作権の条件で絞り込みます。

検索キーワード：検索するキーワード文字列を入力します。

イメージプレビューエリア

【タイトル情報をコピー】ボタン：選択されている画像のタイトルをクリップボードにコピーします。

【イメージをコピー】ボタン：選択されているタイトルのイメージをクリップボードにコピーします。

【閉じる】ボタン：カタログ検索ウィンドウを閉じます。

【前ページ】【次ページ】検索結果が複数ページに渡る時にページを切り替えます。

検索されたデータの一覧が表示されます。

Step 2

「検索キーワード」欄に検索したい文字列の一部や全部を入力します。
次に「著作権」欄から希望する条件を持つ選択肢を選びます。
正しく設定したら【検索】ボタンを押してください。

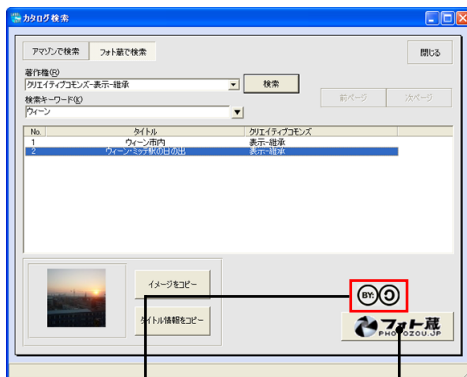
※サービス料は無料ですが、接続料金等が別途必要になります。

Step 3

検索結果の一覧から必要な項目を選択します。

一覧に表示されているタイトルのテキスト文字列を利用したいときには【タイトル情報をコピー】ボタンを、イメージを利用したい時は【イメージをコピー】ボタンを押すとラベル編集画面で利用することができます。

※「見つかりませんでした」というメッセージが表示される場合は、検索キーワードを短くしたり別のキーワードを指定して再度検索してください。







※【イメージをコピー】ボタンや【タイトル情報をコピー】ボタンを押した時はクリップボードに情報が転送されています。ラベル編集画面の編集ラベル上で、マウスの右クリックで「貼付け」を選択して利用することができます。

選択された画像のライセンスに関する情報(マーク)を表示します。 【フォト蔵 詳細ページへ】ボタン: WEBブラウザで該当ページを表示します。

Check

・ライセンスに関するマークについて

-  作品の著作者の氏名や作品のタイトル等、作品に関する情報の表示が必要です。
-  作品を営利目的で利用することを禁止しています。
-  作品の改変を禁止しています。
-  改変された作品に対しても、当初の作品に設定されたライセンス条件の継承が必要です。


ライセンスに関する詳細については、以下のサイトをご参照ください。

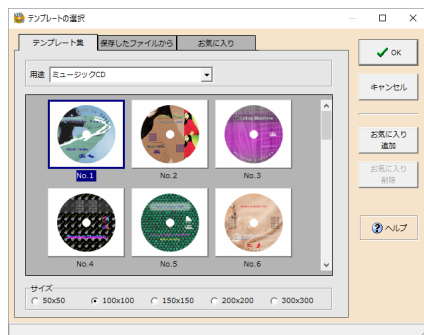
クリエイティブ・コモンズ・ジャパン (<http://www.creativecommons.jp/>)

3-3. テンプレートの読み込み

テンプレートとは、あらかじめ使用頻度の高いジャンルのラベルをデザインしてある素材です。様々なテンプレートが用意されています。ここでは、そのテンプレートを読み込む方法を説明します。

Step 1

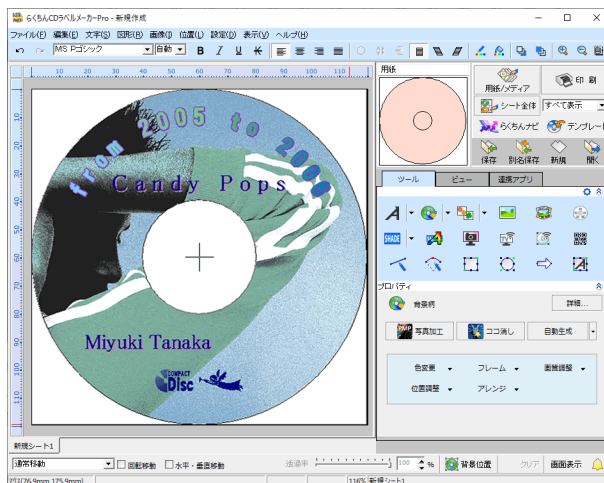
ツールバーの  テンプレート をクリックします。「テンプレートの選択」ダイアログが表示されます。テンプレートデータを選択し、【OK】ボタンを押します。



※メニュー<ファイル(F)>><ラベルテンプレートの呼び出し(T)>を選択しても、同じ画面を表示させることができます。
※らくちんブラウザからも同じテンプレートを呼び出すことができます。

Step 2

選択したテンプレートが編集画面に反映されます。

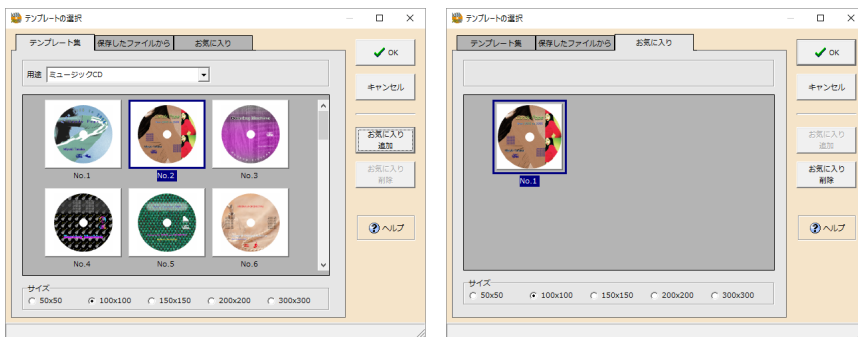


3-4. お気に入り

「テンプレートの選択」ダイアログで、気に入ったテンプレートまたはオリジナルデータをお気に入り登録しておくことで簡単に開くことができます。

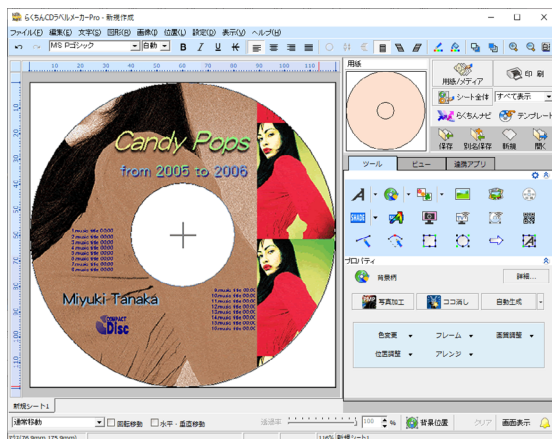
Step 1

「テンプレート集」、「保存したファイルから」タブを選び、気に入ったデータを選択し、【お気に入り追加】ボタンを押します。「お気に入り」タブにデータが表示されます。



Step 2

「お気に入り」タブで、お気に入り追加されたデータを選択し、【OK】ボタンを押せば、いつでもデータを読み込むことができます。




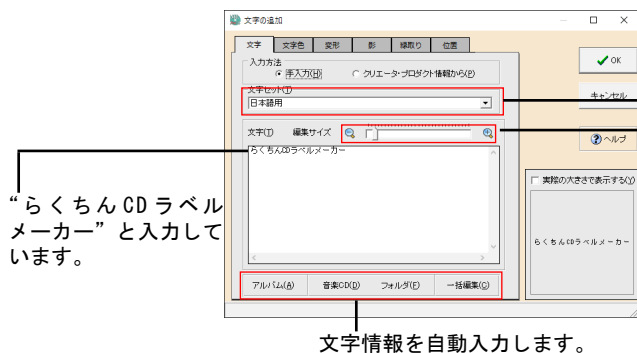
3-5. オブジェクトの追加

ツールバーのボタンひとつで色々なオブジェクトをラベルに貼り付けることが可能です。まずは、基本的なオブジェクトの追加方法を説明します。

3-5-1. 文字：ラベル作成時に最もよく使うオブジェクトのひとつです。予め登録している文字情報を利用することも可能です。

Step 1

ツールバーで  をクリックします。「文字の追加」ダイアログが表示されます。入力方法を選択し、文字を入力します。



Step 2

文字オブジェクトの編集が完了したら、【OK】ボタンをクリックします。編集を反映した文字オブジェクトが、ラベル上に配置されます。



※その他、文字オブジェクトにはいろいろな編集を加えることができます。詳しくは、「3-6. 文字の編集」を参照してください。

Check

韓国語・中国語・ドイツ語など他国語の文字を貼り付ける場合には、「文字セット」の中から該当する候補を設定します。

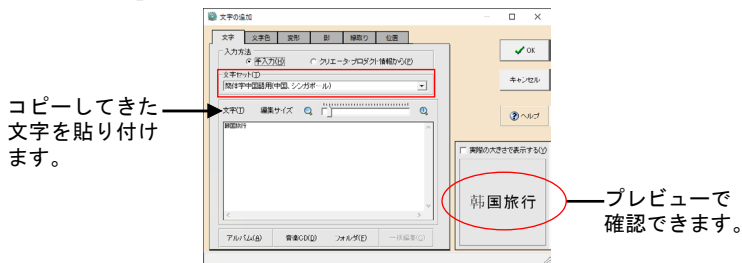
例：中国語で「韓国旅行」の文字を貼り付ける

Step 1

ブラウザなどから貼り付けたい文字をコピーします。

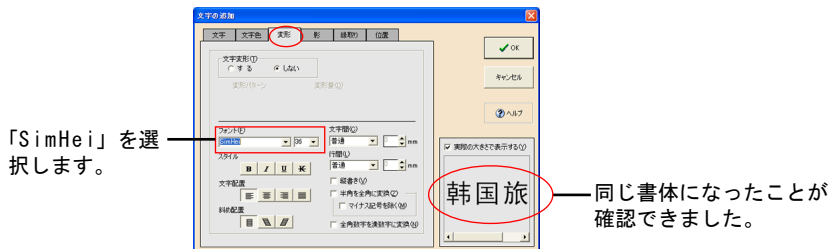
Step 2

「文字セット」の中から「簡体字中国語用（中国、シンガポール）」を選択し、さきほどコピーした文字を「文字」フィールドに貼り付けます。



Step 3

「プレビュー」で確認し、問題がなければ【OK】ボタンを押します。
もし、文字の一部が上記の様に一部異なる書体となってしまう場合には「変形」タブに切り替えて、貼り付ける文字に適切なフォントを指定してください。



Step 4


すべて良ければ、【OK】ボタンを押して確定します。



※「簡体字中国語用」では「SimSun」「SimHei」、繁体字中国語用では「MingLiu」がそれぞれ一般的に使用できるフォントです。

3-5-2. 背景柄（背景集）：もっとも背面に設定されるオブジェクトです。その他の文字、イラストなどをその上に配置します。

Step 1

編集画面のツールバーで  ボタンをクリックすると、「背景柄の設定」ダイアログが表示されます。「指定方法」を選択し、背景イメージを選びます。

※メニュー<画像 (I)><背景柄 (B)>を選択しても同じ画面を表示させることができます。

※ラベル背景で右クリックメニュー<プロパティ (Z)>を選択しても同じ画面を表示できます。

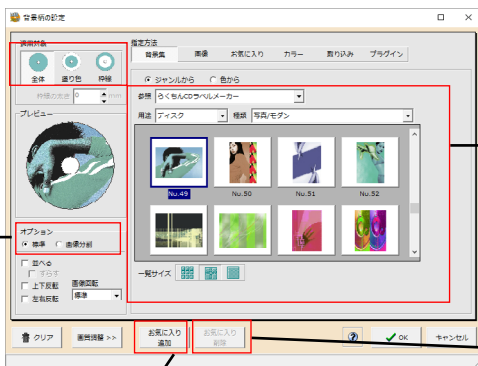
※らくちんブラウザからも同じ背景柄を読み込むことができます。

※背景柄の画質調整に関しては、「3-11-2. 背景柄の画質調整」を参照してください。

※ラベル編集画面に選択中の背景柄がプレビューとして表示されます。

適用対象を選択します。

背ラベルを分割し連続絵ラベルを作ることができます。詳しくは「3-5-8. 連続絵ラベル」を参照してください。



指定方法「ジャンルから」の場合は、「参照先」、「用途」と「種類」を選択し、背景イメージを選択します。

「お気に入り」のイラストを選択し、ボタンをクリックすると、「お気に入り」からイラストを削除します。

イラストを選択し、ボタンをクリックすると、「お気に入り」にイラストを追加します。

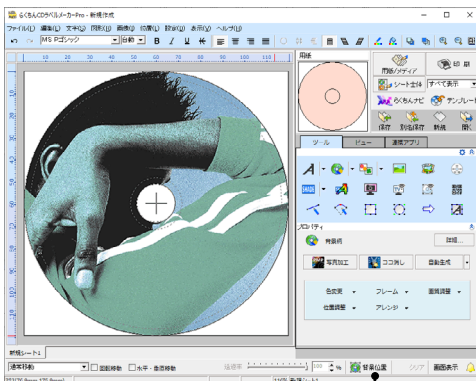


指定方法「色から」では、カラーパレットをクリックして【更新】を押すと、近似色の背景柄がランダムで20種類表示されます。

Step 2

背景柄の選択が完了したら、【OK】ボタンをクリックします。背景柄が設定されます。

※背景柄の切り抜き位置を設定するには、「3-11-1. 背景柄の位置調整」を参照してください。



背景柄の切り抜き位置を設定します。

3-5-3. 背景柄（イメージファイル）：動画から切り出した画像を背景柄に設定することができます。

Step 1

1 枚の画像ファイルを背景柄に設定する方法を説明します。「背景柄の設定」ダイアログで、指定方法「画像」を選択します。次に、【動画】ボタンをクリックします。

※動画キャプチャの方法は、「3-7. 動画キャプチャ」を参照してください。

※読み込み可能な動画ファイルの種類に関しては、「はじめに - 対応動画ファイル」を参照してください。

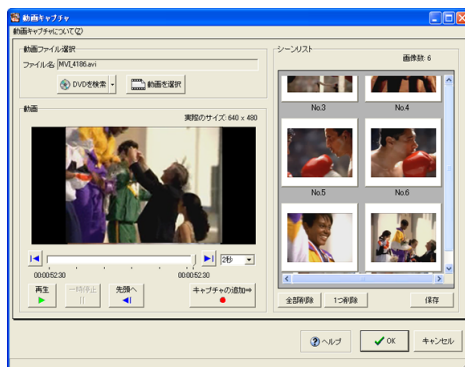
※画像ファイルからの背景画像の作成については「3-5-4 背景柄（複数イメージファイル）」の Check を参照してください。



Step 2

「動画キャプチャ」ダイアログが表示されます。キャプチャが完了したら、【OK】ボタンを押します。

※動画キャプチャの方法は、「3-7. 動画キャプチャ」を参照してください。



Step 3

「背景柄の設定」ダイアログに戻りますので、任意の画像を選択し、【OK】ボタンで完了します。

※背景イメージの画質調整は、「3-11-2. 背景柄の画質調整」を参照してください。



Step 4

背景柄に切り出した画像が設定されました。



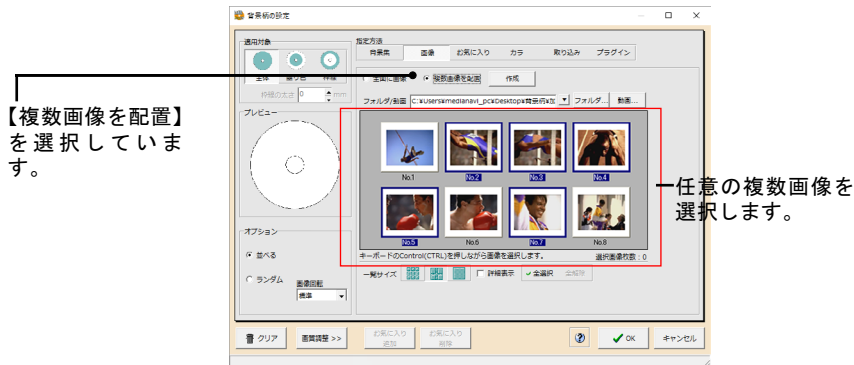
3-5-4. 背景柄（複数イメージファイル）：動画から切り出した複数の画像を背景柄に設定することができます。

Step 1

動画で切り抜いた画像ファイルを複数枚指定する方法です。先ほどと同じ方法で動画を切り出したら、【複数画像を配置】を選択し、プレビュー一覧から複数の画像を選択します。

※画像ファイルからの複数背景画像の作成については、checkを参照してください。

※動画キャプチャの方法は、「3-7. 動画キャプチャ」を参照してください。



Step 2

画像選択完了後、「背景柄の設定」ダイアログで【作成】ボタンをクリックします。【OK】ボタンで完了します。



Step 3

背景柄に切り出した画像が設定されました。

※背景イメージの画質調整は、「3-11-2. 背景柄の画質調整」を参照してください。



Check

動画から切出した画像のほか、背景柄には画像ファイルをそのまま利用することもできます。また、下記の要領で、複数の画像ファイルからイメージを生成することも可能です。

背景柄の設定



画像が保存されているフォルダを選択します。
キーボードから Control (CTRL) を押しながら複数の画像を選択し、【作成】ボタンを押すだけで、イメージが生成されます。

3-5-5. 背景柄（自動生成）：背景柄を自動で生成します。

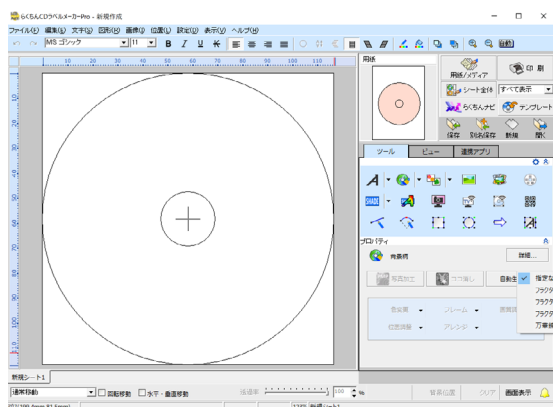


※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

背景柄を自動で生成することができる機能です。

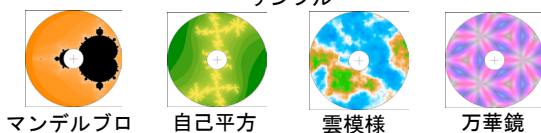
Step 1

4種類の背景スタイルから背景柄を生成することができます。
指定なしを選択すると、ランダムに背景柄が生成されます。



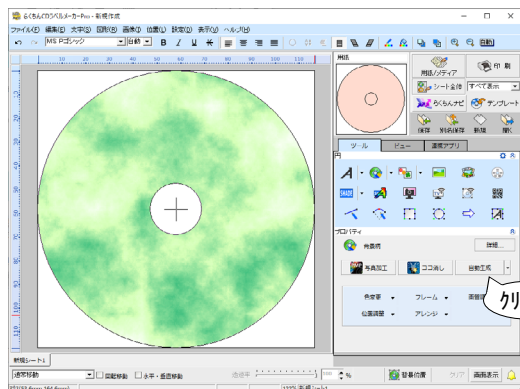
左記の中から
1つ選びます。

サンプル



Step 2

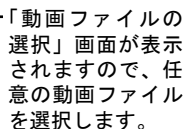
プロパティ内の **自動生成** をクリックすると背景柄が生成されます。



1クリックで背景柄が自動的に生成されます。

Step 1

※画像ファイルからの複数画像の作成についてはCheckを参照してください。



Step 2

※動画キャプチャの方法は、「3-7. 動画キャプチャ」を参照してください。



Step 3

「複数イメージファイルの選択」ダイアログに戻りますので、任意の画像を選択、レイアウトを選び、オプションを設定してから【作成】ボタンをクリックします。【OK】ボタンで完了します。

配置方法には多くのスタイルが用意されていますので、【種類】リストを選択することで種類分けして表示させることができます。



Step 4

「複数イメージの設定」ダイアログが表示されますので、必要に応じて画質調整などを行ってください。【OK】ボタンで完了します。

※背景イメージの画質調整は、「3-11-2. 背景柄の画質調整」を参照してください。



Step 5

動画から切り出した画像がオブジェクト配置されました。



Check

動画から切り出した画像のほか、画像ファイルをそのままオブジェクト配置することも可能です。また、下記の要領で、複数の画像ファイルから複数画像オブジェクトを生成することも可能です。

複数イメージファイルの選択



画像が保存されているフォルダを選択します。
キーボードから Control (CTRL) を押しながら複数の画像を選択し、【作成】ボタンを押すだけで、イメージが生成されます。

3-5-7. 余白の自動調整：ディスクラベルの余白を綺麗に埋めることができます。



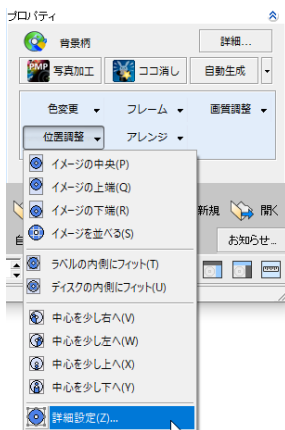
※この機能はPro版のみに搭載の機能です。

縦長や横長の写真をディスクラベルに使うと余白ができることがありますが、「余白の自動調整」を使えば縦横比の合わない写真も自然に見えるように自動処理します。また、使用する写真や画像の解像度が低い場合にも使用できます。レーベルデザインに合うように自動でアレンジします。



Step 1

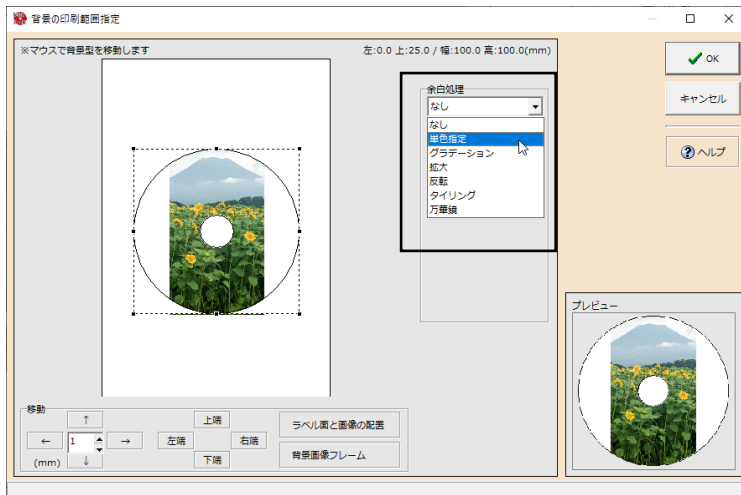
背景柄に写真を指定し、編集画面右下のプロパティから〈位置調整〉－〈詳細設定(Z)〉をクリックします。



Step 2

左側のラベルイメージの枠線の位置とサイズをマウスで調整します。

右側の〈余白処理〉メニューから処理方法を選択すると、余白を調整できます。



■余白処理：単色

余白に単色を指定します。写真の一部を色のスポイトツールでコピーして単色に指定すると自然な仕上がりになります。



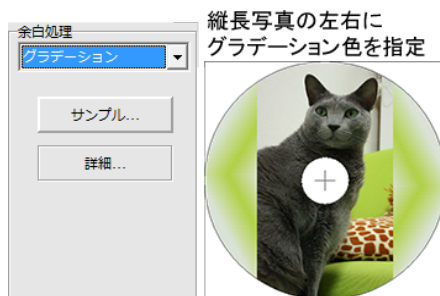
■余白処理：グラデーション 余白にグラデーションを指定します。

【サンプル】ボタン：

収録されているグラデーションのサンプルを開きます。

【詳細】ボタン：

塗り色の指定（グラデーション）画面を開きます。詳細にグラデーション色を指定できます。

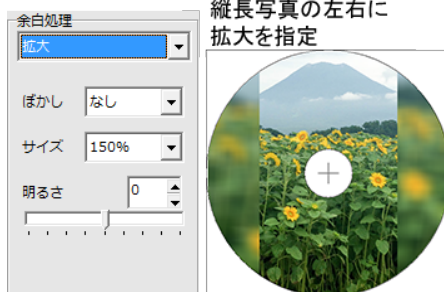


■余白処理：拡大 余白に拡大した写真を敷きます。

【ぼかし】：ぼかしの強さを指定します。

【サイズ】：余白部分の拡大された背景のサイズを指定します。

【明るさ】：余白部分の拡大された背景の明るさを指定します。



■余白処理：反転 写真を反転し余白を埋めます。

【ぼかし】：ぼかしの強さを指定します。

【明るさ】：余白部分の反転された背景の明るさを指定します。



■余白処理:タイリング 余白に写真を並べて敷き詰めます。
【ぼかし】: ぼかしの強さを指定します。

【サイズ】: 余白部分に並べた背景のサイズを指定します。

【明るさ】: 余白部分に並べた背景の明るさを指定します。

【1行毎にずらす】: タイル状に並べる写真を1行毎にずらします。

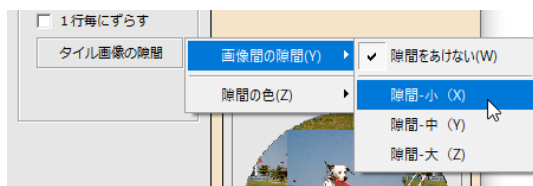


縦長写真に
タイリングを指定

【タイル画像の隙間】: タイルとタイルの間に隙間をつけたり、色を指定することができます。

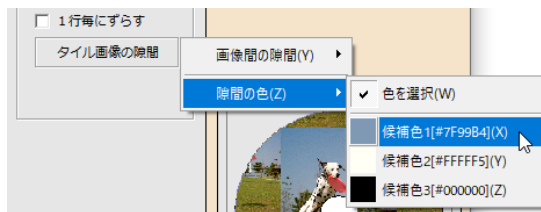
[画像間の隙間]:

タイル間の隙間の有り / 無し、隙間の広さを指定できます。



[隙間の色]:

隙間の色を指定します。画像中によく使われている色を候補として3つ表示します。



■余白処理:万華鏡 万華鏡のように余白を埋めます。

【ぼかし】: ぼかしの強さを指定します。

【角度】: 万華鏡の角度を指定します。角度を数字で入力することもできます。

【繰り返し】: 繰り返しの多さを指定できます。



正方形写真に
万華鏡を指定

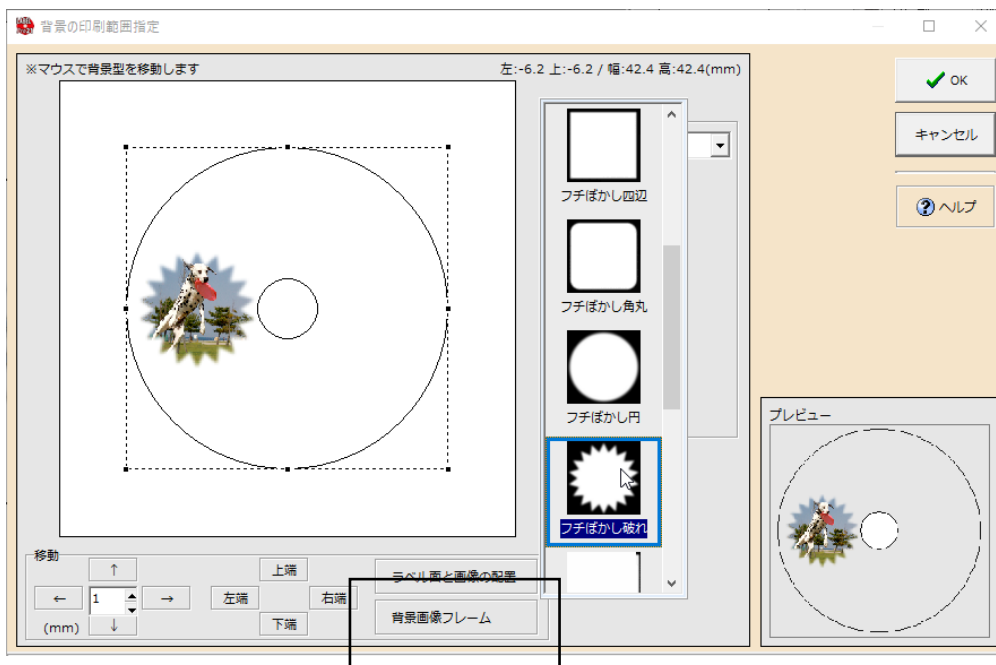
■背景画像フレーム

背景の画像にフレームを指定できます。

余白処理と合わせて使用すると効果的です。

背景柄に写真を指定し、編集画面右下のプロパティから〈位置調整〉－〈詳細設定 (Z)〉をクリックします。

背景画像フレームをクリックし、表示されたフレームを選択します。



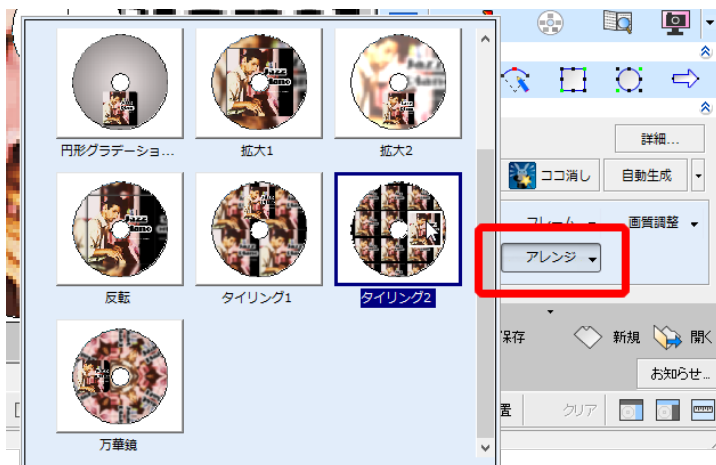
様々なフレームが登録されています。



■アレンジ

使用する画像の解像度が低い場合、ラベル全面に画像を指定すると荒く表示されることがあります。その場合は、アレンジを使いましょう。

背景柄に写真を指定し、編集画面右下のプロパティから「アレンジ」ボタンをクリックします。



表示されるパターンを選択します。



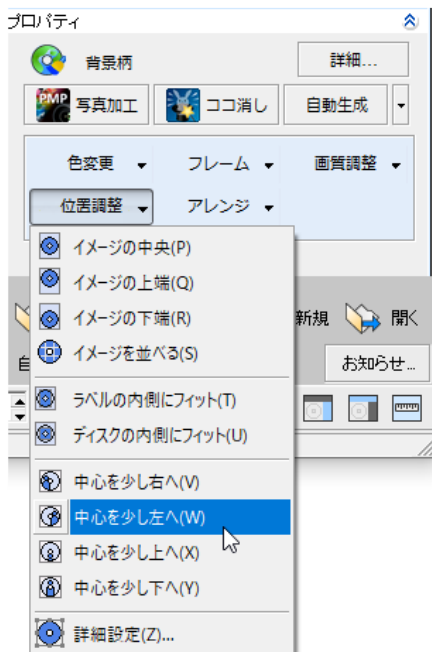
ワンクリックで様々なアレンジが可能です。

■移動プリセット

四角い写真を丸いラベルに配置したときに生じる余白を自然に調整しながら、内円に重なってしまった被写体をワンクリックで移動します。

1. 背景柄に写真を指定し、編集画面右下のプロパティから〈位置調整〉をクリックします。
2. 〈中心を少し右へ〉、〈中心を少し左へ〉、〈中心を少し上へ〉、〈中心を少し下へ〉の4つからお好みのメニューをクリックします。
被写体が移動し、余白を自動で処理します。

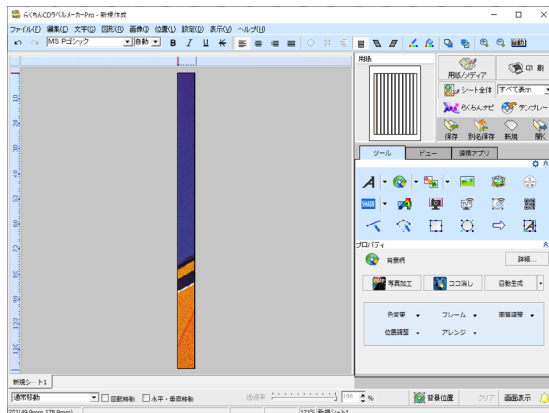
例) 〈中心を少し左へ〉



3-5-8. 連続絵ラベル : CD ケースや DVD トールケースなど 1 枚の画像を分割した連続背ラベルを作成できます。

Step 1

用紙の選択から背ラベルを含む用紙を選択します。



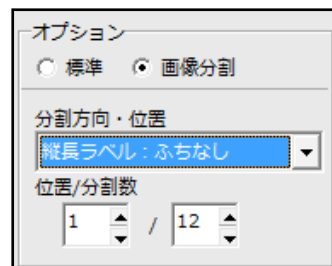
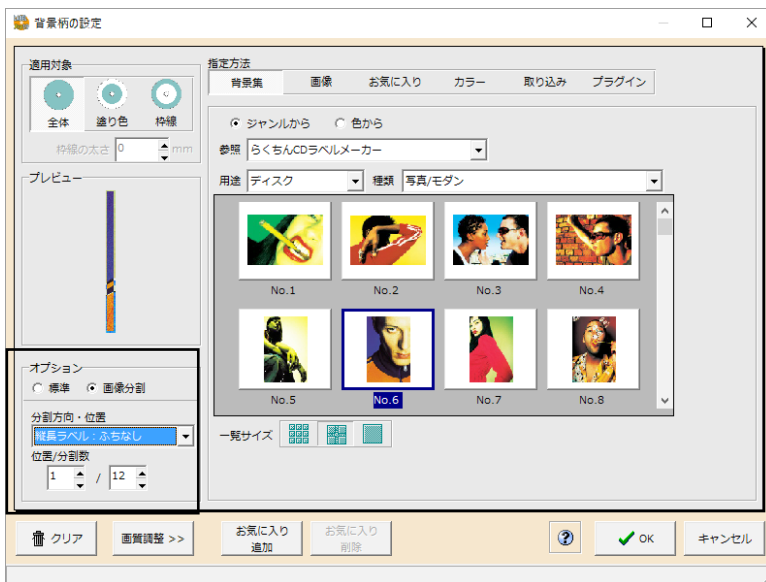
Step 2

背景柄の設定画面の左下のオプションで「画像分割」を選択します。

〈位置 / 分割数〉の数字を入力します。

例えば、12 枚の連続ラベルを作成する場合は、分母に 12 を入力ください。

分子に選択中のラベルの順番を入力します。



Step 3

「分割方向・位置」から分割の方向や位置を指定できます。

■縦長ラベル：

縦長のラベル用です。左から右へ画像を分割します。

■横長ラベル：

横長のラベル用です。上から下へ画像を分割します。

■標準：

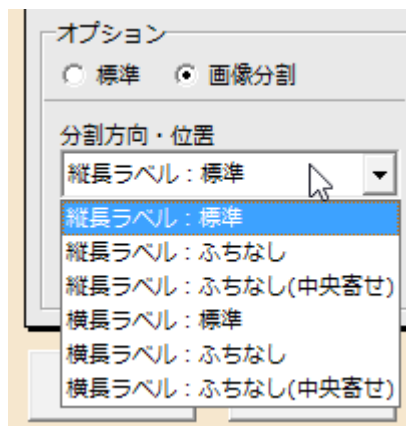
連続ラベル内に背景柄の全体を表示するように配置します。
画像のサイズによっては、上下左右に余白がつく場合があります。

■ふちなし：

連続ラベルに余白ができないように背景柄を分割します。
「縦長ラベル」の場合は左寄り、「横長ラベル」の場合は上寄りに位置取りします。画像のサイズによっては画像の一部がカットされる場合があります。

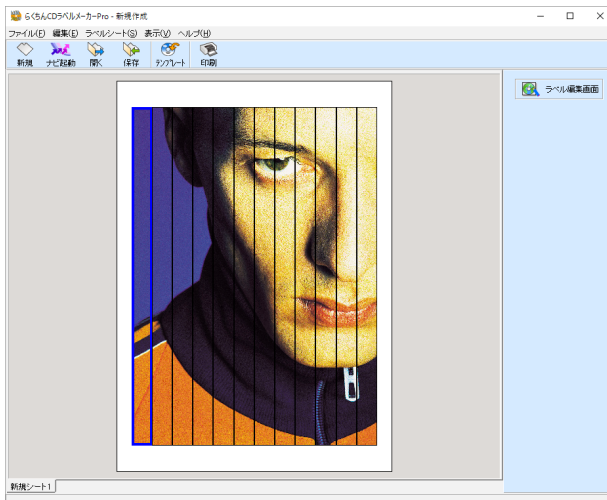
■ふちなし（中央寄せ）：

連続ラベルに余白ができないように背景柄を分割します。
中央寄りに位置取りします。画像のサイズによっては画像の一部がカットされる場合があります。



Step 4

シート全体表示で完成のイメージを確認します。




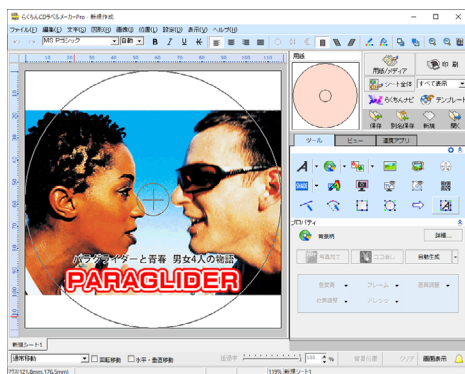
3-5-9. 色のスポイトツール：編集画面上の色を自由にコピーすることができます。

編集画面上の色を自由にコピーし、背景柄や他のオブジェクトに指定することができます。


全ての色指定メニューからスポイトツールを使用することができます。

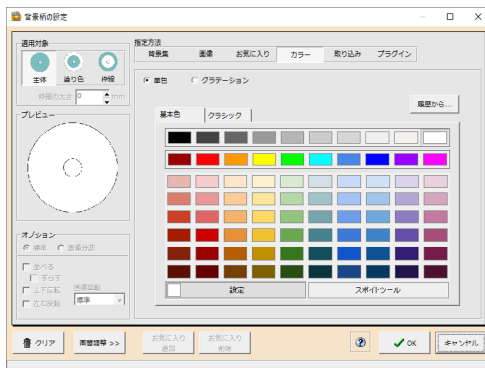
Step 1

ラベル編集画面左側の  背景柄 ボタンから「背景柄の設定」画面を開きます。



Step 2

「カラー」タブの  スポイトツール ボタンで「スポイトツール」を起動します。



Step 3

「スポイトツール」画面に、編集中のデザインが表示されます。マウスでコピーしたい箇所をクリックします。

右側に、コピーした色のプレビューが表示されます。色に問題が無ければ、【OK】ボタンで「背景柄の設定」画面に色を反映します。

マウスクリックで色をコピー



コピーした色のプレビューが表示されます。

画像を参照し、「スポイトツール」画面に表示することができます。

編集画面のデザインに戻すことができます

【OK】ボタンで「背景柄の設定」画面に色を反映します。

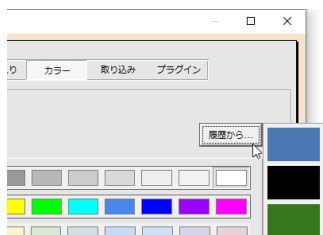
Step 4

「背景柄の設定」画面にて、【OK】ボタンをクリックすると、背景柄にコピーした色を指定できます。



余白が綺麗に埋まりました。


※色の履歴については、「3-12. オブジェクトの塗り色」を参照してください。

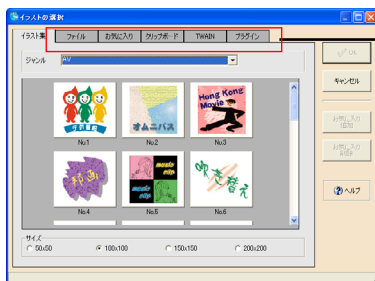


コピーした色は、「色の履歴」にも登録されます。文字やシェードなど、様々なオブジェクトに使用可能です。

3-5-10. イラスト：ワンポイントとしてイラストを活用してください。特定の色を透過することも可能です。

Step 1

編集画面のツールの  をクリックすると、「イラストの選択」ダイアログが表示されます。イラストイメージを選択し、【OK】ボタンをクリックします。



各種イメージファイルを取り込むこともできます。

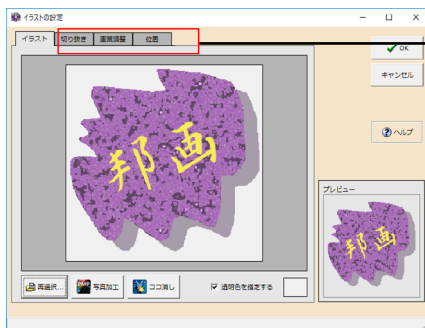
※メニュー<画像 (I)>><イラスト (O)>を選択しても同じ画面を表示させることができます。

※イメージの取り込みに関しては、「3-10. イメージの取り込み」を参照してください。

※らくちんブラウザからも同じイラストを読み込むことができます。

Step 2

イラストの選択が完了したら、「イラストの設定」ダイアログが表示されます。この画面では、イラストを切り抜いたり、画質・位置を調整したりすることができます。「イラスト」タブでは、透明色を指定することができます。イラスト上にポインタをあわせ、クリックすると、透明色が指定することができます。【OK】ボタンを押します。



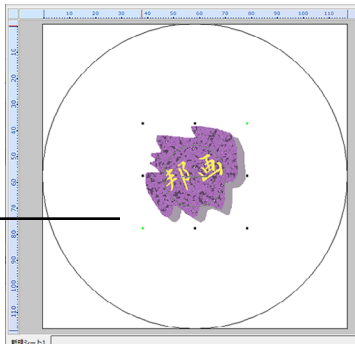
イメージの調整を行うことも可能です。


※イラストの画質調整に関しては、「3-11. イメージの調整」を参考してください。

Step 3

イラストオブジェクトが配置されます。

配置したイラストを再度編集したい場合は、イラストオブジェクトをダブルクリックしてください。

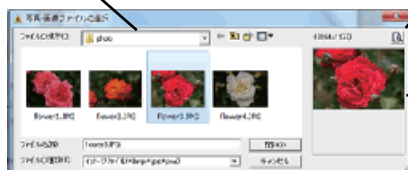


「写真・画像ファイル」ボタン  を使用すると、お手持ちの写真や画像を素早く貼り付けることができます。

編集画面のツールバーのをクリックすると、「写真・画像ファイルの選択」ダイアログが表示されます。写真／画像を選択し、【開く】ボタンをクリックします。イラストオブジェクトが配置されます。

ファイルの場所：
ここからお手持ちの画像が保存されている場所を指定します。


大きなプレビュー
ボタンをクリックすると、選択中の画像が別ウィンドウで大きく表示されます。



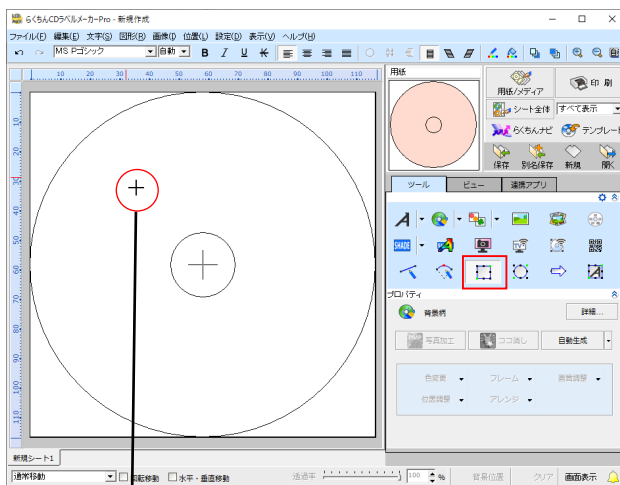
プレビュー
選択中の画像を表示します。

3-5-11. 図形：文字オブジェクトの背面に配置して、文字を際立たせるのにも便利です。

Step 1

ツールの  をクリックします。ラベルのデザインフィールドにポインタをあわせると、ポインタが十字の形に変わります。

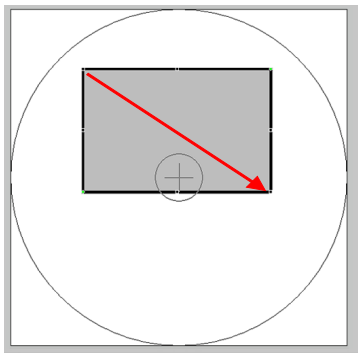
※メニュー〈図形 (R)〉〈四角 (R)〉を選択しても同じ画面を表示させることができます。



十字の形のポインタ

Step 2

そのままポイントを図形を描く始点から、終点までドラッグ＆ドロップすると、※同様の方法で、他の図形（円・直線・円弧）も描くことができます。




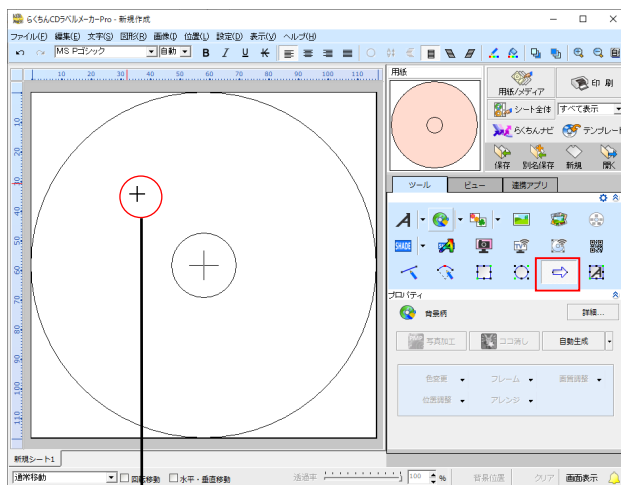
3-5-12. 矢印：文字やイラストの強調やデザインのパーツとして活用してください。



※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

Step 1

ツールバーの  をクリックします。ラベルのデザインフィールドにポイントをあわせると、ポイントが十字の形に変わります。

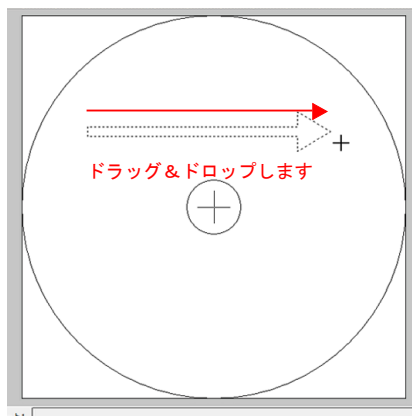


※メニュー＜図形 (R)＞＜矢印 (0)＞を選択しても同じ画面を表示させることができます。

十字の形のポイント

Step 2

そのままポイントを図形を描く始点から、終点までドラッグ&ドロップすると、矢印が描かれます。

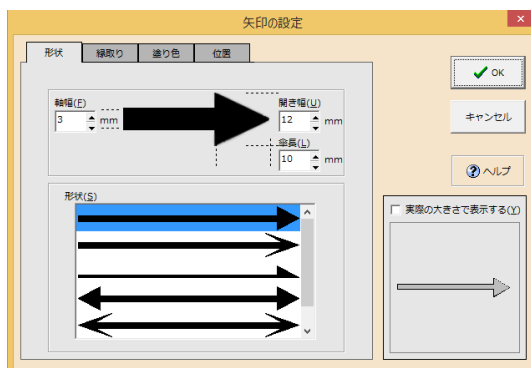


Step 3

描いた矢印をダブルクリックすると、「矢印の設定」ダイアログが表示されます。「形状」タブで太さの設定や形状を、「縁取り」「塗り色」タブで縁取り線や矢印の色を選択することができます。

【OK】ボタンを押します。

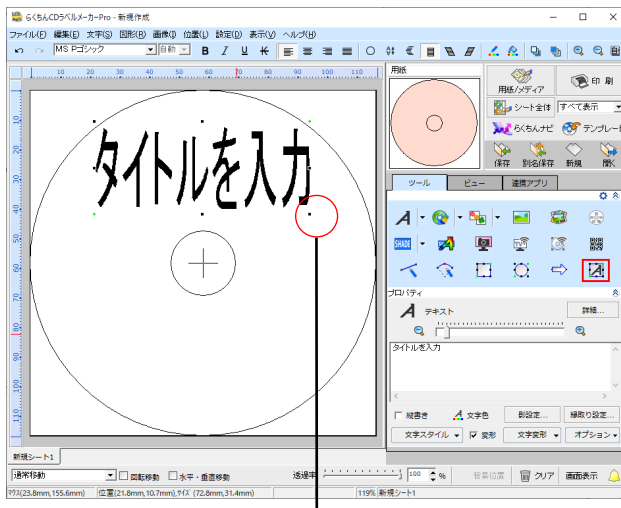
※色の指定については、「3-12. オブジェクトの塗り色」を参照してください。



3-5-13. 変形文字：マウスで指定した範囲にぴったりと文字を入力できます。タイトル文字の入力に便利です。



※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。




※メニュー<図形 (R)><変形文字 (T)>を選択しても同じ画面を表示させることができます。

操作方法はメニュー<ヘルプ (H)><らくちん CD ラベルメーカーの使い方>をご覧ください。

マウスで描いた範囲に合わせた文字を入力できます。

3-5-14. シェード図形：塗り色が自由に選択できるイラストオブジェクトです。

Step 1

ツールバーの  をクリックします。「シェード図形の選択」ダイアログが表示されます。

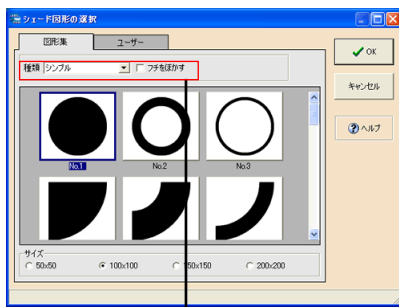
※メニュー<画像(I)><シェード図形(A)>を選択しても同じ画面を開くことができます。

●図形集

あらかじめ登録されている図形です。画像ファイルを選択し、シェード図形プルダウンで種類を選択できます。

●ユーザー

図形として登録することができます。



種類「シンプル、飾り」を選択時には、図形のフチをぼかすことができます。



登録したシェード図形を選択し、【削除】ボタンを押すと登録削除できます。

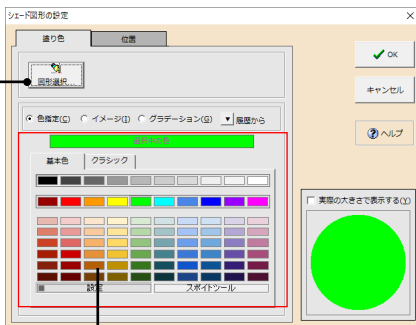
【図形登録】ボタンを押すとファイルを選択するダイアログが表示されます。

※シェード図形として登録できるイメージファイルは、bmp/jpg/png形式です。

Step 2

「シェード図形の設定」ダイアログが表示されます。

シェード図形を選択しなおすことができます。

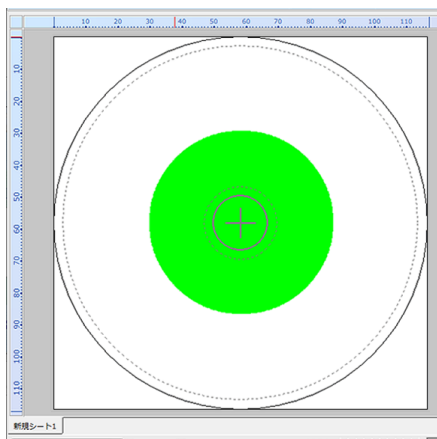


塗り色を指定することができます。

※塗り色に関しては、「3-12. オブジェクトの塗り色」を参考にしてください。

Step 3

設定が完了したら、【OK】ボタンを押します。ラベル中央にシェード図形オブジェクトが配置されます。



ここでご紹介したオブジェクトの他にも、日付・日時、飾り文字、QRコード、JANコードや各種イメージファイルをオブジェクトとして貼り込むことができます。

3-5-15. 目立ちタイトル作成：簡単な図形と文字を組み合わせたタイトルを作成できます。



※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

Step 1

ツールバーの ボタンをクリックすると、「目立ちタイトルの設定」ダイアログが開きます。「タイトル」を選択し、テキストの欄に文字を入力し、元となるタイトルを選択します。

OK ボタンでラベル編集画面にタイトルが配置されます。

文字列を入力します。

タイトルを選択します。

表示倍率を変更します。

登録されているタイトルが表示されます。

プレビューが表示されます。

Step 2

文字の大きさや図形の色などを変更したい場合は、「詳細設定」タブをクリックします。

文字のフォント種類やサイズを変更することが可能です。



図形の種類・塗り色を選択します。



スライダーを左右に動かして、図形のサイズ・位置を指定します。値を直接数値入力することもできます。



スライダーを左右に動かして、タイトル全体の大きさを指定します。値を直接数値入力することもできます。

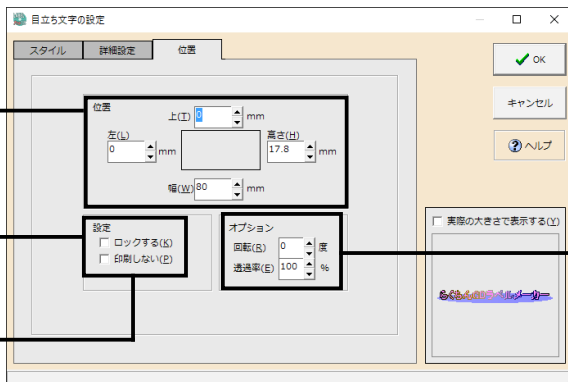
Step 3

タイトルの位置などを変更したい場合は、「位置」タブをクリックします。

タイトルの位置を変更することができます。

「ロック」にチェックを入れると、ラベル編集画面上で、位置が固定されます。


「印刷しない」にチェックを入れると、タイトルは印刷されません。



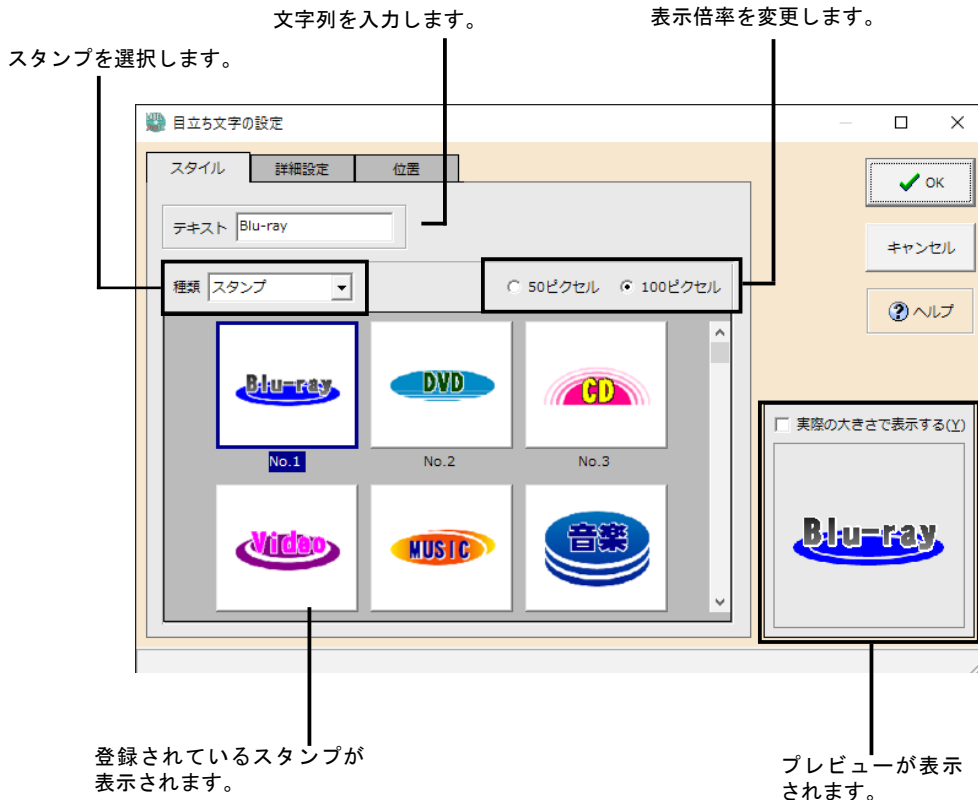
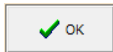
回転や透過率を設定できます。

3-5-16. 目立ちスタンプ作成：簡単な図形と文字を組み合わせたスタンプを作成できます。

Step 1

ツールバーの  ボタンをクリックすると、「目立ち文字の設定」ダイアログが開きます。「スタンプ」を選択し、テキストの欄に文字を入力し、元となるスタンプを選択します。

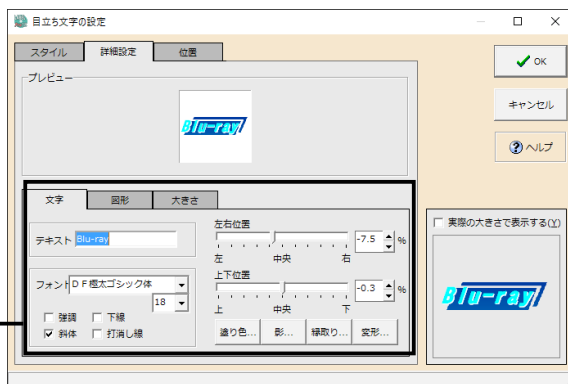
ボタンでラベル編集画面にスタンプが配置されます。



Step 2

文字の大きさや図形の色などを変更したい場合は、「詳細設定」タブをクリックします。

文字のフォント種類やサイズを変更することが可能です。



図形の種類・塗り色を選択します。



スライダーを左右に動かして、図形のサイズ・位置を指定します。値を直接数値入力することもできます。



スライダーを左右に動かして、スタンプ全体の大きさを指定します。値を直接数値入力することもできます。

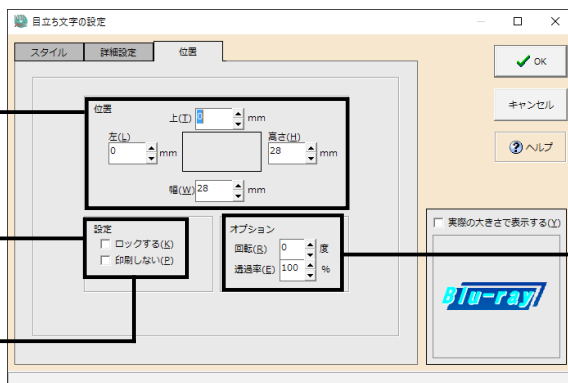
Step 3

スタンプの位置などを変更したい場合は、「位置」タブをクリックします。

スタンプの位置を変更することができます。

「ロック」にチェックを入れると、ラベル編集画面上で、位置が固定されます。

「印刷しない」にチェックを入れると、スタンプは印刷されません。



回転や透過率を設定できます。

Check

ラベルのデザインフィールド上で右クリックし、新規作成からオブジェクトを配置することができます。文字、イラスト、写真・画像ファイル、シェード図形、目立ち文字を追加することができます。

Step 1

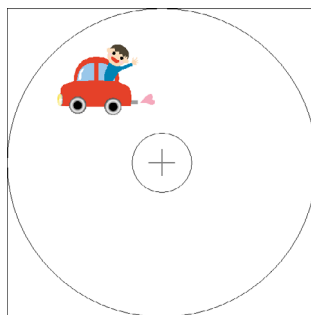
配置したい場所で右クリックし、新規作成からオブジェクトを選択します。



※文字を選択した場合は「テキストを入力」と自動配置され、文字ダイアログが開きます。

Step 2

右クリックした場所にオブジェクトが配置されます。




3-5-17. スクリーンキャプチャ：好きなデスクトップ上のオブジェクトをカンタンに撮影できます。



※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

Step 1

ツールバーの  ボタンをクリックすると、「画面撮影」画面に切り替わります。

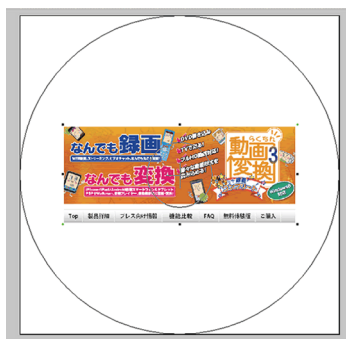
Step 2

マウスの左ボタンを押したまま、撮影したい範囲を指定します。
選択された範囲はオレンジ色の枠で表示されます。



Step 3

撮影範囲が決まりましたら、決定をクリックします。




撮影された画像が「らくちん CD ラベルメーカー」に貼り付けられました。

3-5-18. スマホでテレビスキャン：テレビ画面をスマホで撮影し無線で送信、平面補正して編集画面に貼り付けます。



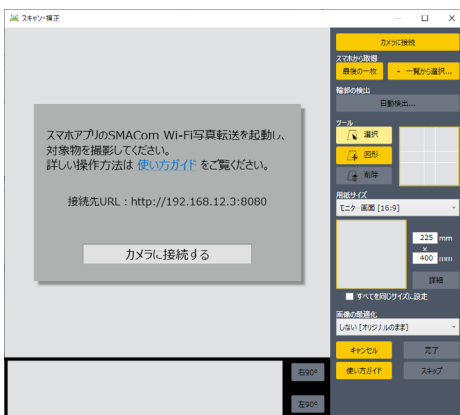
※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

※この機能を利用するには、あらかじめスマートフォン用アプリ「SMACom Wi-Fi 写真転送」との接続設定を行っておく必要があります。

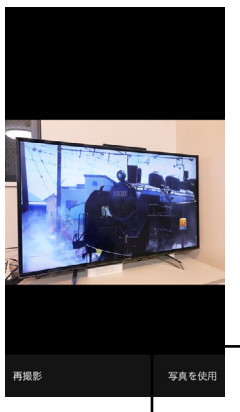
ツールバーの  ボタンをクリックすると、「スキャン・補正」画面が起動します。

スマートフォン用のアプリ「SMACom Wi-Fi 写真転送」を起動し、「カメラに接続」ボタンからスマートフォンのカメラに接続します。

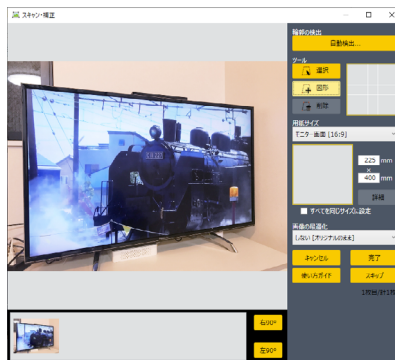
※カメラの接続設定の方法は、「スキャン・補正」画面の「使い方ガイド」から起動するガイドを参照してください。



スマートフォンでテレビの画面を撮影し「写真を使用」から写真を取り込みます。



スマートフォンの画面



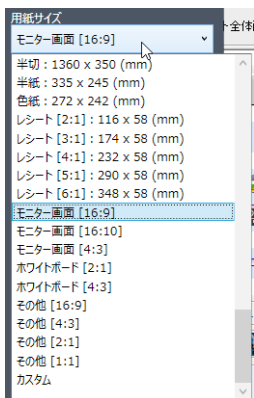
写真を取り込んだ後の画面



ボタンをクリックして台形部分をマウスでドラッグします。
テレビ画面の4つの角に赤い点があるようにマウスで指定します。

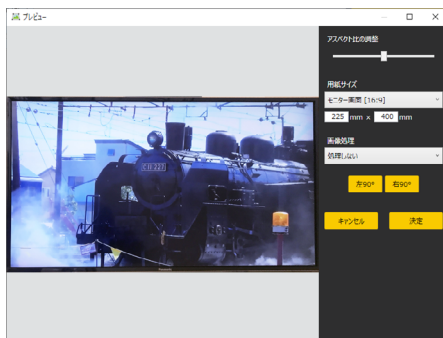


「用紙サイズ」から撮影したテレビの
サイズ比を指定します。



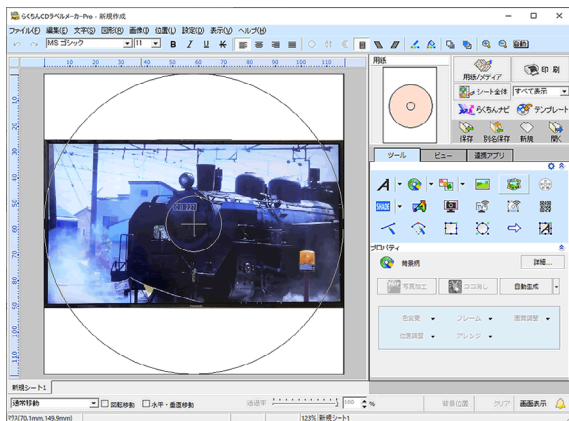
詳細

ボタンから補正後のプレビューを表示します。
この画面でアスペクト比や画像処理することも可能です。
問題ない場合は、「決定」ボタンからプレビューを閉じます。



完了

ボタンで完了します。編集画面に反映されます。




3-5-19. スマホでディスクスキャン：お気に入りのディスクをスマートフォンで撮影し編集画面に貼りつけることで、レーベルのデザインをコピーすることが可能です。



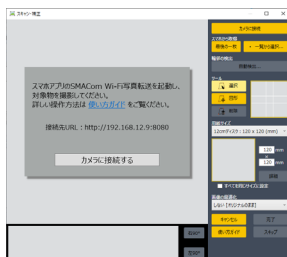
※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

※この機能を利用するには、あらかじめスマートフォン用アプリ「SMACom Wi-Fi 写真転送」との接続設定を行っておく必要があります。

ツールバーの  ボタンをクリックすると、「スキャン・補正」画面が起動します。

スマートフォン用のアプリ「SMACom Wi-Fi 写真転送」を起動し、「カメラに接続」ボタンからスマートフォンのカメラに接続します。

※カメラの接続設定の方法は、「スキャン・補正」画面の「使い方ガイド」から起動するガイドを参照してください。

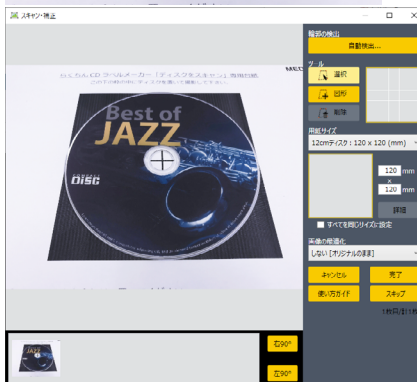


「ディスクスキャン専用台紙」にディスクをのせスマートフォンで撮影します。




※「ディスクスキャン専用台紙」は本マニュアルの最終ページにあります。印刷してご利用ください。


「写真を使用」から写真を取り込みます。



写真を取り込んだ後の画面

 ボタンをクリックして専用紙の黒い正方形をマウスでドラッグします。4つの角に赤い点があるようにマウスで指定します。



 ボタンで完了します。編集画面に反映されます。このまま印刷してください。

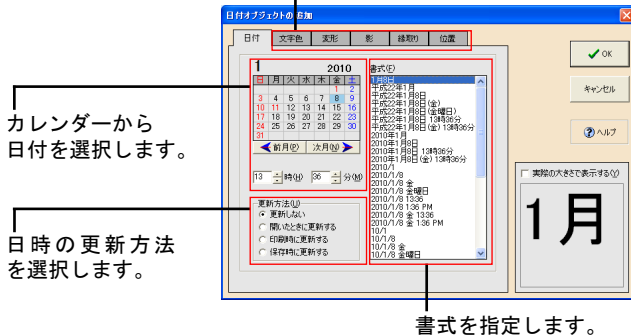


3-5-20. 日付・時間：ラベル作成日時等を記録しておくのに便利です。

メニュー〈文字 (S)〉>〈日付・時間 (D)〉を選択し、「日付オブジェクトの追加」ダイアログを表示させます。

文字オブジェクトと同様の編集を行うことができます。

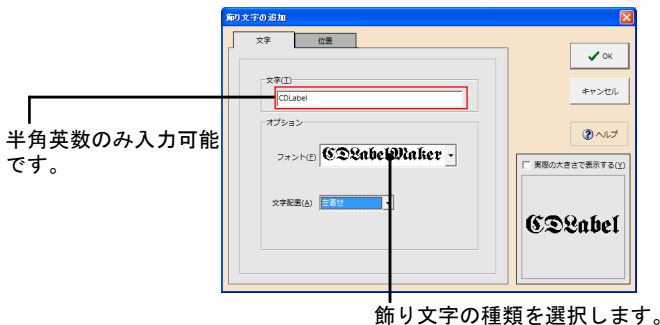
※文字オブジェクトの編集方法は、「3-6. 文字の編集」を参考にしてください。



オブジェクトの例：平成22年1月8日 13時36分

3-5-21. 飾り文字：立体などのエフェクトがついた文字です。

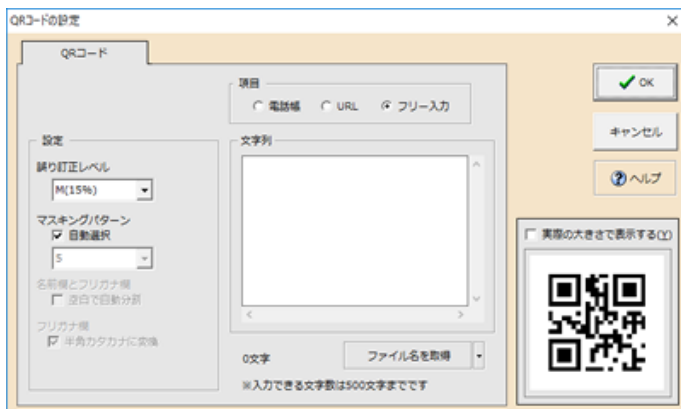
メニュー〈文字 (S)〉>〈飾り文字 (I)〉を選択し、「飾り文字の追加」ダイアログを表示させます。



オブジェクトの例：**CDLabelMaker**

3-5-22. QR コード：ラベルに QR コードを貼り付けます。

メニュー〈画像 (I)〉>〈QR コード (Q)〉を選択し、「QR コードの設定」ダイアログを表示させます。



■項目

電話帳登録と URL (ホームページアドレス) 登録の二次元バーコード (QR コード) も作成することができます。作成時はチェックを切り替えてください。

■設定

誤り訂正レベル

誤り訂正レベルが高いほど、二次元バーコード (QR コード) の一部が汚れなどで損傷した場合でも正しく読み取ることができます。

マスキングパターン

二次元バーコード (QR コード) の配置パターンを変えます。「自動選択」で読み取りに最適なパターンにしていますが、読み取れない場合はパターン番号を変更してください。

名前欄とフリガナ欄

名前とフリガナ入力項目にスペース (空白) があると、姓と名を分割自動登録します (ドコモの「名前」と「フリガナ」の項目のみに有効です)。

フリガナ欄

プロフィール情報のフリガナはそのまま使うと、電話帳に入りませんが、自動的に携帯電話の仕様にあうように変換します (カタカナ変換)。

■ファイル名を取得

フォルダを選択し、フォルダ内のファイル名を文字列にして入力します。DVD に保存したファイルを QR コードで確認することができます。

拡張子を除く

選択した場合、ファイルの拡張子を除いたファイル名を入力します。

先頭に番号を付加

選択した場合、ファイル名の頭に連番で番号を入力します。

既文字列を消去

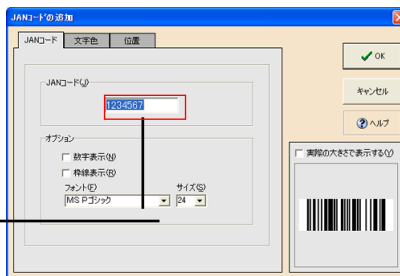
文字列入力欄に文字がある場合、消去してからファイル名を入力します。



3-5-23. JAN コード：ラベルにバーコードを貼り付けます。

メニュー<画像 (I)><JAN コード (J)>を選択し、「JAN コードの追加」ダイアログを表示させます。

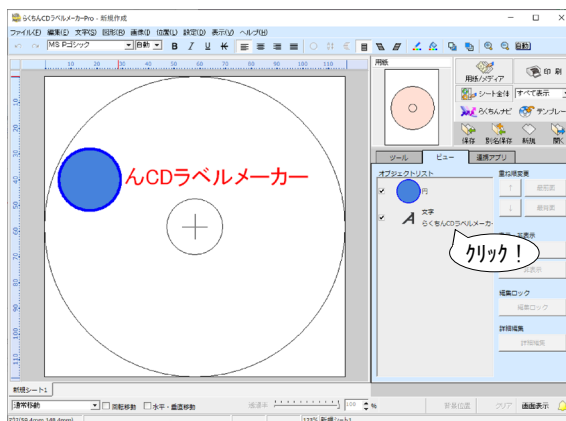
7桁もしくは12桁の数値を入力すると自動的に最後の数字を算出します(チェックキャラクタ)。



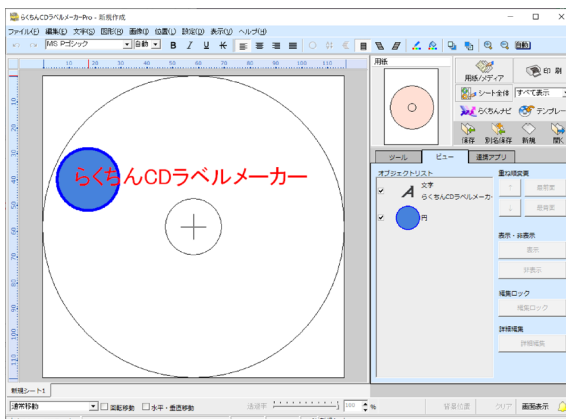
3-5-24. オブジェクトリスト

※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

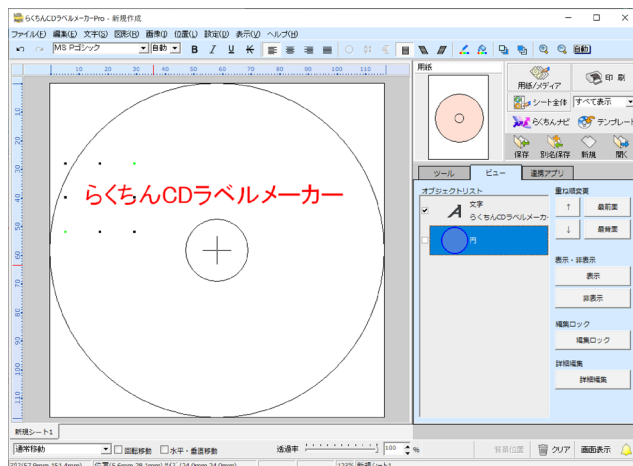
配置されているオブジェクトの一覧表示機能や、オブジェクトごとの表示 / 非表示の設定、重ね順の設定などができる機能です。



文字がイメージの下に隠れてしまった場合は、オブジェクトリスト内の文字を選択し、【最前面】をクリックしてください。

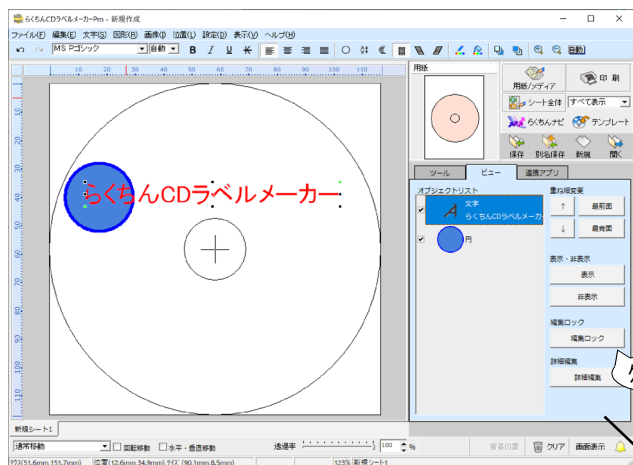


文字がイメージの上に表示されました。



文字やイメージを表示・非表示にしたい場合、オブジェクトリスト内の文字やイメージを選択し、【表示】【非表示】ボタンをクリックしてください。

オブジェクトリスト内のチェックボックスのチェックを外すことも、文字やイメージの表示・非表示の操作ができます。



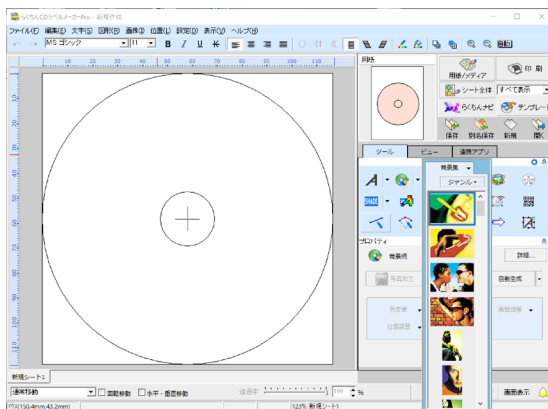
選択中のオブジェクトの詳細画面を開くことができます。

編集ロックを有効にすると、オブジェクトリストに鍵マークが表示され、そのオブジェクトの位置を固定することができます。

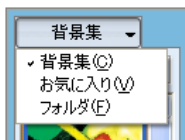
3-5-25. 編集画面上での直接操作 (【▼】ボタン)

Step 1

ツールバーで ▼ をクリックします。プルダウンリストが開き、オブジェクトを呼び出すことができます。



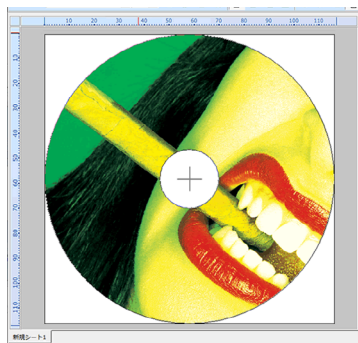
プルダウンリスト上部のボタンから使用するオブジェクトの種類を選択します。



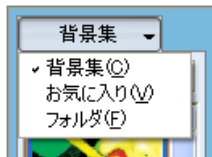
※「お気に入り」は、あらかじめイラストをお気に入りに追加する必要があります。詳しくは「3-10-5. お気に入りから取り込む」を参考にしてください。

Step 2

オブジェクトをダブルクリックします。デザインフィールドにオブジェクトが反映されます。

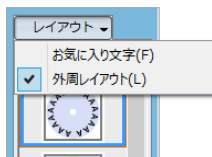


●背景柄

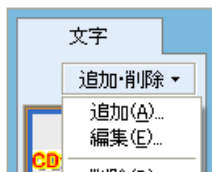


- ・背景集：収録背景柄を表示します。〈ジャンル〉からジャンルを切り替えます。
- ・お気に入り：お気に入りに追加しているイラストを表示します。
- ・フォルダ：画像ファイルの入ったフォルダを参照し表示します。〈フォルダ変更〉からフォルダを選択します。

●文字

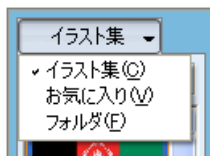


- ・お気に入り文字：お気に入りに追加している文字を表示します。
- ・外周レイアウト：円形文字を自動配置します。



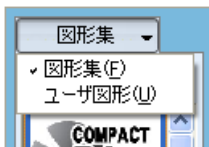
- ・追加：文字の追加ダイアログを開き、お気に入りを追加します。
- ・編集：文字の追加ダイアログを開き、お気に入りを編集します。
- ・削除：お気に入りに文字を削除します。

●イラスト



- ・背景集：収録イラストを表示します。〈ジャンル〉からジャンルを切り替えます。
- ・お気に入り：お気に入りに追加しているイラストを表示します。
- ・フォルダ：画像ファイルの入ったフォルダを参照し表示します。〈フォルダ変更〉からフォルダを選択します。

●シェード



- ・図形集：収録シェードを表示します。〈種類〉からジャンルを切り替えます。
- ・ユーザ図形：登録しているシェード図形を表示します。〈削除〉から登録からシェード図形を削除します。

3-5-26. 編集画面上での直接操作（プロパティエリア）

編集画面右下のプロパティエリアから、現在選択中のオブジェクトを編集することができます。選択しているオブジェクトの種類によって、対応項目が異なります。

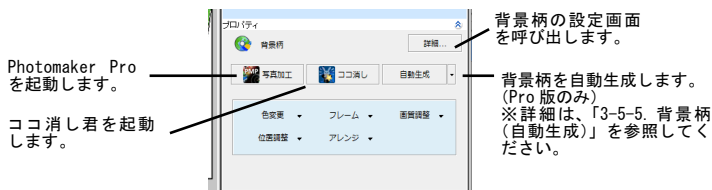
●背景柄

背景柄を編集します。「Photomaker Pro」の起動や、「ココ消し君」の起動や、イメージの色変更（単色効果）、フレーム、ができます。適用する場合は、プレビュー内容をダブルクリックします。「フレーム」は、プレビューリスト上部のボタンからフレームの種類を選択することができます。

※詳しい背景柄の編集の方法は、「3-11. イメージの調整」を参照してください。

※「アレンジ」ボタンの詳細は、「3-5-7. 余白の自動調整」を参照してください。

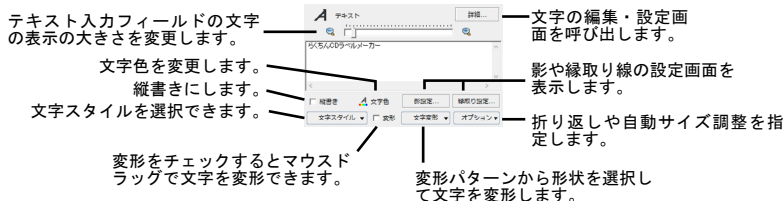
※「Photomaker Pro」に関しては、「3-21. Photomaker Proとの連携」を参照してください。



●文字

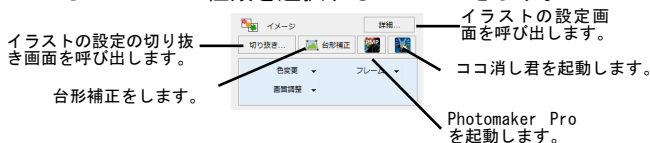
文字を編集します。テキスト入力フィールドに入力した内容が、そのままデザインフィールドに反映されます。文字スタイルを選択することができます。適用する場合は、プレビュー内容をダブルクリックします。

※詳しい文字の編集の方法は、「3-6. 文字の編集」を参照してください。



●イラスト

イラストを編集します。「Photomaker Pro」ボタンから「Photomaker Pro」を起動します。「切り抜き」ボタンから切り抜きの編集画面を呼び出します。イメージの色変更（単色効果）、フレームの編集ができます。適用する場合は、プレビュー内容をダブルクリックします。「フレーム」は、プレビューリスト上部のボタンからフレームの種類を選択することができます。



※詳しいイラストの編集方法は、「3-5-10. イラスト」を参照してください。

※「Photomaker Pro」に関しては、「3-21. Photomaker Proとの連携」を参照してください。

※「ココ消し君」に関しては、「3-23. ココ消し君との連携」を参照してください。

●目立ち文字

目立ちタイトルとスタンプを作成します。ツールから「目立ち文字の作成」ボタンをクリックし目立ち文字の設定画面を開きます。タイトルかスタンプを選択し、テキストを入力します。好きなスタイルを選び、作成する場合はOKをクリックします。



※台形補正の方法は、「3-11-6. 台形補正」を参照してください。

※詳しい目立ち文字の作成方法は、「3-5-14. 目立ちタイトル」と「3-5-13. 目立ちスタンプ」を参照してください。

3-5-27. キーワード WEB 検索

映画やアーティストの画像や作品情報を、文字オブジェクトの入力内容から簡単に検索できるようになりました。

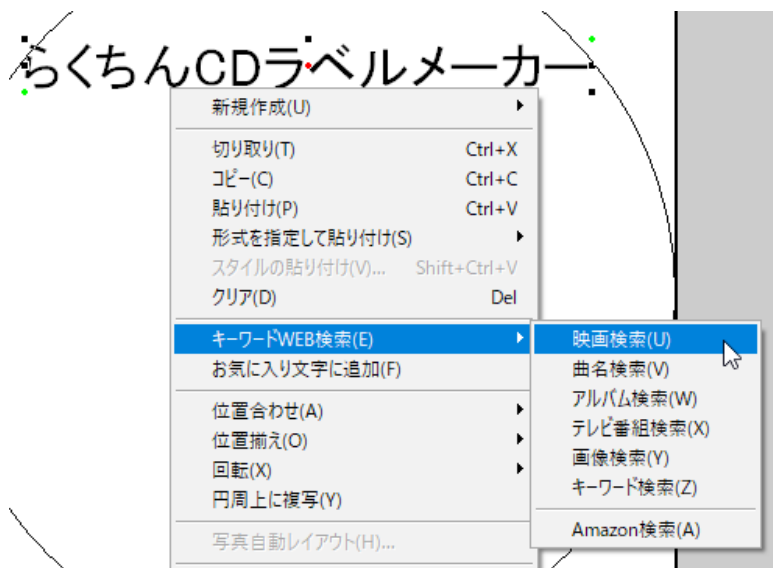
一つのキーワードから「映画」「曲名」「アルバム」「テレビ番組」「画像検索」「キーワード検索」ができます。

また、キーワードを元に Amazon の商品検索を行うこともできます。

編集画面に配置した文字オブジェクトを右クリックして操作します。

【キーワード WEB 検索】をクリックし、検索したいメニューを選択します。

自動でお使いのブラウザが立ち上がりキーワード検索結果を表示します。



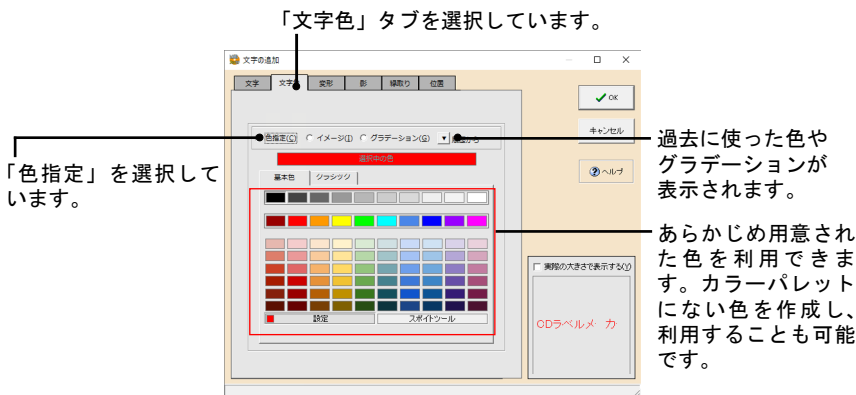
3-6. 文字の編集

オブジェクトの中でも利用頻度の高い文字オブジェクトは、文字の色を変更する以外にも、影を付けたり、変形させたり、様々な装飾を施すことができます。

3-6-1. 文字の色

文字オブジェクトの色には、単色の他に、イメージやグラデーションを指定することも可能です。

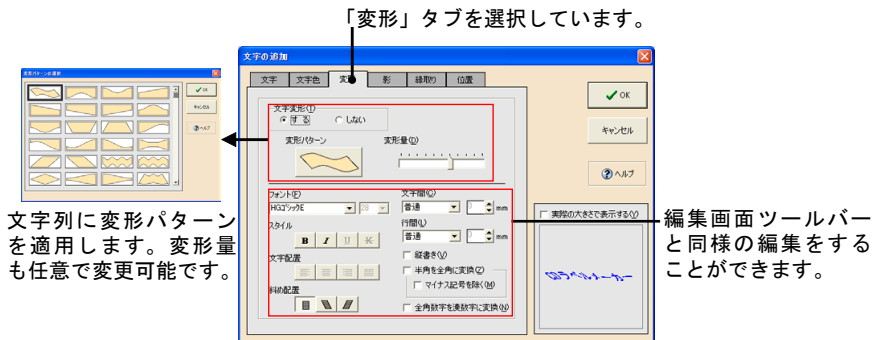
※文字の塗り色に関しては、「3-12. オブジェクトの塗り色」を参照してください。




3-6-2. 文字の変形

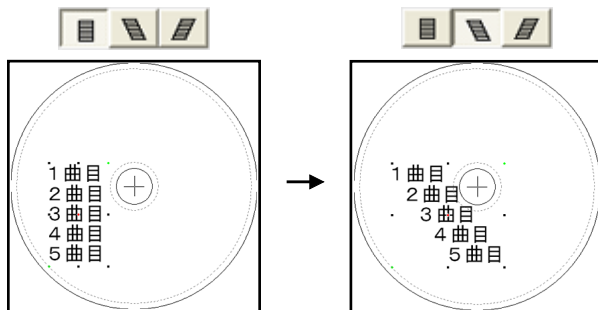
文字オブジェクトのスタイルを細かく指定することができます。

変形パターンを指定したい場合は、「変形」タブを選択し、文字変形「する」にチェックを入れます。



3-6-3. 文字の斜め配置

複数行の文字オブジェクトをCDラベルに沿って斜めにレイアウトするときに便利な方法です。ツールバー（小）の  で調整します。



文字列が右方向にずらして
配列されました。

3-6-4. 文字の円形配置

文字をディスクに沿って円形にすることができます。

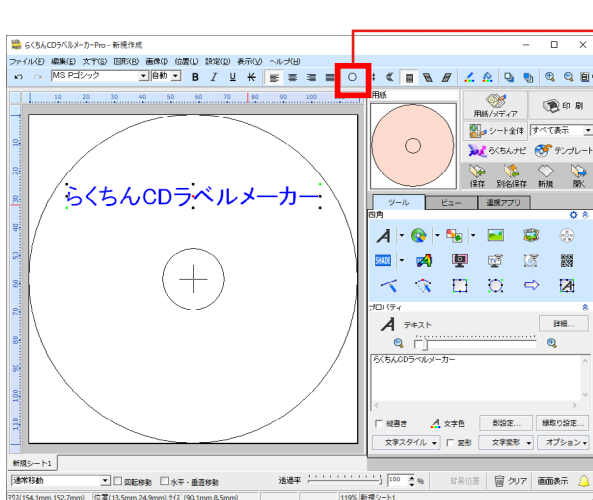
文字オブジェクトを選択し、ラベル編集画面のツールバー



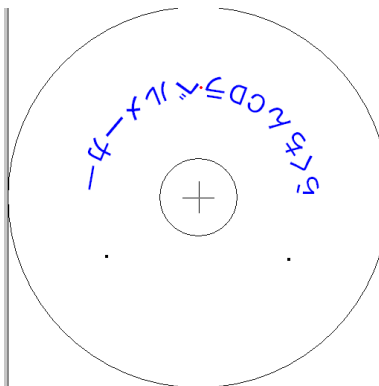
ボタンをク


リックします。

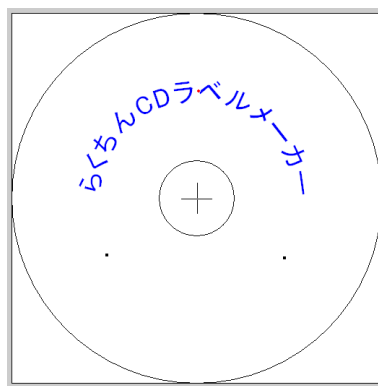
マウスのドラッグ&
ドロップでも文字を
円形にすることがで
きます。
「3-13-7. 文 字 オ ブ
ジェクトの円形配置」
を参照してください。





文字を選択し、
このボタンをクリックします。



1 度目の  ボタンクリック
で、文字が外向きの円形に変化
します。



2 度目の  ボタンクリック
で、文字が外向きの円形に変化
します。

3 度目の  ボタンクリックで、円形が解除され元に戻ります。

3-6-5. 文字を円に沿って配置

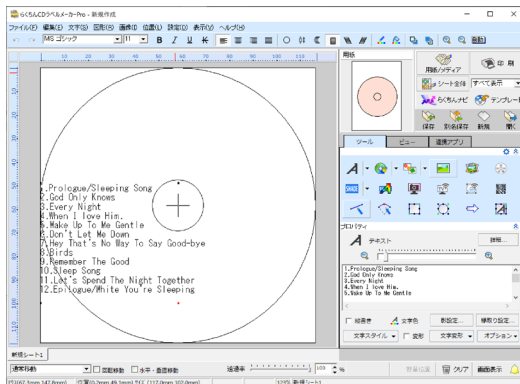


※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。


音楽アルバムの曲目など、複数行のテキストを円周に沿って配置します。

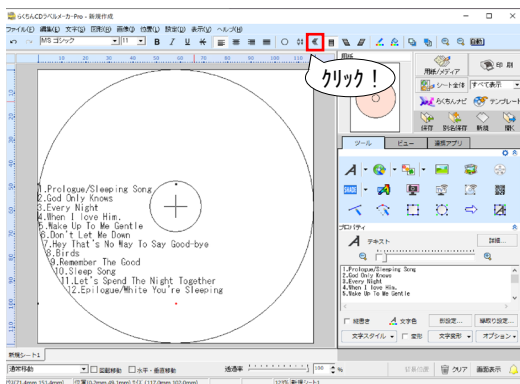
Step 1

曲目などのリストを入力し、円周に配置したい位置に移動させます。



Step 2

入力した文字を選択し  をクリックすると、文字が円周に沿ってキレイに並びます。



3-6-6. 文字の影

文字オブジェクトには影を付けることができます。
「影」タブを選択し、「影を付ける」にチェックを入れます。

※影の塗り色に関しては「3-12. オブジェクトの塗り色」を参照してください。

影をつける方向を選択します。

「影」タブを選択しています。

文字と影の間の距離を設定できます。スライダーを左右に動かすか、数値を直接入力してください。

影をぼかすと、文字をより浮き立たせて見せることができます。

影の塗り色を指定します。

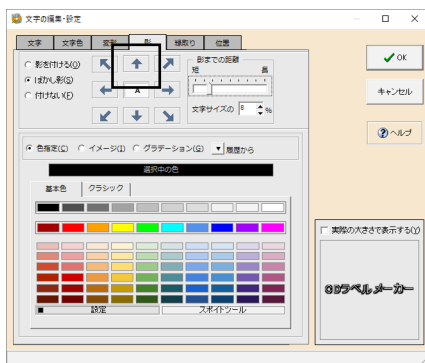
らくちん

3-6-7. ぼかし縁取り（影）

※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

文字の縁取りをぼかすことができます。

CDラベルメーカー



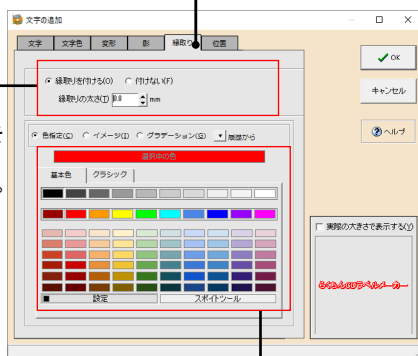
1. 「文字の追加」または「文字の詳細・設定」画面で、「影」タブを選択します。
2. <ぼかし影 (S)> にチェックを入れます。
3. 影の向きを指定する箇所でも A> をクリックします。

3-6-8. 文字の縁取り

文字オブジェクトには縁取りを付けることができます。
「縁取り」タブを選択し、「縁取りを付ける」にチェックを入れます。

「縁取り」タブを選択しています。

「縁取りを付ける」を
チェックし、「縁取り
の太さ」を指定します。

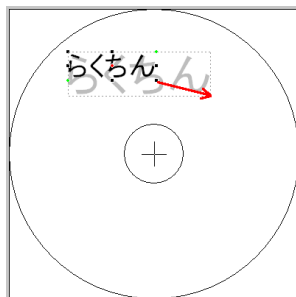


縁取りの塗り色を指定します。

※縁取りの塗り色に
関しては、「3-12. オブ
ジェクトの塗り色」を参照
してください。

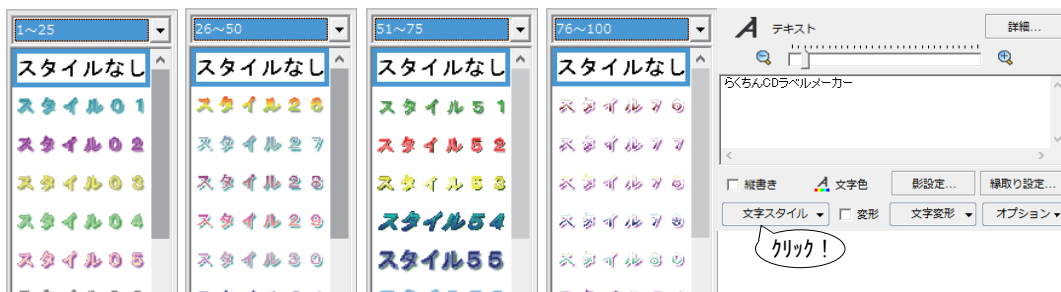
3-6-9. 文字の自動サイズ

文字サイズを「自動」に設定すると、ラベル編集
画面でオブジェクトボックスのサイズ変更にあ
わせて自動的に文字サイズが調整されます。



3-6-10. スタイル文字の選択

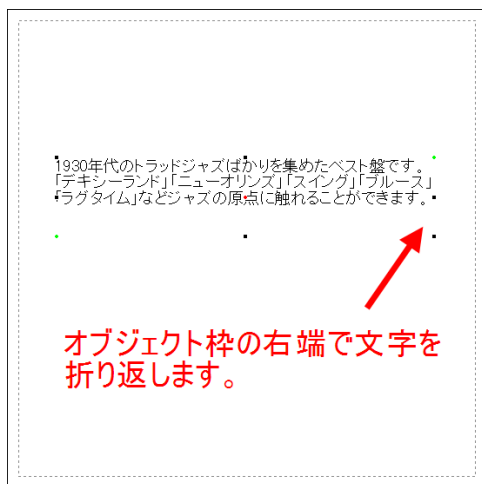
あらかじめ設定されているスタイル文字をプルダウンから選んで、
文字オブジェクトにかんたんに装飾を適用させることができます。
文字を選択しすると、ラベル編集画面の右下に文字のプロパティが
表示されます。プロパティからスタイル文字を選択します。



3-6-11. 文字の自動折り返し

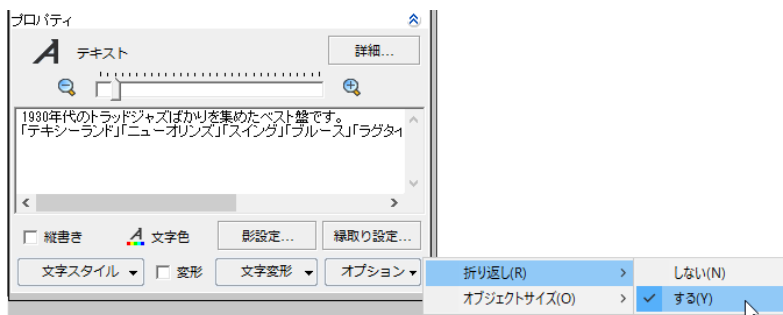


テキストを文字オブジェクトの右端で折り返すことができます。
長いタイトルや曲名、作品情報やライナーノーツなどの長文入力時に便利です。
文字オブジェクトの枠の大きさを調整すれば、その中で自動改行されます。
※この機能は Pro 版のみに搭載の機能です。



自動折り返ししたい文字オブジェクトを選択し、編集画面右下のプロパティの「オプション」ボタンをクリックします。

「折り返し (R)」 - 「くる (Y)」を選択すると、文字の折り返しが有効になります。



テキスト自動折り返し機能は、以下の制限があります。

1. 文字サイズ「自動」を使用できません。
テキスト自動折り返しを有効にすると、文字サイズ「自動」が外れ文字サイズが数字で指定されます。
2. テキスト自動折り返しを有効にすると、自動サイズ調整が無効になります。

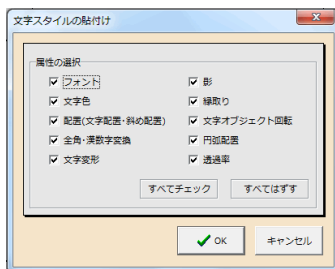
3-6-12. スタイル情報の貼り付け

文字のスタイルのみをコピーし、他の文字に張り付けることができます。



まず、元となる文字をコピーします。

次に貼り付けたい文字を右クリックし、「スタイルの貼り付け (S)」を選択すると、「文字スタイルの貼り付け」画面が開きます。



コピーしたいスタイルの項目にチェックを入れ、【OK】 ボタンをクリックすると文字のスタイルを貼り付けることができます。

3-6-13. 一文字毎に分割付け

文字オブジェクトを1文字ずつに分割できます。

1文字ずつデザインが違うタイトル文字を作成するときに便利です。

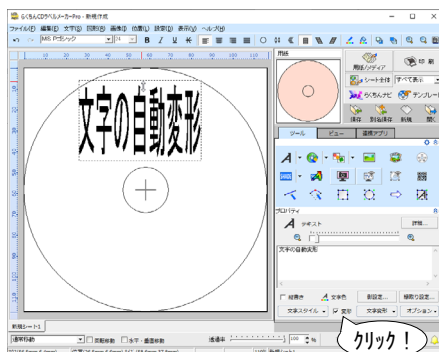
文字オブジェクトを選択し、

メニューバーから〈文字 (S)〉>〈一文字毎に分割 (Z)〉を選択すると、文字が分割されます。



3-6-14. 文字の自由変形

文字の自由変形機能を使うと、選択された文字の高さや幅を自由に変更することができます。文字を選択し、ラベル編集画面の右下に詳細が表示されます。文字の編集・設定内の「変形」にチェックを入れることで利用できます。



3-6-15. フォントの履歴

よく使用する5種類のフォントを履歴として記憶することができます。直近に使用したフォントが一番上に表示されます。



3-6-16. フォントの登録：よく使うお気に入りのフォントを登録できます。



※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

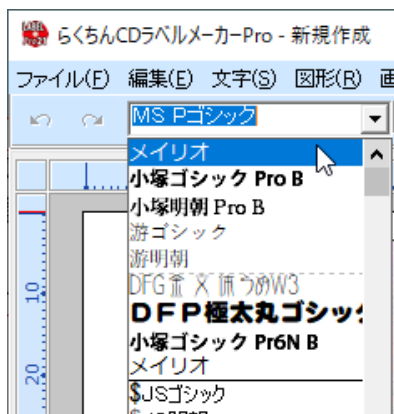
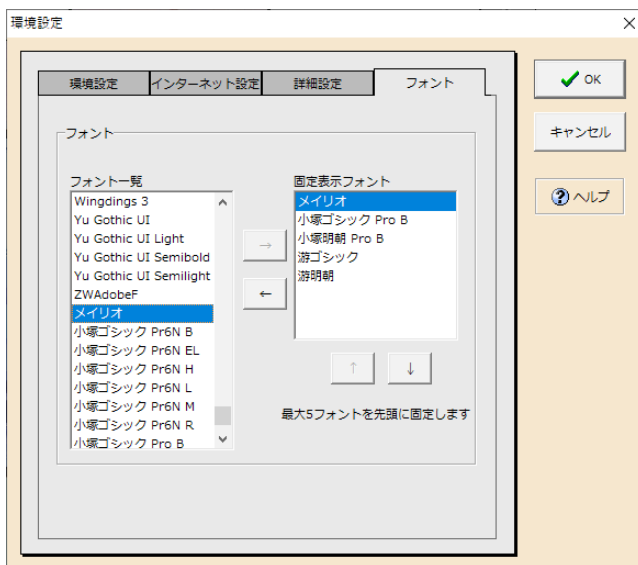
メニュー＜ファイル (F)＞＜環境設定 (E)＞を選択します。「環境設定」ダイアログが表示されます。

「フォント」タブをクリックします。

フォント一覧から登録したいフォントをクリックし、→ボタンで追加します。

削除するときは固定表示フォントからフォントをクリックし←ボタンをクリックします。最大5つ登録できます。↑↓ボタンで順番を変更できます。

呼び出すときはツールバーのフォントをクリックすると一番上に登録したフォントが表示されます。

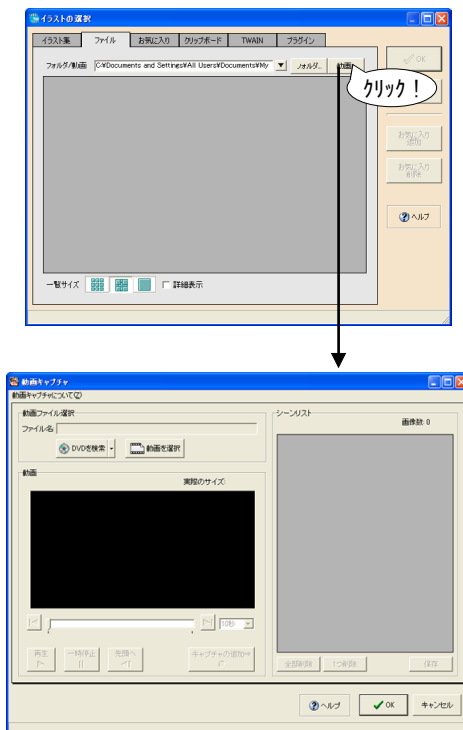


3-7. 動画キャプチャ

背景柄、イラスト、複数画像オブジェクトなどのイメージオブジェクトに動画から切り抜いた画像を利用することができます。

Step 1

各画面にある【動画】ボタンをクリックすると、「動画キャプチャ」画面が表示されます。

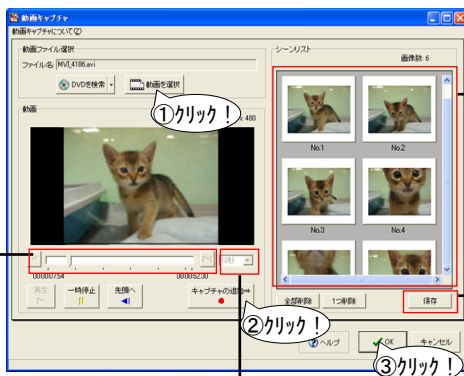


Step 2

【動画を選択】ボタンをクリックし、任意の動画ファイルを選択してください。動画を選ぶと、自動再生されますので、好きな画面で【キャプチャの追加】ボタンを押します。完了したら【OK】ボタンを押します。

※読み込む動画ファイルに関しては、「はじめに～対応動画ファイル」を参照してください。

一時停止中にボタンを押すか、スライダーを前後させれば、コマを移動することができます。



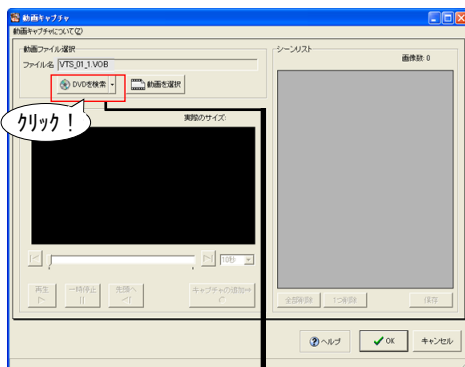
キャプチャした画面が一覧されます。最高で 32 枚まで画面をキャプチャすることができます。

選択したキャプチャ画像に名前をつけて保存することができます。

コマ送りの秒数を設定できます。

Step 3

【DVD を検索】ボタンをクリックすると、自動的に DVD ドライブにある DVD メディアを読み込んで再生します。同様の方法で画像をキャプチャすることができます。



【DVD を検索】ボタン：

選択された DVD ドライブに入っている DVD メディアに複数の VOB ファイルが収録されている場合、右図の様に一覧が表示され、任意の VOB ファイルを選択することが可能です。



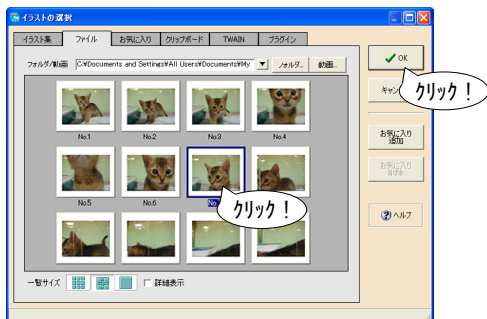
【▼】ボタン：任意の DVD ドライブを選択することが可能です。

※対応動画形式であっても、すべての形式のファイルについて対応を保証するものではありません。

※ CSS または、他のデジタル著作権保護で保護された DVD をリッピングすることはできません。

Step 4

「イラストの選択」ダイアログに戻りますので、ファイルを選択し、【OK】ボタンを押せば、イラストの設定ダイアログが表示されますので、必要に応じて編集を加えてください。



※イラストの調整方法は、「3-11-2. 背景柄の画質調整」を参照してください。

Step 5

【OK】ボタンを押せば、キャプチャ画像がラベルに貼り付けられます。



3-8. 曲名データの自動入力

文字はキーボードから手動で入力するだけでなく、音楽 CD や各種プレイリスト (m3u, wax, wvx, asx)、および iTunes プレイリスト (txt, xml) から文字情報を自動入力することができます。

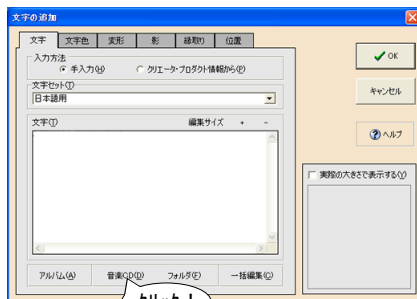
また、それらのデータをアルバム情報で管理することも可能です。

3-8-1. CDDB/CD-TEXT からの曲名データ取得：CD の曲名情報をインターネット上の音楽 CD データベースや CD-TEXT から取得します。

Step 1

曲名情報を取得したい音楽 CD を CD ドライブにセットします。次に、「文字の追加 (編集・設定)」ダイアログで、【音楽 CD】ボタンを押します。

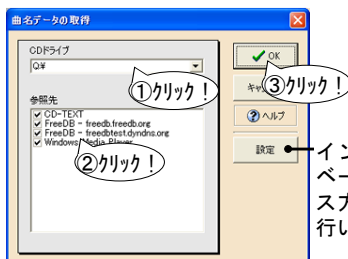
※音楽 CD プレイヤーソフトは終了してください。



Step 2

「曲名データの取得」ダイアログが表示されます。音楽 CD をセットした CD ドライブを選択し、曲名データの参照先にチェックを入れます。【OK】ボタンをクリックします。

※サービス料は無料ですが、接続料金等が別途必要になります。



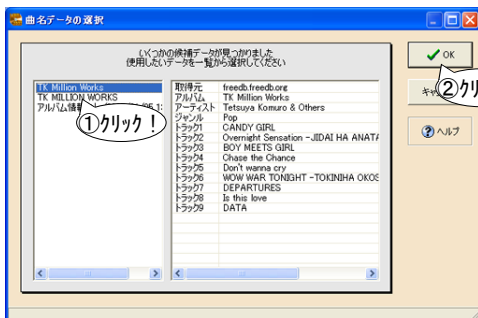
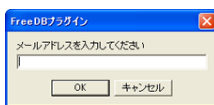
インターネット上のデータベースサーバーへのアクセス方法とサーバーの設定を行います。

※サーバーへのアクセス設定の詳しい方法は、「3-24-2. CDDB サーバー設定」を参照してください。

※ Windows Media Player からの曲名インポートは Ver. 7 以降が必要です。

Step 3

曲名データの検索画面が表示された後、「曲名データの選択」ダイアログが表示されます。使用したいデータを選択し、【OK】ボタンをクリックします。

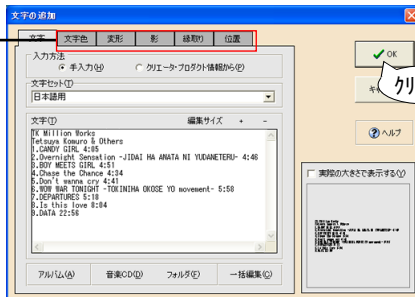


FreeDB を利用する際のメールアドレスを入力します。曲名データをデータベースに登録した場合などに、指定したアドレスにメールが送信されます。

Step 4

「文字の追加（編集・設定）」ダイアログに戻り、曲名情報が自動入力されます。【OK】ボタンをクリックします。

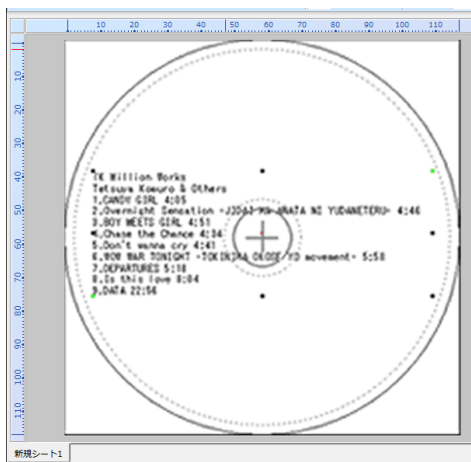
通常の文字オブジェクトと同様の編集が可能です。



※文字オブジェクトの編集方法は、「3-6. 文字の編集」を参照してください。

Step 5

編集画面に戻ります。自動入力された文字オブジェクトが配置されます。

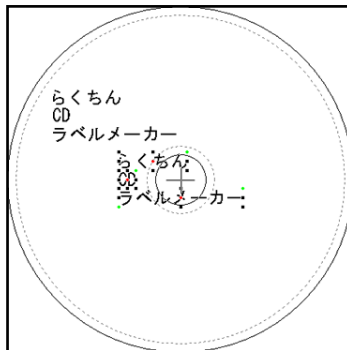


Check

複数行の文字列を分割することによって、各行ごとの編集が可能になります。

オブジェクトを選び、メニュー<文字(S)>-<文字列の分割(Z)>を選択します。分割された文字オブジェクトが新たに配置されます。

音楽CDやプレイリストなどでインポートした文字情報は単一の文字オブジェクトとして配置されますので、この機能を活用してください。



3-8-2. アルバム情報の作成：音楽 CD のタイトル、曲名データを管理したり、そのデータを CDDDB に登録したり、できます。

Step 1

「文字の追加（編集・設定）」ダイアログで、【アルバム】ボタンをクリックすると、「アルバム情報」ダイアログを表示されます。

※音楽 CD でのデータ取得の方法は、「3-8. 曲名データの自動入力」を参照してください。

※プレイリストと CSV ファイルの使用方法は、「3-8-3. 拡張機能」を参照してください。

音楽 CD でデータを取得します。

アルバム情報：アルバム情報を編集したい場合は、ダブルクリックしてください。

トラックの挿入・削除、情報の移動、文字の置換を行います。

アルバムの移動・検索・追加・削除を行います。

フォルダ中のファイル名をアルバム情報に入力します。

プレイリスト (m3u, wvx, asx) や CSV ファイルからアルバム情報をインポートすることができます。

Step 2

登録したアルバム情報をインターネット上の音楽 CD データベースに登録したい場合は、上図の【CDDDB 登録】ボタンをクリックします。「曲名データの登録」ダイアログが表示されますので、「CD ドライブ」と登録先のデータベースを選択し、【OK】ボタンをクリックします。

※サービス料は無料ですが、接続料金等が別途必要になります

※サーバーへのアクセス設定の詳しい方法は、「3-24-2. CDDDB サーバー設定」を参照してください。

インターネット上のデータベースサーバーへのアクセス方法とサーバーの設定を行います。

Step 3

データベースへのアクセス画面が表示された後、確認メッセージが表示されます。以上で、登録が完了します。

※初めて CDDB を利用
する場合は、メール
アドレスの設定画面
が表示されます。

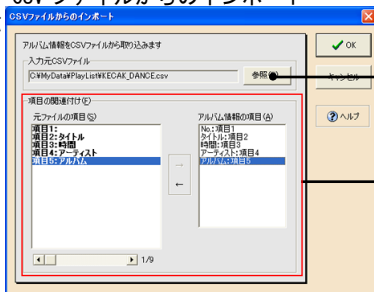


3-8-3. 拡張機能：プレイリストからデータをインポートしたり、CSV ファイルをインポート・エクスポートしたりします。

「アルバム情報」ダイアログで、【拡張機能】ボタンをクリックし、項目選択します。

CSV ファイルからのインポート

CSV ファイルを、アルバム情報に読み込みます。

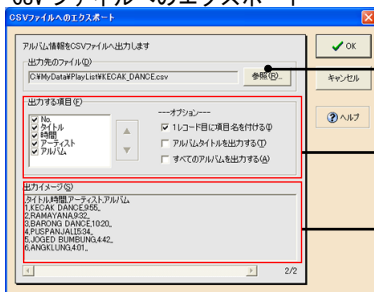


インポートするファイルの場所を指定してください。

インポートするファイル内の項目とアルバム情報内の項目を矢印キーで関連付けてください。

CSV ファイルへのエクスポート

アルバム情報を CSV ファイルとして出力します。



エクスポートするファイルの場所を指定してください。

エクスポートする項目を選択します。

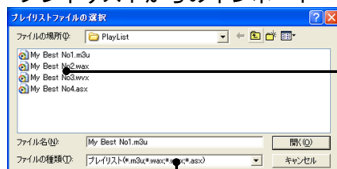
エクスポート時の出力イメージです。

※エクスポートで“すべてのアルバムを出力する”を指定した時は、“アルバムタイトルを出力する”、および、No. 項目も同時にチェックすることをおすすめします。

インポートの際に、エクスポートで指定した No. 項目を関連付けておけば、エクスポート時の情報と同様に、正しくアルバム情報をインポートできます。

プレイリストからのインポート

プレイリストをアルバム情報に読み込みます。



プレイリストを選択し、【開く】を押すと、自動的に該当するアルバム情報の項目に文字情報を読み込みます。

※読み込み可能なプレイリストは、“m3u” (MP3 プレイリスト)、“wax”、“wvx”、“asx” (Windows Media Player プレイリスト) の 4 種類および iTunes プレイリスト、“txt”、“xml” です。

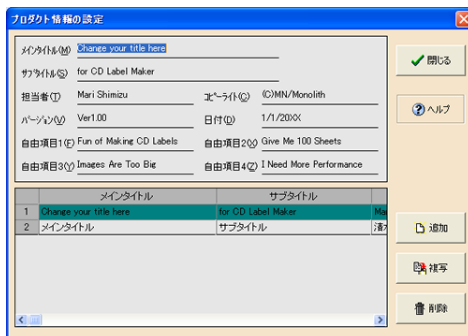
「ファイルの種類 (T)」のプルダウンリストから「iTunes プレイリスト」を選択することもできます。

3-9. クリエータ・プロダクト情報

クリエイター・プロダクト情報管理機能を利用すれば、頻繁に使う住所などの個人情報を毎回手入力する必要がありません。

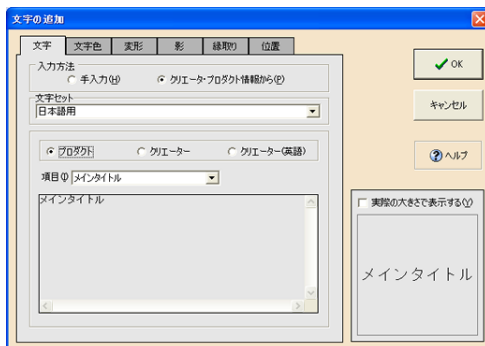
Step 1

ラベル編集画面で、メニュー〈文字 (S)〉>〈プロダクト情報の編集 (P)〉を選択すると、「プロダクト情報の設定」ダイアログが表示されます。【追加】ボタンをクリックすると、新しい情報を新規に追加することができます。



Step 2

「文字の追加（編集・設定）」ダイアログで、プロダクト情報から文字を入力するには、入力方法「クリエイター・プロダクト情報から」を選択します。登録情報が表示されます。



Step 3

以上と同様の方法で、クリエイター情報を登録して、その情報を文字の入力で利用することができます。編集画面でメニュー<文字 (S)>-<クリエイター情報の編集 (C)>を選択します。「クリエイター情報の設定」ダイアログが表示されます。

登録が完了したら、【OK】ボタンを押します。「文字の追加(編集・設定)」ダイアログで、登録情報が表示されます。

The 'Creator Information Settings' dialog box has two tabs: '日本語' (Japanese) and '英語' (English). The '日本語' tab is active. It contains the following fields:

会社名 (C)	会社名
部署名 (S)	× × 部
TEL (T)	電話 03-1234-5678
FAX (F)	FAX 03-1234-5678
〒 (Y)	〒 123-4567
住所1 (A)	東京都 × × 区 × × 町
住所2 (D)	× × × ×
ホームページ (P)	http://www.xxxxxx
自由項目1 (I)	自由項目 1
自由項目2 (Q)	自由項目 2
自由項目3 (Q)	自由項目 3

On the right side of the dialog, there are three buttons: 'OK' (with a green checkmark), 'キャンセル' (Cancel), and 'ヘルプ' (Help, with a question mark icon).



The 'Add Text' dialog box has several tabs: '文字' (Text), '文字色' (Text Color), '変形' (Transform), '影' (Shadow), '縁取り' (Stroke), and '位置' (Position). The '文字' tab is active. It shows the following settings:

- 入力方法 (Input Method): ☒ 手入力 (Manual) and ☐ クリエイタープロジェクト情報から (From Creator Project Information)
- 文字セット (Text Set): 日本語用 (Japanese)
- プロダクト (Product): ☐ プロダクト, ☒ クリエイター (Creator), ☐ クリエイター(英語) (Creator (English))
- 項目 (Item): 会社名 (Company Name)
- 会社名 (Company Name): A text box containing '会社名'.

On the right side, there are three buttons: 'OK' (with a green checkmark), 'キャンセル' (Cancel), and 'ヘルプ' (Help, with a question mark icon). Below these buttons is a checkbox labeled '実際の大ききで表示する (Q)' (Display at actual size (Q)).

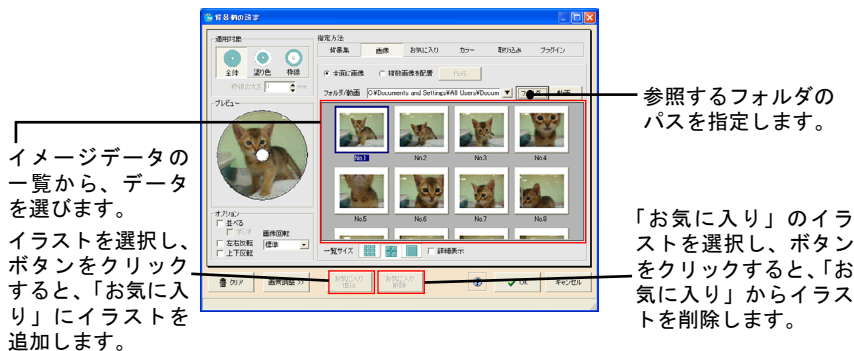
3-10. イメージの取り込み

背景柄やイラスト、文字色のイメージには、収録素材以外に、各ダイアログで共通の操作で、画像データ、TWAIN 機器から取り込んだ画像データなどを利用することができます。ここでは、背景柄を例にとります。

※オブジェクトによってダイアログ画面の構成が異なりますので、ご注意ください。

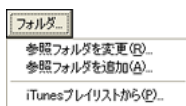
3-10-1. ファイルから取り込む

「背景柄の設定」ダイアログの指定方法「画像」の「全面に画像」を選択します。ディスクに保存されているイメージファイルを取り込むことができます。【フォルダ】ボタンでフォルダを選択します。



※画像データの対応形式は、BMP・JPG・GIF・PNG・PhotoCD・WMF・EMF 形式です。また、mp3・m4u・m4a・m4p の音楽ファイルに含まれる画像イメージにも対応しています。

【フォルダ】ボタンを押すとプルダウンメニューが表示され、フォルダの指定方法やプレイリストを選択することができます。



参照フォルダを変更 (R)

参照先のフォルダを指定します。単一フォルダ内の画像を一覧したいときに指定します。

参照フォルダを追加 (A)

現在参照しているフォルダに別のフォルダを追加して指定します。
フォルダ A とフォルダ B の画像を一覧表示したい時には、「参照フォルダの変更」でフォルダ A を指定した後、「参照フォルダの追加」でフォルダ B を指定します。

iTunes プレイリストから (P)

iTunes のプレイリストに指定されている各楽曲ファイルに含まれる画像イメージを表示します。

3-10-2. クリップボードから取り込む

クリップボードの画像を読み込みたい場合は、指定方法「取り込み」の「クリップボード」を選択します。



3-10-3. TWAIN から取り込む

スキャナ、デジカメなどの TWAIN 機器をお持ちの場合は、機器から画像を取り込むことができます。指定方法「取り込み」の「TWAIN」を選択し、【取り込み】ボタンをクリックします。



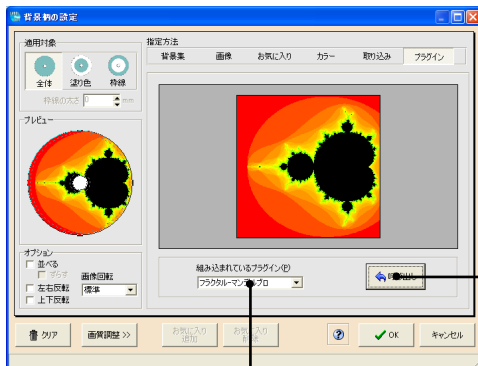
TWAIN ドライバの
選択画面が表示さ
れます。

※ TWAIN 機器から高解像度の画像を取り込んだ際、ファイルのサイズによって、正しく画像を取り込めない場合があります。そのような場合は、画像の解像度や選択領域を小さくし、ファイルのサイズを調整したり、起動している他のアプリケーションを終了し、“らくちん CD ラベルメーカー”で利用できるメモリを増やしたりしてください。

※ スキャナ、デジカメなどの使用方法は、機器に添付されている取り扱い説明書等を参照してください。

3-10-4. プラグインから取り込む

プラグインを用いて、イメージを自動的に作成することができます。
指定方法「プラグイン」を選択し、「組み込まれているプラグイン」でプラグインを選びます。【呼び出し】ボタンをクリックします。



プラグイン画面を表示し、画像を生成できます。

フラクタル・マンデルブロ・自己平方・雲模様、万華鏡から選択します。

※単色・グラデーションの塗り色に関しては、「3-12. オブジェクトの塗り色」を参照してください。

3-10-5. お気に入りから取り込む

お気に入りの画像を読み込みたい場合は、指定方法「お気に入り」を選択します。 ※あらかじめ、イラストをお気に入りに追加する必要があります。



イラストを選択し、ボタンをクリックすると、お気に入りにイラストを追加します。

お気に入りタブのイラストを選択し、ボタンをクリックすると、お気に入りを削除します。

3-11. イメージの調整

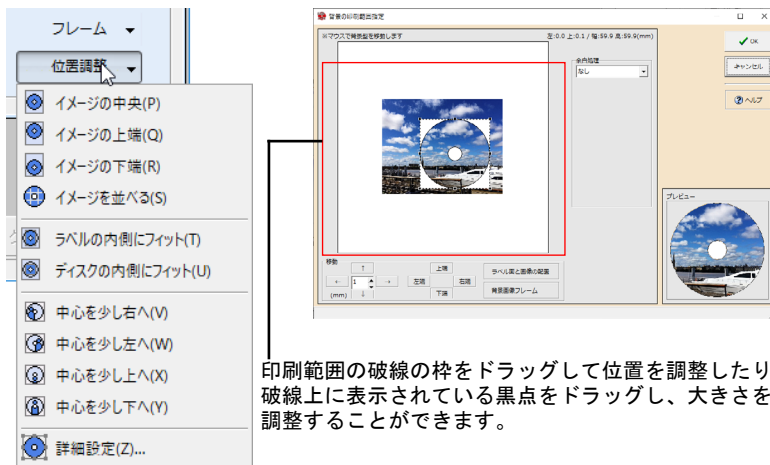
背景柄やイラストにイメージを指定したら、必要に応じて画質を調整しましょう。イメージを並べて表示したり、画質を自動的に調整したりすることができます。

ここでは、背景柄を例にとります。

3-11-1. 背景柄の位置調整

背景柄の印刷範囲の指定したい場合は、ラベル編集画面上の背景柄を選択し、プロパティの【位置調整】から【詳細設定】を選択してください。マウス操作で位置調整します。

※イラストオブジェクトの場合は、「イラストの設定」ダイアログの「切り抜き」タブで同様の編集が可能です。



※この機能は編集画面のプロパティエリア上でも変更可能です。

※「イラストの設定」ダイアログの「切り抜き」タブではイメージにフレームを付けることもできます。詳しくは、「3-11-4. イラストのフレーム」を参照してください。

フィットで、画像をどこにフィットするか指定することができます。

デフォルト



ラベルの内側にフィット

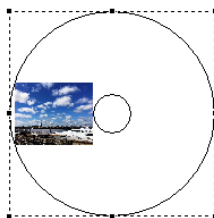
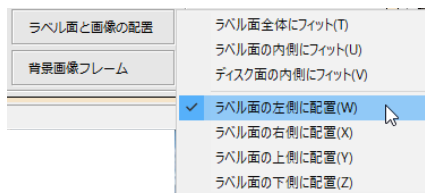


ディスクの内面にフィット



※余白処理については「3-5-7 余白の自動調整」を参照してください。

ラベル面と画像の配置ボタンから背景柄を上下左右に配置することもできます。



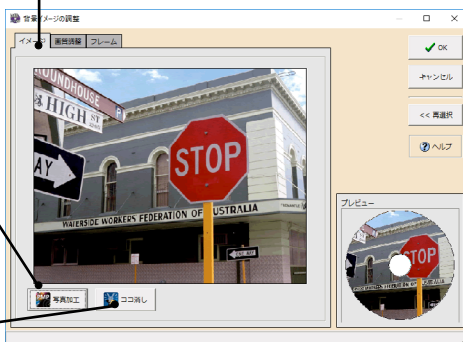
3-11-2. 背景柄の画質調整

背景柄の画質調整を行いたい場合は、「背景柄の設定」ダイアログで、【画質調整】ボタンをクリックします。

「イメージ」タブを選択しています。

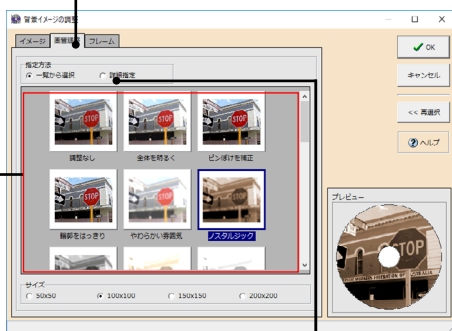
「Photomaker Pro」を起動します。

「ココ消し君」を起動します。

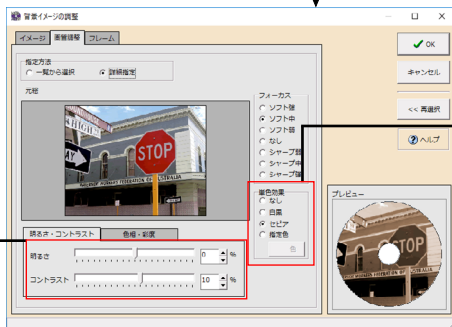


「画質調整」タブを選択しています。

画像が自動調整されます。



さらに細かい調整を行いたい場合は、「詳細設定」を選択します。



スライドバーを動かすか、数値を直接入力します。

※イラストオブジェクトの場合は、「イラストの設定」ダイアログの「画質調整」タブで同様の編集を行うことが可能です。

※「Photomaker Pro」に関しては、「3-21. Photomaker Proとの連携」を参照してください。

※「ココ消し君」に関しては、「3-23. ココ消し君との連携」を参照してください。

※この機能は編集画面のプロパティエリア上でも変更可能です。

タブを切り替えると、色相と彩度の設定も可能です。



単色効果「色指定」を選択した場合は、カラーピッカーで任意の色を選択します。

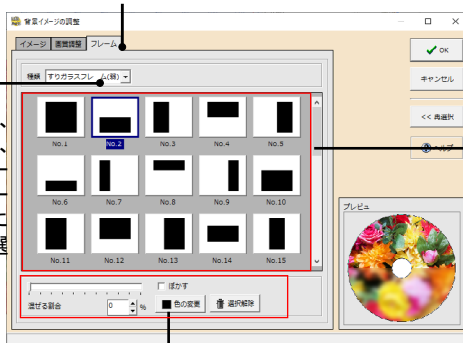
3-11-3. 背景柄のフレーム

背景柄のフレームは塗り色を指定したり、透過率を指定することができます。

※この機能は編集画面のプロパティエリア上でも変更可能です。

「フレーム」タブを選択しています。

すりガラスフレーム、シンプルフレーム、テクスチャ、グラデーション、線 + グラデーションのジャンルに応じたフレームを選択できます。

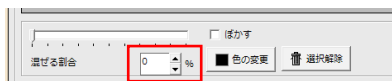


フレームが一覧されます。

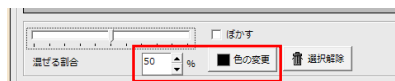
フレームの色を指定したり、ぼかししたりできます。

Check

すりガラスフレームを選択すると混ぜる割合は0%になり、ぼかしだけが適用されます。混ぜる割合を1%以上に設定すると、設定されている色で着色されます。



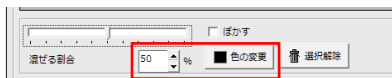
初期値は0%です。



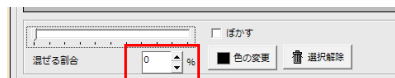
混ぜる割合を1%以上にすると着色します。



シンプルフレームなど、すりガラスフレーム以外を選択した場合は、混ぜる割合は50%で設定されており、設定されている色のフレームが追加されます。混ぜる割合を0%にすると透明になります。



初期値は50%です。指定色のフレームが追加されます。



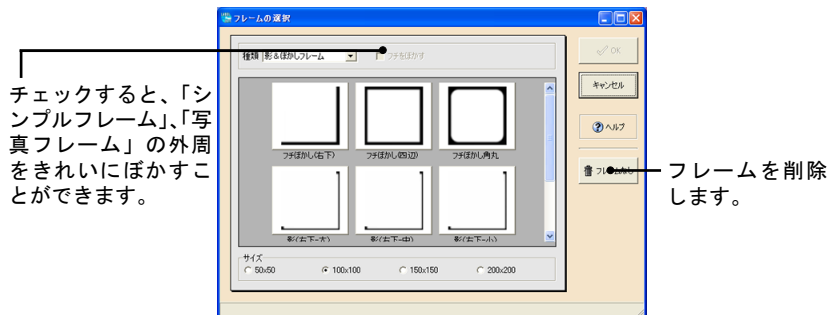
混ぜる割合を0%にするとフレームは透明になり見えなくなります。



3-11-4. イラストのフレーム

「イラストの設定」ダイアログの「切り抜き」タブで、【フレーム選択】ボタンをクリックすると、「フレームの選択」ダイアログが表示されます。フレームを使えば、イラストを綺麗に切り抜くことが可能です。

※この機能は編集画面のプロパティエリア上でも変更可能です。



Check

「影&ぼかしフレーム」を使用すると、画像のフチをぼかしたり、影をつけることができます。



3-11-5. 画像切り抜き



「らくちん CD ラベルメーカー」では、イラストの選択で選択された画像データを切り抜くことができます。

※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

「切り抜きツール」をクリックすると「切抜きの詳細設定」が開きます。

表示サイズを変更することができます。

「移動」ツールを使い切り抜きたい箇所を表示させることができます。

写真全体の確認ができます。

取り消し、やり直しができます。

オリジナル画像に戻すことができます。

「移動」をクリックすると編集画面に移動ツールが表示されます。

マウスポインタの周辺が拡大されて表示されます。

「範囲選択」をクリックすると編集画面に範囲選択ツールが表示されます。

範囲選択ツール（直線、色、四角、円）を選択することができます。

範囲選択ツールで選択した箇所の内側または外側を取り除きます。


フチをぼかすにチェックを入れると取り除いた画像のフチをぼかすことができます。

一つ前のポイントから現在のカーソル位置までの輪郭を自動的に検出します。

範囲選択ツールが表示されます。

画像の範囲選択が完了したら、OK ボタンを押してください。

【色（カラー範囲自動選択機能）】

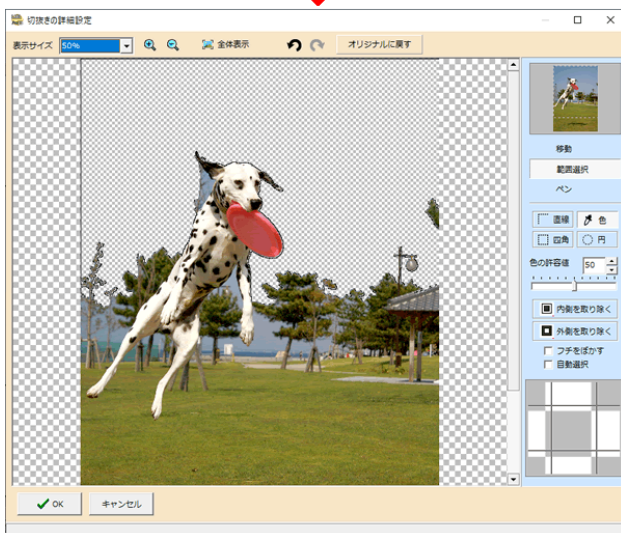
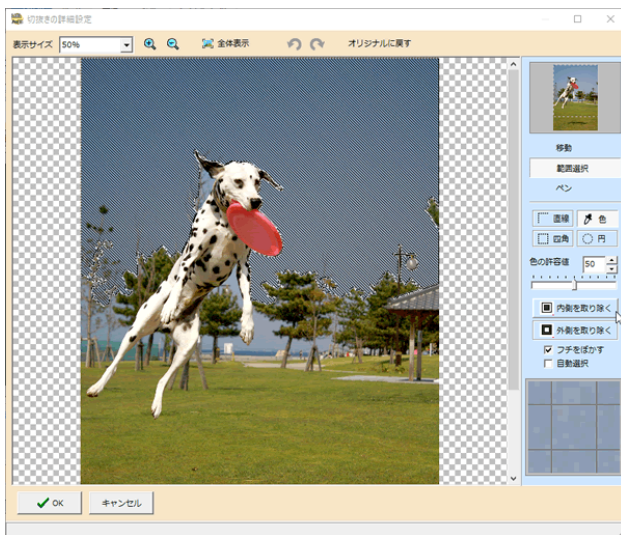
範囲選択の  色 でモードを切り替えます。

マウスでクリックした個所の似ている色を自動で検知し選択状態になります。

下の画像では、空の色をクリックして指定し、内側を取り除きました。

わずか2クリックで空の大部分が取り除けました。

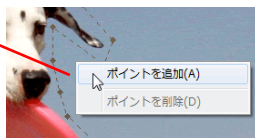
範囲を選択後、「内側を切り抜く」「外側を切り抜く」のボタンにマウスを合わせると、切り抜かれる部分が網掛け表示になります。



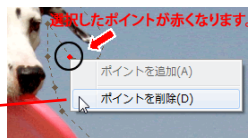
Check

範囲選択ツールで範囲選択後、右クリックでポイントの追加と削除ができます。

ポイントを追加したい場所で右クリックし、「ポイントの追加 (A)」をクリックすると、ポイントが追加され選択範囲が変更されます。

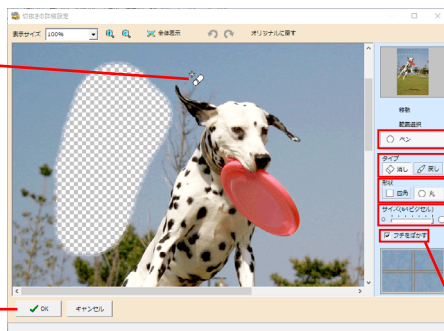


削除したいポイントを選択して (ポイントが赤くなります) 右クリックし、「ポイントを削除 (D)」をクリックするとポイントが削除され選択範囲が変更されます。



消しゴムツールが表示されます。

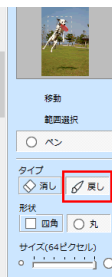
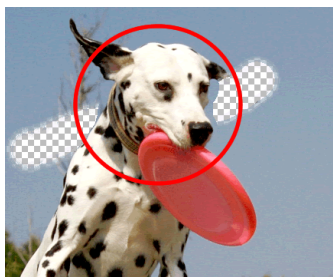
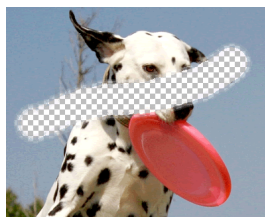
ペンツールで加工が完了したら、OK ボタンを押してください。



ペンツール (消し、戻し) を選択することができます。
タイプを選択することができます。
「消し」は消しゴムツールです。
「戻し」は消しゴムツールで消した部分を元に戻すツールです。
ペンの形状 (四角、丸) を選択することができます。
消しゴムのサイズを変更することができます。
フチをぼかすにチェックを入れると消しゴムツールで削除した画像のフチをぼかすことができます。

Check

消しゴムツールで消してしまった箇所を「戻し」ツールで戻すことができます。



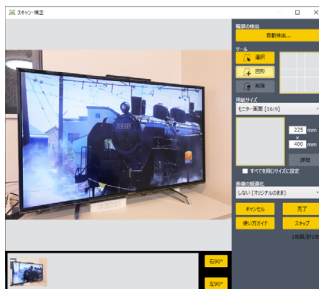
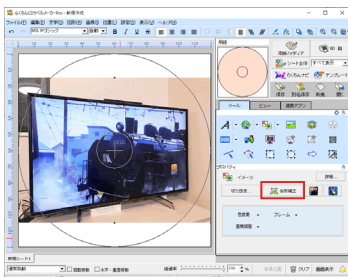
「戻し」を選択して、元に戻したい場所をマウスでなぞると元の画像が表示されます。

3-11-6. 台形補正：写真の中の台形部分を平面補正し切り抜くことができます。



※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

編集画面上のイラストをクリックし、プロパティの 台形補正 ボタンをクリックし「スキャン・補正」画面を起動します。

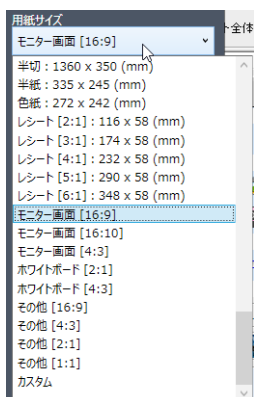


ボタンをクリックして台形部分をマウスでドラッグします。

対象の4つの角に赤い点がのるようにマウスで指定します。

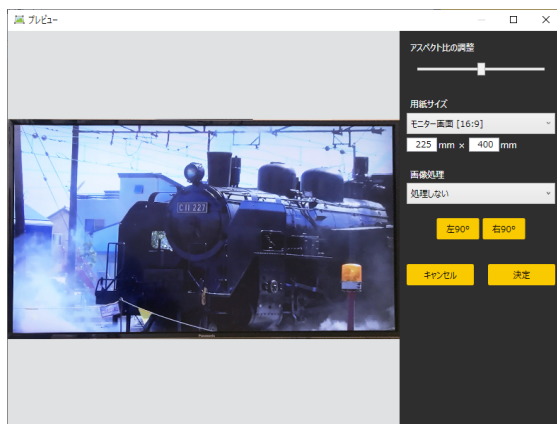


「用紙サイズ」から切り抜く対象のサイズ、またはサイズ比を指定します。



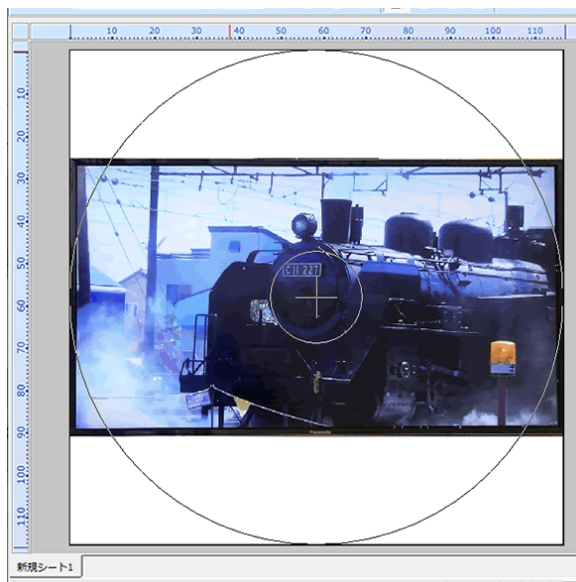
詳細

ボタンから補正後のプレビューを表示します。
この画面でアスペクト比や画像処理をすることも可能です。
問題ない場合は、「決定」ボタンからプレビューを閉じます。



完了

ボタンで平面補正を完了します。



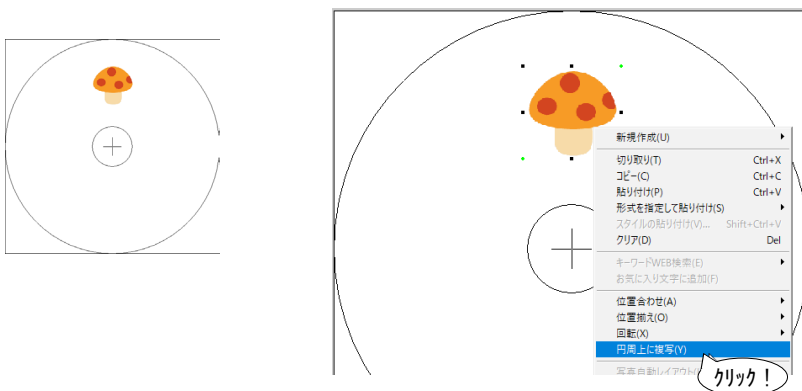
3-11-7. 円周コピー配置：写真やイラストをぐるっと一周、きれいに並べることができます。



※この機能は「Pro 版」のみに搭載の機能です。

編集画面上に写真かイラストを配置します。

右クリックし、「円周上に複写」をクリックします。



複写する数を選択し「OK」ボタンをクリックします。

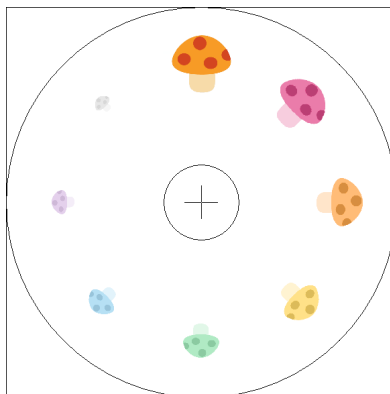
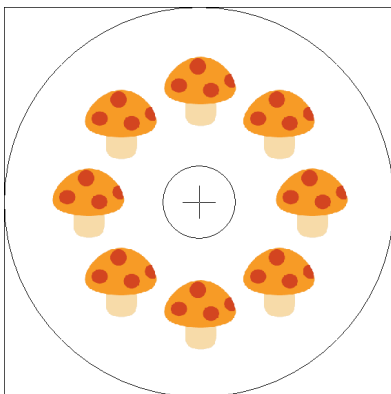
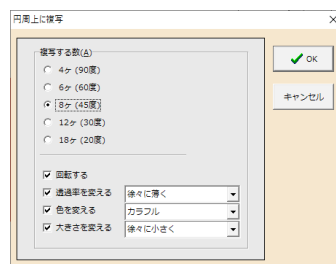
表示されるオプションは選択しているオブジェクトによって異なります。チェックを入れると適用して複写します。

回転する：円周に沿って回転し複写します。

透過率を変える：透過率を変更しながら複写します。

色を変える：色を変更しながら複写します。

大きさを変える：大きさを変更しながら複写します。

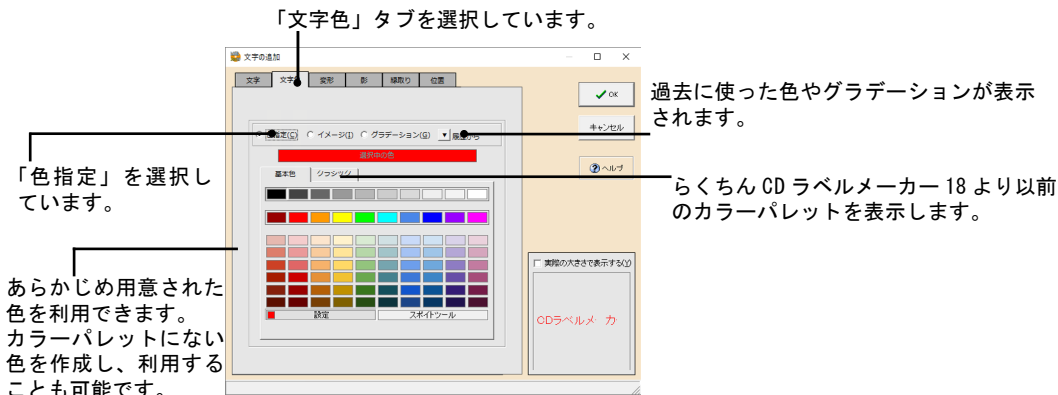


3-12. オブジェクトの塗り色

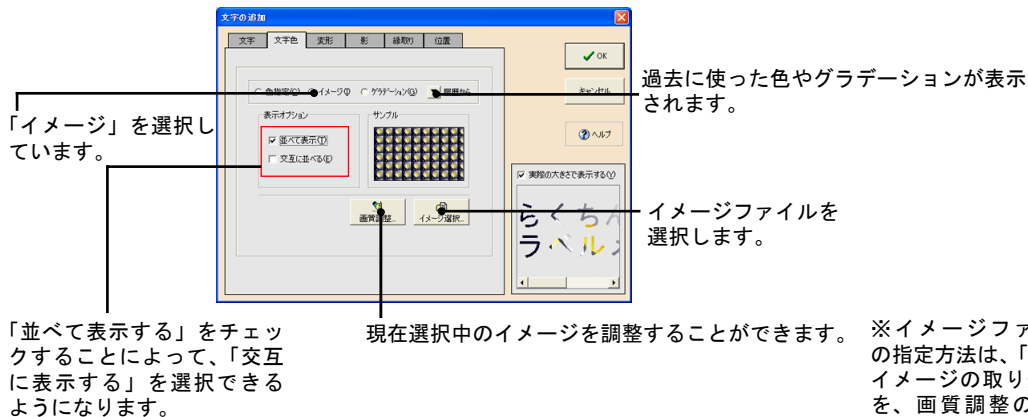
背景柄、図形、文字などは共通の操作で塗り色を指定することができます。塗り色には、単色の他に、イメージファイルやグラデーションを指定することも可能です。ここでは、文字オブジェクトを例にとります。

※ダイアログによってフォームの構成が若干異なります。

3-12-1. 単色



3-12-2. イメージファイル



※イメージファイルの指定方法は、「3-10. イメージの取り込み」を、画質調整の方法は、「3-11. イメージの調整」をそれぞれ参照してください。

3-12-3. グラデーション

「グラデーション」を選択しています。



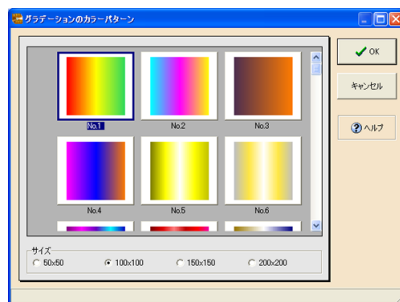
過去に使った色やグラデーションが表示されます。

グラデーションの色を設定できます。クリックするとカラーパレットが表示されます。色数は2～7色の範囲で指定できます。

最大10回までグラデーションの色を繰り返すことができます。

あらかじめ用意されたグラデーションのカラーパターンを選択できます。

グラデーションの向きをスライダー、数値入力で設定できます。



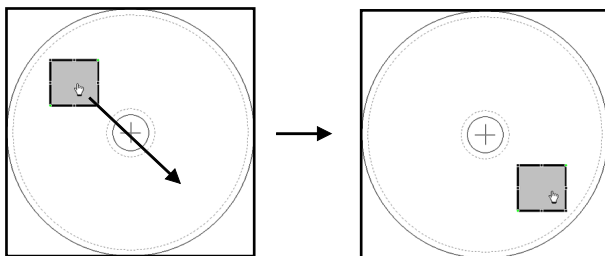
3-13. オブジェクトの操作

背景柄以外の文字・イラスト・図形オブジェクトなどは、すべて同じ操作で移動やコピーができます。

3-13-1. オブジェクトの移動

ラベル上に配置された文字やイラストなどのオブジェクトの上にマウスカーソルを移動するとマウスカーソルの形が指の形に変わります。このときにマウスの左ボタンを押しながらマウスを動かすとオブジェクトを移動できます。

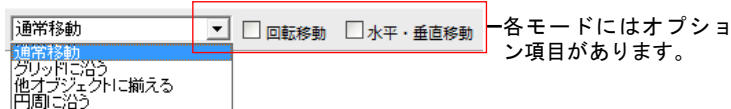
※Shiftキーを押しながらマウスを動かすと、オブジェクトを水平・垂直方向に移動できます。



※オブジェクトは、ラベル面からはみ出る位置にも移動できますが、完全に見えない位置に移動してしまうと元に戻せなくなってしまいますので、ある程度の位置まで移動できなくなります。

上記の通常移動モードに加え、オブジェクトの移動方法には、次の3通りの方法があります。

ラベル編集画面左下でモード切替を行います。

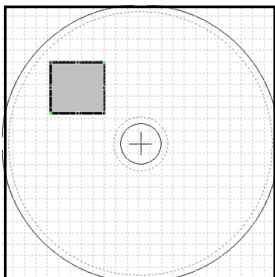


- 通常移動（オブジェクトを自由に移動します。起動時はこのモードになっています。）
 - ・回転移動・・・チェックすると、円周上に沿って移動したときオブジェクトが回転するようになります。このとき、移動するオブジェクトは常に円の中心に同じ面を向いています。
 - ・水平・垂直移動・・・チェックすると、オブジェクトが水平方向・垂直方向に移動します。
- グリッドに沿う（オブジェクトをグリッド（マス目）に沿って移動します。）
 - ・回転移動・・・チェックすると、円周上に沿って移動したときオブジェクトが回転するようになります。
 - ・グリッド間隔設定・・・▲・▼を押すか、数値を直接入力すると、グリッド間隔を設定できます。初期状態は5mmです。
 - ・点で表示・・・チェックを外すと、グリッドを破線で表示します。初期状態はチェックされていて、グリッドは点（ドット）で表示されています。
- 他オブジェクトに揃える（マウスで2つのオブジェクトの位置揃えができます。）
- 円周に沿う（オブジェクトを円周上・半径上で移動できます。）
 - ・回転移動・・・チェックすると、オブジェクトが円周上を円の中心に対して同じ向きで、回転しながら移動します。チェックを外すと、オブジェクトが円周上・半径上を平行に移動できます。
 - ・ステップ・・・オブジェクトの円周上での移動ステップを「ステップなし、60ステップ（6度）、12ステップ（30度）、8ステップ（45度）」から設定できます。初期状態は、「12ステップ（30度）」です。

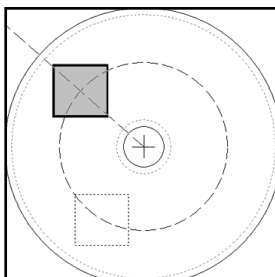
※「他オブジェクトに揃える」については「3-13-12. マウスでの位置揃え」を参照してください。

3-13-2. 複数オブジェクトの移動・コピー

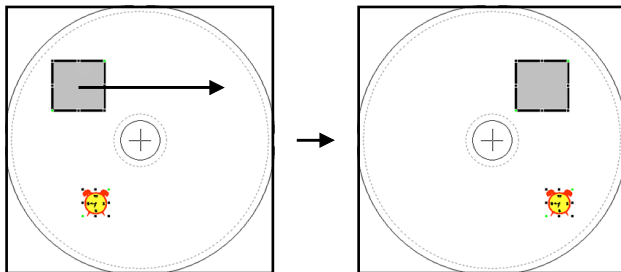
グリッドに沿う



円周に沿う



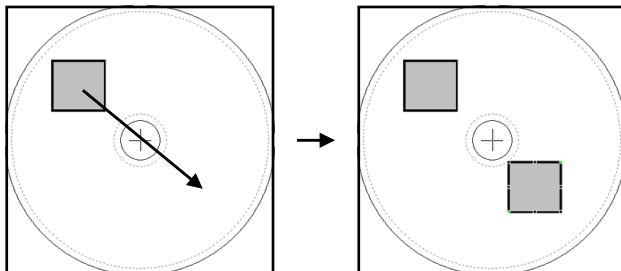
複数のオブジェクトの位置関係を変えずに移動したいときは、各オブジェクトを shift キーを押しながらクリックします。それぞれのオブジェクトが選択された状態になりますので、そのままマウスボタンを離さずにマウスを移動します。



※複数のオブジェクトを選択した状態で Ctrl キーを押しながらマウスを動かすと、選択したオブジェクトをすべてコピーできます。

3-13-3. オブジェクトのコピー


ctrl キーを押しながら移動すると元のオブジェクトはそのまま移動先にコピーが作成されます。

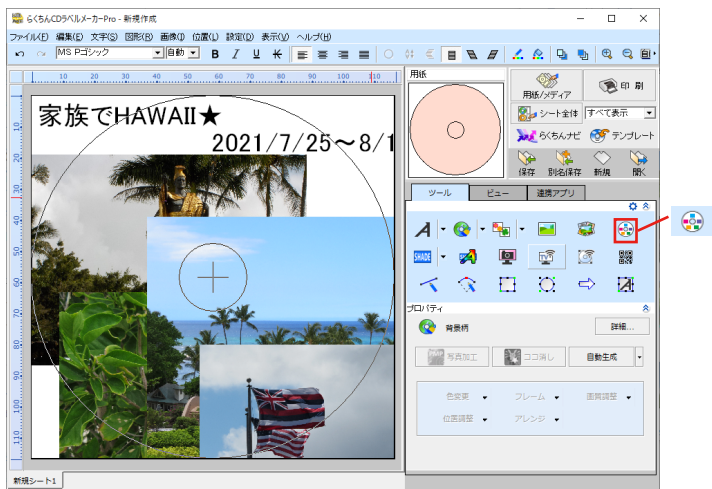


3-13-4. 写真自動レイアウト

編集画面上的複数枚の写真をクリック一つで美しく配置することができます。

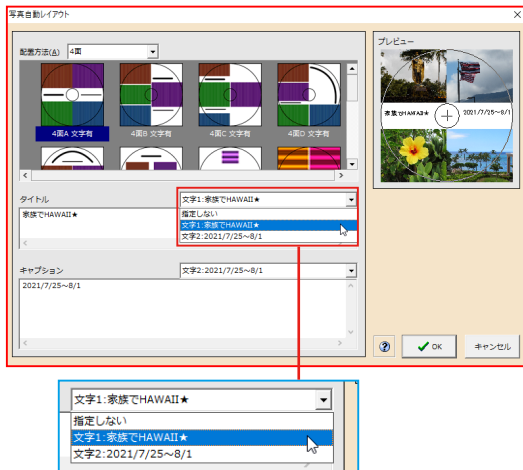
タイトルとキャプションの2つの文字オブジェクトを同時に配置します。

複数の写真を自動レイアウトしたいときは、利用したい写真がラベルに配置された状態でツール内の  ボタンをクリックするか、編集画面上で右クリックし、「写真自動レイアウト」を選択します。特定の写真だけをレイアウトしたい場合は、Shift キーを押しながら写真を選択します。



好きなレイアウトパターンを選択します。右側にプレビューが表示されます。

文字がある場合は「文字有」のパターンを選択してください。タイトルとキャプションは自動で選択されます。変更する場合はドロップダウンリストから変更ください。



【OK】 ボタンをクリックします。


レイアウトが完了します。



Check

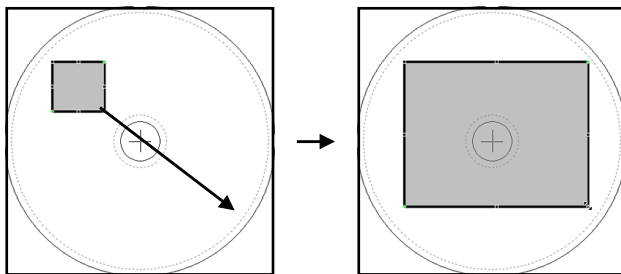
自動レイアウト後でも、1枚ごとに写真を編集できます。フチぼかしやフレーム機能を利用して、写真を装飾することができます。

3-13-5. オブジェクトの削除

オブジェクトを削除するには、削除したいオブジェクトを選択し、キーボードの Delete を押します。もしくは、ラベル編集画面の  削除 をクリックしても、オブジェクトを削除することができます。

3-13-6. オブジェクトの拡大・縮小

オブジェクトをマウスでクリックすると黒や緑の点で囲まれ選択された状態になります。この時オブジェクトを囲んでいる黒い点の上にマウスカーソルを移動するとマウスカーソルの形が上下、左右、斜めの形に変わります。マウスカーソルが変わった所でマウスの左ボタンを押し、そのままマウスを移動させるとオブジェクトの形を変えることができます。



※文字オブジェクトでは、枠だけが変形します。

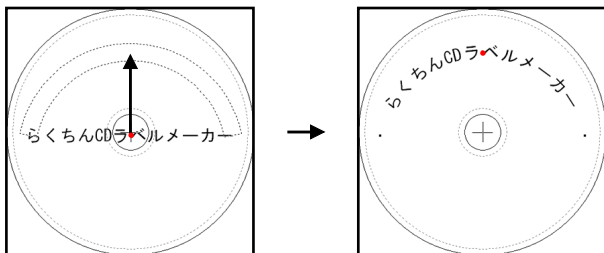
Check

キーを押しながら図形オブジェクトを変形すると、縦横比を保ったまま変形することができます。反対に、イラストオブジェクトは Shift キーを押しながら変形すると、縦横比に関係なく自由に変形することができます。

	イラスト・ユーザーイメージ	四角・精円	直線
通常操作	縦横比を保ったまま変形	自由な形に変形	自由な形に変形
Shiftキーを押しながら操作	自由な形に変形	縦横比を保ったまま変形	垂直線や水平線に変形

3-13-7. 文字オブジェクトの円形配置

文字オブジェクトを選択するとオブジェクトの中心に赤い点が表示されます。この赤い点をマウスで移動させると、オブジェクトを円形に配置することができます。



※ただし、次のいずれかの指定がされているときこの赤い点は表示されません。

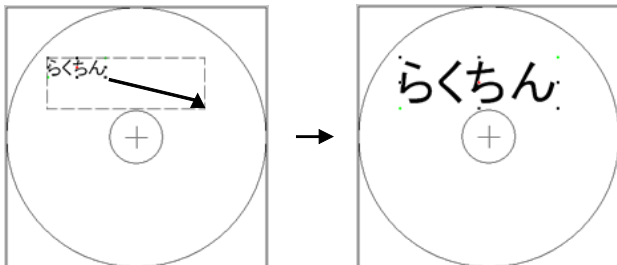
- ・文字変形が指定されているとき
- ・オブジェクトがグループ化されているとき

※円形配置に関しては、「3-6-4. 文字の円形配置」を参照してください。

※文字サイズが「自動」になっている場合は、サイズ値に変更されます。

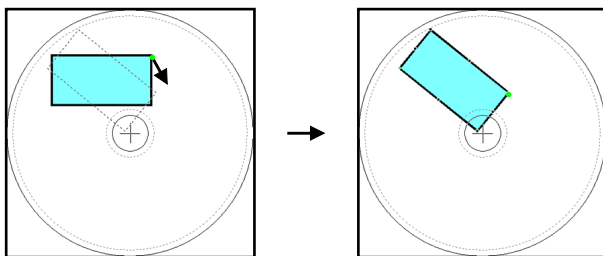
3-13-8. 文字オブジェクトの自動サイズ

文字サイズを「自動」に設定されていると、オブジェクトボックスの大きさに合わせて、自動的に文字サイズが調整されます。



3-13-9. オブジェクトの回転


オブジェクトを選択状態にすると右上と左下には緑色の点が表示されます。この緑色の点をマウスで移動するとオブジェクトを回転することができます。

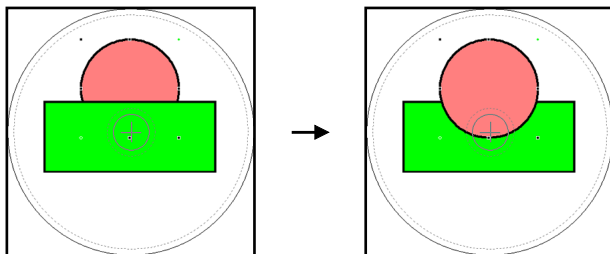



※グループ化したオブジェクトは、回転させることはできません。

※Shiftキーを押しながら回転の操作をおこなうと45度単位でオブジェクトを回転することができます。

3-13-10. オブジェクトの前（背）面移動

作成したオブジェクトは、あとに作成したオブジェクトが前面に配置されます。
前面に移動させたいオブジェクトを選択し、ツールバー（小）の  を押すと、オブジェクトが最前面に移動します。



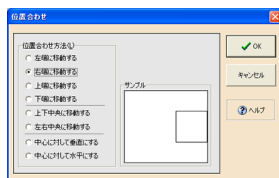
逆に、オブジェクトを最背面に移動させたい場合は、 を押します。

3-13-11. オブジェクトの位置合わせ

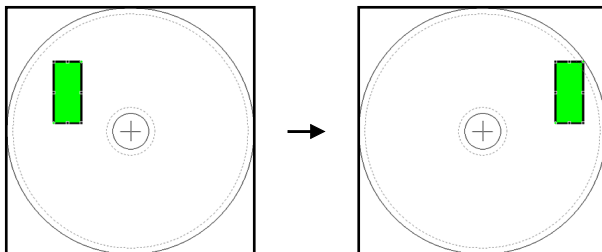
オブジェクトを自動移動させます。

ラベル上でオブジェクトを選択し、右クリックメニューの〈位置合わせ（A）〉 - 〈位置合わせメニューを表示（M）〉を選択すると、「位置合わせ」ダイアログが表示されます。位置合わせ方法を選択してください。

〈位置合わせ（A）〉メニューから直接 位置合わせ方法を指定することもできます。

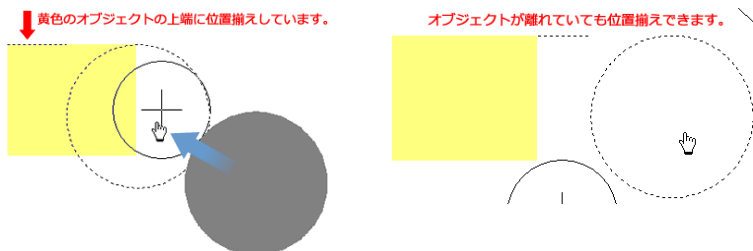


「右端に移動する」を選択しています。



3-13-12. マウスでの位置揃え

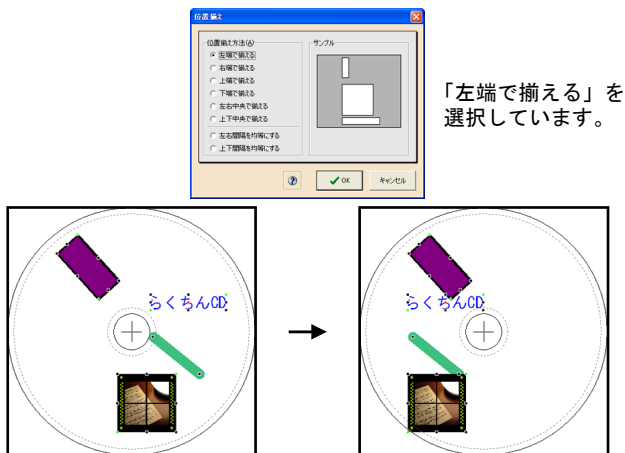
ラベル上のオブジェクトを選択し、マウスで他のオブジェクトに近づけると、自動的に上端や下端、左端や右端、中心に吸着し位置を揃えることができます。



3-13-13. オブジェクトの位置揃え

複数のオブジェクトを指定された基準を元に整列させることができます。

ラベル上でオブジェクトを選択し、右クリックメニューの〈位置揃え (O)〉>〈位置揃えメニューを表示 (M)〉を選択すると、「位置揃え」ダイアログが表示されます。位置揃え方法を選択してください。〈位置揃え (O)〉メニューから直接 位置揃え方法を指定することもできます。



Check

オブジェクトのグループ化とは、複数のオブジェクトをまとめてひとつにすることです。そうすることによって、複数のオブジェクトの位置関係を変えないまま、移動させることができます。

グループ化したい複数のオブジェクトを選択し、〈位置 (L)〉>〈グループ化 (G)〉を選択してください。

※グループ化を解除するには、グループ化しているオブジェクトを選択し、〈位置 (L)〉>〈グループ化解除 (N)〉を選択してください。

3-13-14. スタイル図形

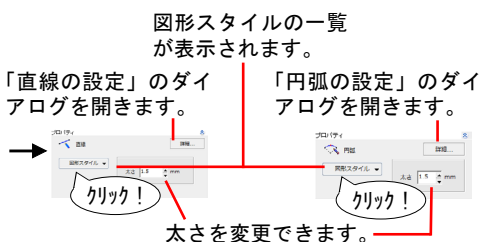
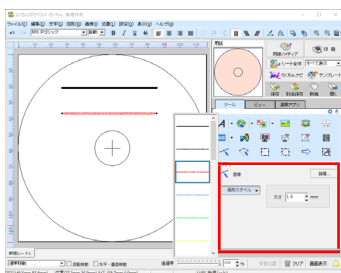


図形オブジェクト（直線、円弧、四角、丸、矢印）にあらかじめ設定されている「図形スタイル」をプルダウンから選んで、図形オブジェクトにかたんに装飾を適用させることができます。

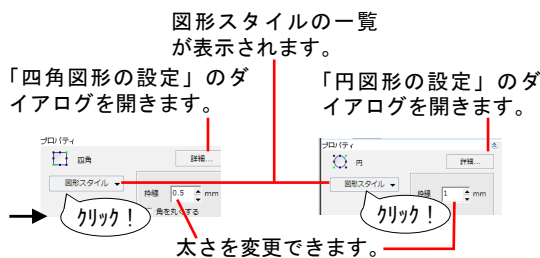
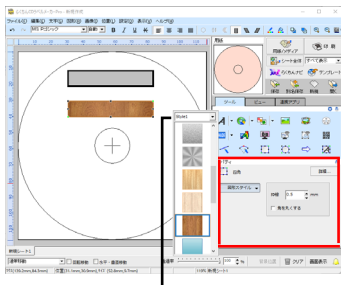
図形オブジェクトを選択すると、ラベル編集画面の右下に図形のプロパティが表示されます。「図形スタイル」ボタンからスタイルを選択します。

※この機能はPro版のみに搭載の機能です。

●直線・円弧

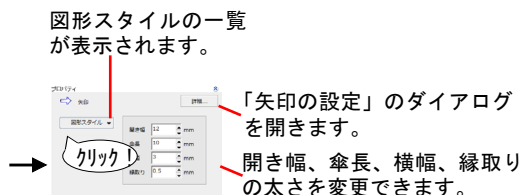
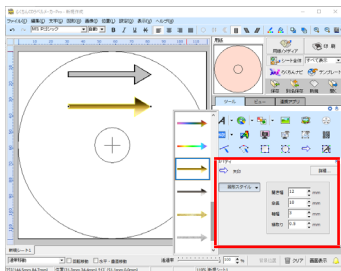


●四角・円



プルダウンメニューから別のデザインに表示を切り替えられます。

●矢印



3-14. ラベルシートの編集

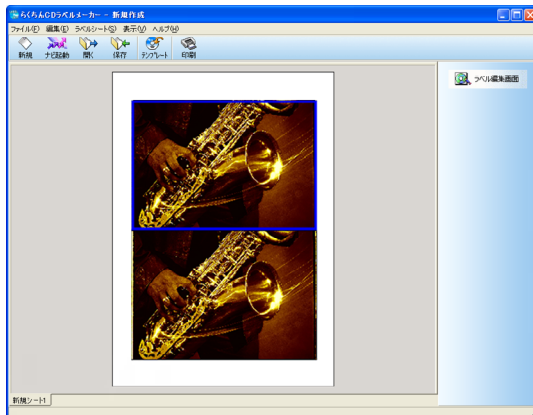
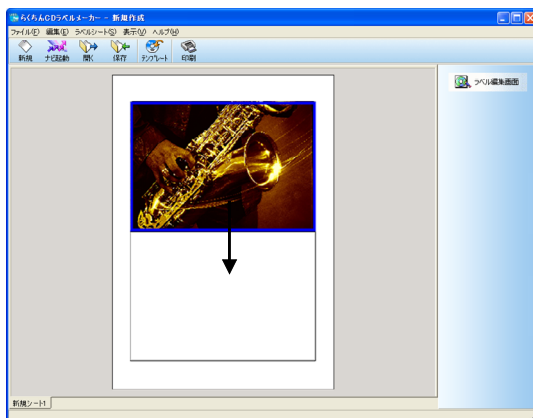
シート全体画面でのラベルの複写・削除・移動の方法です。作成したラベルをベースに他のラベルを作成するときに便利です。

3-14-1. ラベルの複写・移動・削除

ラベル編集画面が表示されている場合は、【シート全体画面】ボタンをクリックすると、シート全体画面を表示させます。

複写したいラベルをクリックしてください。ラベル面の枠が青色で表示されます。そのままドラッグ＆ドロップをすればラベルを複写できます。

※メニュー<表示(V)>><ラベルシート表示(S)>を選択しても同じ画面を表示できます。

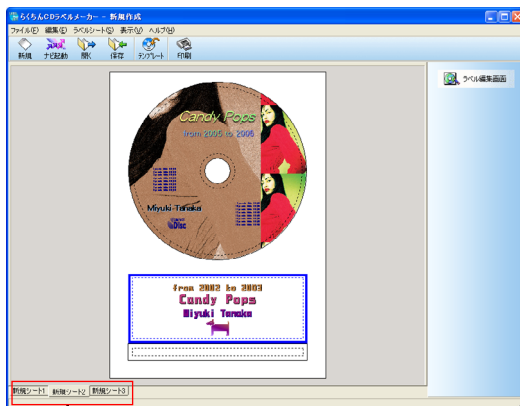


※Shiftキーを押しながら、上記のラベルのコピーを行うと、ラベルを移動することができます。

※ラベルを削除したい場合は、ラベルをクリックし、メニュー<編集(E)>><クリア(D)>を選択してください。

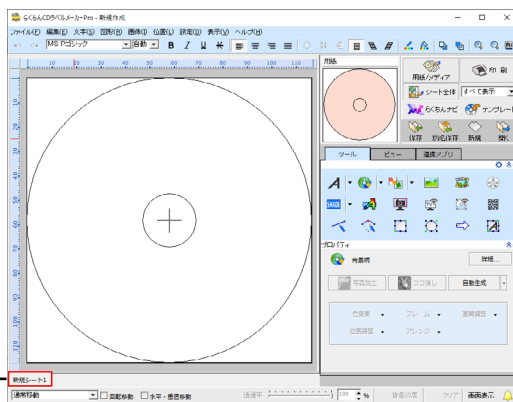
3-14-2. シートの複写・移動・削除

複数枚のラベルシートを一括して管理することもできます。シート全体画面で、メニュー〈ラベルシート(S)〉を選択することにより、ラベルシートの複写・移動・削除などの編集が可能になります。



ラベルシートを複写すると、シートの切り替えタブが追加されます。

または、シート編集画面で、切り替えタブを右クリックすると、ラベルシートの複写・移動・削除などの編集が可能になります。




切り替えタブの上で右クリックすると、編集メニューが表示されます。

3-15. 用紙 / メディアの選択・登録

用紙 / メディアの選択・登録方法、用紙情報の更新方法をご紹介します。

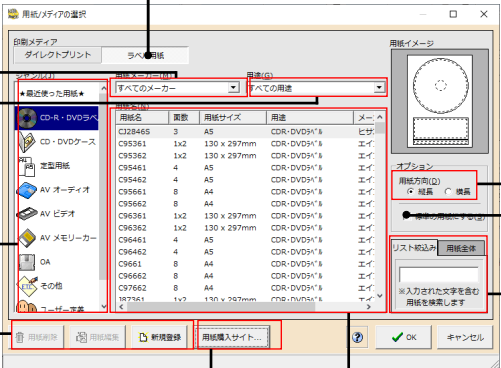
3-15-1. 用紙 / メディアの選択

Step 1

ラベル編集画面右側の  をクリックすると、「用紙 / メディアの選択」ダイアログが表示されます。まずは、「印刷メディア」を選択し、「用紙メーカー」と「用途」で用紙名を絞り込みます。完了したら、【OK】ボタンを押します。

※メニュー<ファイル(F)>-<用紙 / メディア選択(L)>を選んでも同じ画面を表示できます。

ラベル用紙を選択しています。



メーカーを絞り込みます。

用途を絞り込みます。

用紙ジャンルを選びます。

ユーザー定義用紙の新規登録・編集・削除を行います。

選択中の用紙をamazon.co.jpで検索できます。

用紙方向を設定します。

チェックすると、選択中の用紙が起動時の標準用紙として設定されます。

※はじめて登録されている用紙は削除・編集できません。

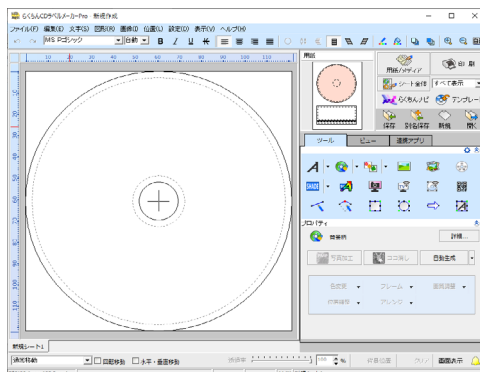
※ユーザー定義用紙の新規登録方法については、「3-15-5. 用紙の登録」を参照してください。

用紙名から用紙を検索できます。

用紙名が一览されます。用紙名・用紙サイズ等でソートすることも可能です。

Step 2

選択した用紙でラベル編集画面が表示されます。



3-15-2. ダイレクトプリントメディアの選択

Step 1

ダイレクトプリントメディアは、印刷メディア「ダイレクトプリント」を選び、ジャンル、メディアメーカーの選択肢で絞り込み、メディアを選びます。完了したら、【OK】ボタンを押します。

ダイレクトプリントを選択しています。

メディアメーカーを選択します。
お使いのメディアメーカーが見つからない場合は、「メーカー指定なし」を選択します。

※ Canon/EPSON ダイレクトプリントを選択した場合、ご利用のプリンタ機種名を自動判別します。

ダイレクトプリントを選択します。

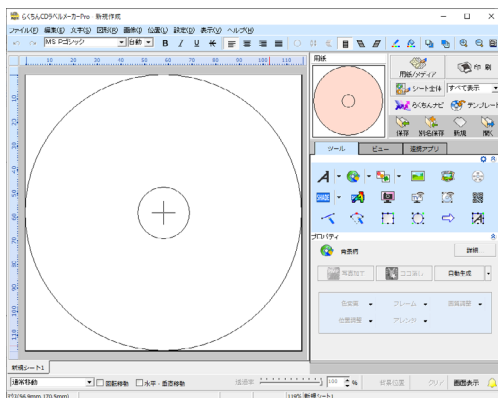
メディアのサイズなどが表示されます。

メディア名	メディア	サイズ	メディアメーカー
12cmメディア(ワイ...	117	22	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	117	23	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	117	24	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	118	22	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	118	23	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	118	24	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	117	40	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	117	41	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	118	40	メーカー指定なし
12cmメディア(ワイ...	118	41	メーカー指定なし
8cmメディア(ワイ...	76	24	メーカー指定なし
8cmメディア	76	40	メーカー指定なし

選択中のプリンタブルメディアを amazon.co.jp で検索できます。

Step 2

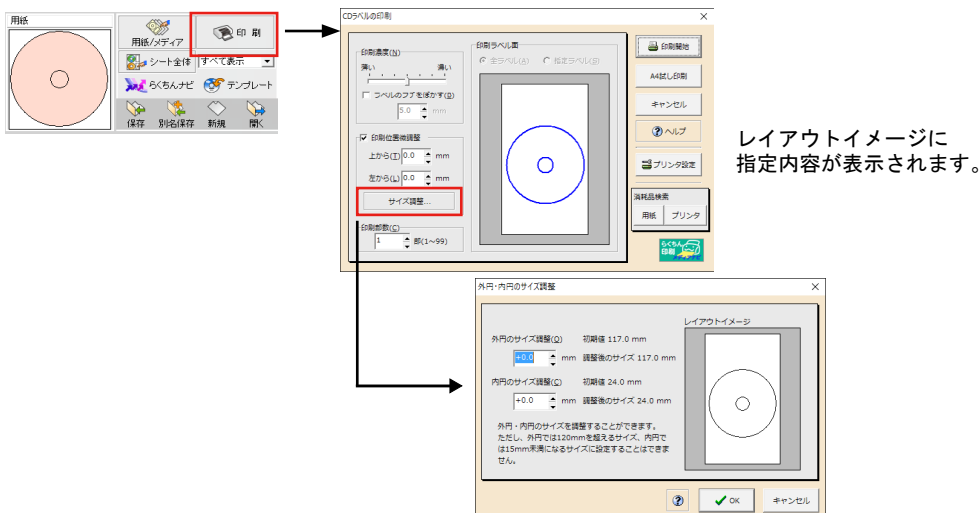
選択したメディアでラベル編集画面が表示されます。
ダイレクトプリントメディアの外円・内円は、「サイズ調整」ダイアログで調整することが可能です。



3-15-3. 外円・内円サイズの調整

Step 1

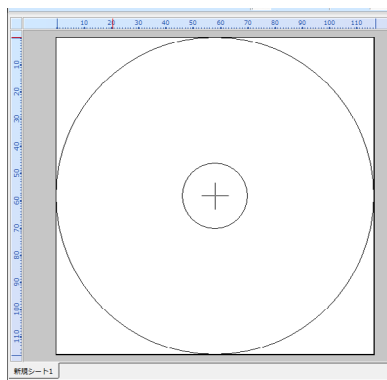
ダイレクトプリントメディアの外円・内円は、カスタマイズすることが可能です。
CD ラベルの印刷画面の【サイズ調整】ボタンをクリックし、「外円・内円のサイズ調整」ダイアログを表示させてください。
メニュー<ファイル (F)><サイズ調整 (Z)>からも表示することができます。



ディスクの外円サイズと内円サイズの補正値を、それぞれ 0.1mm 単位 (-10.0mm ~ +10.0mm 範囲、最大値および最小値はプリンタの制限によって異なる) で指定できます。

Step 2

メディアが調整されました。



3-15-4. ダイレクトプリントのメディアサイズ登録

ダイレクトプリントのメディアサイズを変更して保存することができます。

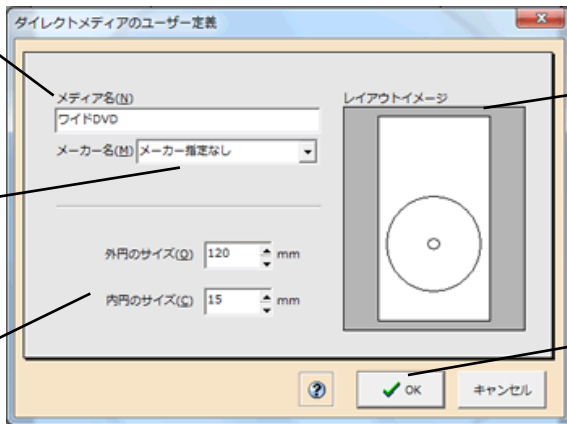
ラベル編集画面の【用紙 / メディア】ボタンをクリックし、「用紙 / メディアの選択」ダイアログを開きます。

「用紙メディア」は【ダイレクトプリント】を選択、元となる用紙を選択し、【新規登録】ボタンをクリックします。

メディア名：
新たに登録するメディアの名前を記入できます。すでに登録済みの名前は使用できません。

メーカー名：
ドロップダウンリストからメーカーを選択できます。

外円 / 内円のサイズ：
最大 120mm、最小 15mm まで設定できます。レイアウトイメージに指定内容が表示されます。

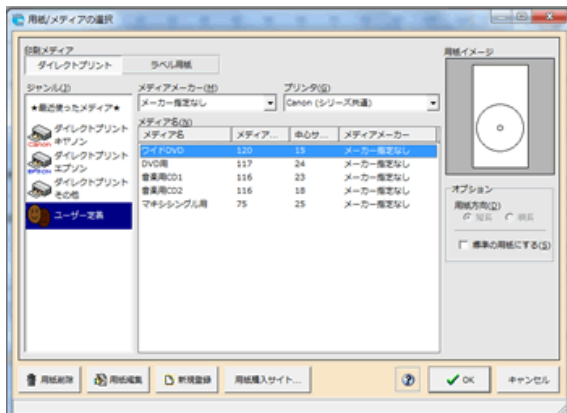


レイアウトイメージ：
外円（内円）のサイズを指定すると、全体のイメージが表示されます。

【OK】ボタン：
メディアの新規登録を決定します。

登録された用紙は「ユーザー定義」から選択することができます。

登録された用紙の編集は、「用紙 / メディアの選択」ダイアログの【用紙編集】ボタンから編集画面を開きます。



3-15-5. 用紙の登録

新規用紙を登録する場合は、「用紙 / メディアの選択」ダイアログで元にする用紙を選択し、【新規登録】ボタンをクリックします。

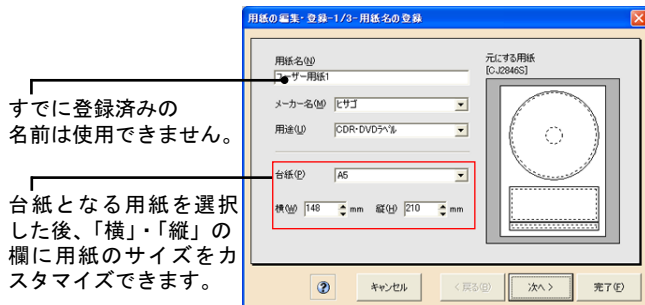
「用紙の編集・登録」ダイアログが表示されますので、ウィザードにしたがって用紙を作成してください。

※ダイレクトプリントメディアは新規登録できません。

※登録された用紙は、用紙ジャンル「ユーザー定義」に登録されます。

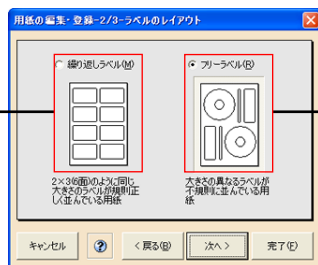
※用紙を新規登録するときは、なるべくラベルの面数・配置が同じ用紙を選び、それをもとに作成すると手間が掛からないので良いでしょう。

※新規登録した用紙情報は、＜ファイル(F)＞＜ユーザー用紙情報の保存(Y)＞でバックアップをとることができます。



すでに登録済みの名前には使用できません。

台紙となる用紙を選択した後、「横」・「縦」の欄に用紙のサイズをカスタマイズできます。



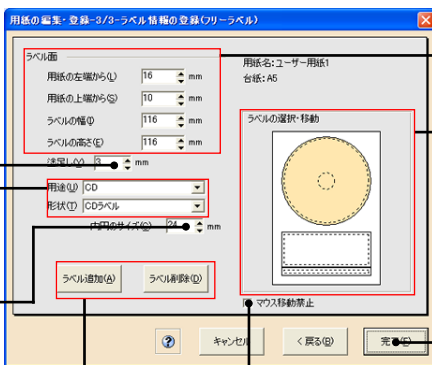
同じ大きさのラベルが規則正しく並んでいる用紙

大きさの異なるラベルが不規則に並んでいる用紙

塗足しとは、わざとラベルの外側に余分にはみ出して印刷する機能です。こうすることで、印刷位置がずれたとき、ラベルの縁に余白ができるのを防ぎます。

ラベルの用途や形状をプルダウンから選択できます。

用途が CD、8mmCD、名刺型 CD に限り、内円サイズを設定できます。



ラベルの位置・サイズを設定します。

マウスでラベルを移動させることもできます。

用紙の登録を完了します。

ラベルを追加・削除します。

イメージ画面でマウスを使用しての移動を禁止します。

3-15-6. ユーザー用紙情報の保存

旧バージョン（らくちん CD ラベルメーカー 2001 以降）からアップデートした場合は、旧バージョンの“らくちん CD ラベルメーカー”で〈ファイル (F)〉>〈ユーザー用紙情報の保存 (Y)〉からデータを保存し、最新の“らくちん CD ラベルメーカー”で〈ファイル (F)〉>〈ユーザー用紙情報の取り込み (I)〉で、ユーザー用紙を取り込むことができます。

用紙情報のバックアップデータの拡張子は、.ppb になります。

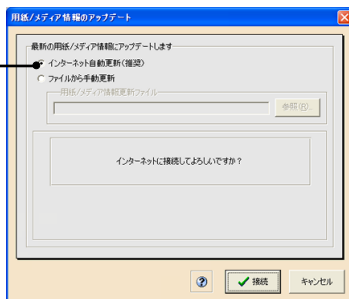
3-15-7. 用紙情報の自動更新

新しく追加された用紙情報を更新する方法です。インターネットに接続できる環境があれば、すぐに用紙情報を更新することができます。

メニュー〈ヘルプ (H)〉>〈用紙情報のアップデート (U)〉を選択すると、「用紙情報のアップデート」ダイアログが表示されます。「インターネット自動更新(推奨)」をチェックし、【接続】ボタンを押します。用紙の情報の更新がある場合は、自動的に情報が更新されます。

※サービス料は無料ですが、接続料金等が別途必要になります。

「インターネット自動更新(推奨)」を選択しています。

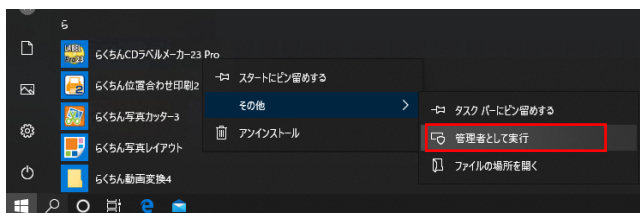


Check

用紙 / メディアの更新を行うには、管理者権限でご利用ください。

“らくちん CD ラベルメーカー”の起動時に「管理者として実行」をした上でご利用頂く必要があります。

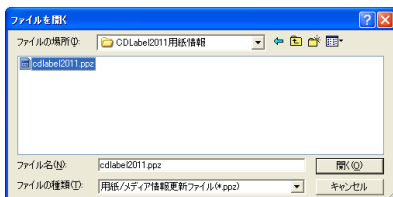
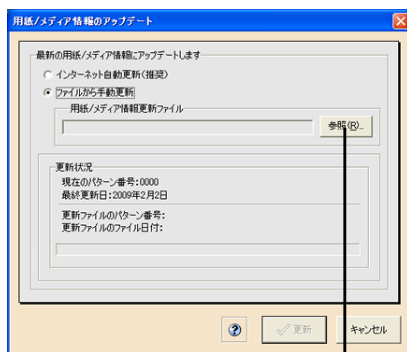
1. 〈スタート〉>〈らくちん CD ラベルメーカー〉のプログラムアイコンを右クリック
2. 「管理者として実行 (A)」を選択し、プログラムを起動



3-15-8. 用紙情報の手動更新

インターネットの環境によっては、自動更新ができないことがあります。その場合は、手動更新で用紙情報を更新してください。弊社ホームページで最新の用紙情報を公開しています。 <https://www.medianavi.co.jp/> を参照し、最新の用紙情報がアップロードされていたら、ダウンロードして、お客様のパソコンの任意の場所に保存してください。

次に、下図の「用紙情報のアップデート」ダイアログで、「ファイルから手動更新」をチェックし、【参照】ボタンを押します。ディスクに保存した用紙情報の更新データ（拡張子 .ppz）を選択し、【更新】ボタンを押すと、用紙情報が更新されます。



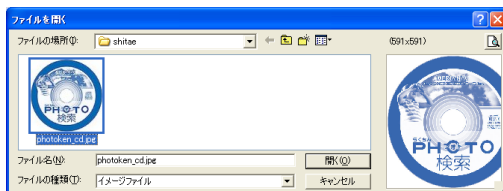
ダウンロードしたファイル（拡張子 .ppz）を指定します。

3-16. 下絵の設定

下絵を設定して、お手本画像を元にデザインすることができる、便利な機能です。
下絵は印刷されません。

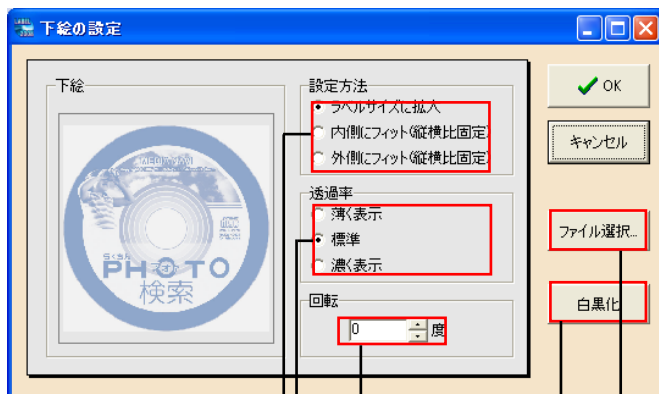
Step 1

〈画像 (I)〉>〈下絵の設定・読込 (E)〉を選択すると、「ファイルの選択」ダイアログが表示されます。



Step 2

ファイルを選択して【開く】ボタンを押すと、「下絵の設定」ダイアログが開きます。表示方法や透過率などを設定して、【OK】ボタンを押します。



画像の表示方法を設定
します。

画像の透過率を設定
します。

角度を設定します。

「ファイルの選択」
ダイアログを開き
ます。

画像を白黒で表示します。

Step 3

下絵が表示されます。

〈画像 (I)〉-〈下絵の表示・非表示 (D)〉で、表示 / 非表示を切り替えることができます。



Step 4


下絵をもとにして、文字や画像などを配置します。

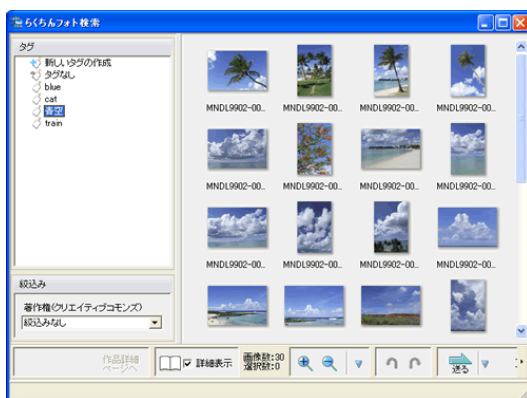


3-17. らくちんフォト検索との連携


お使いのパソコンに“らくちんフォト検索”がインストールされていれば、“らくちんフォト検索”で管理されている素材を“らくちん CD ラベルメーカー”へらくちんに取り込むことができます。

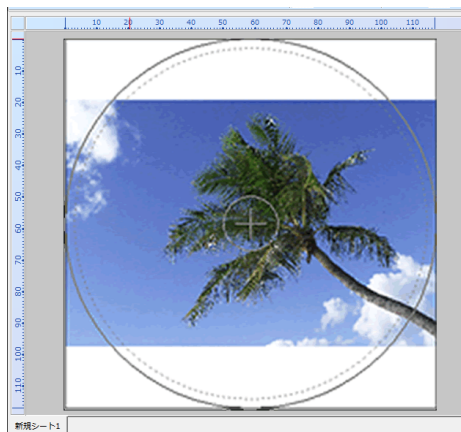
Step 1

連携アプリタブから  らくちんフォト検索 をクリックすると、「らくちんフォト検索」ダイアログにダウンロード済みの写真が表示されます。




Step 2

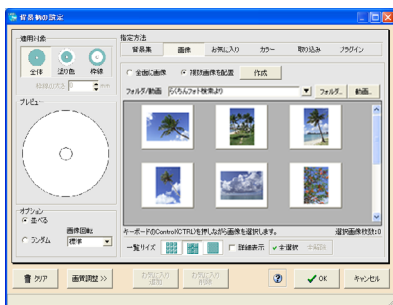
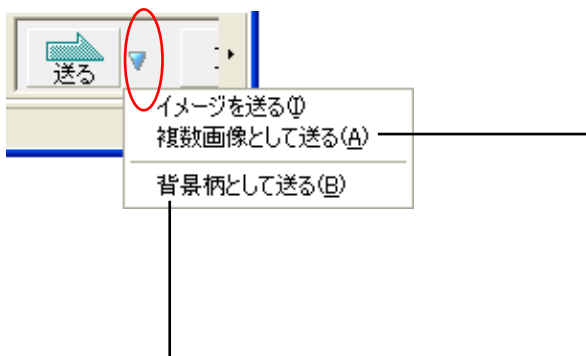
ラベルに使用する画像を選択し、右下の  をクリックすると、ラベル編集面に画像が送られます。



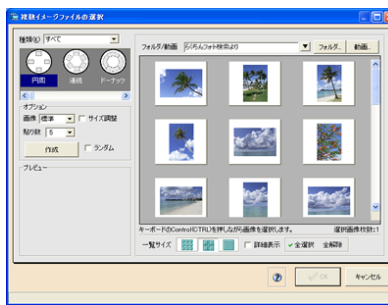
3-17-1. 複数の画像を送りたい場合

複数の画像を一度に、背景またはオブジェクトとして送ることもできます。

「らくちんフォト検索」ダイアログで複数の画像を選択し、 ボタンの▼部分をクリックします。



「背景柄の設定」ダイアログに送ります。
設定については、「3-5-4. 背景柄（複数イメージファイル）」を参照してください。



「複数イメージファイルの選択」ダイアログに送ります。
設定については、「3-5-6. 複数画像レイアウト」を参照してください。

『らくちんフォト検索』の使い方について』


※「らくちんフォト検索」の使い方に関する詳細は、「らくちんフォト検索」のヘルプをご覧ください。

ヘルプファイルの起動法は、メニューの〈ヘルプ (H)〉から〈フォト検索の使い方 (P)〉を選択してください。

3-18. 動画でベストショット!との連携

お使いのパソコンに「動画でベストショット!」がインストールされていれば、動画から切り出した静止画を「らくちん CD ラベルメーカー」に取り込むことができます。

Step 1

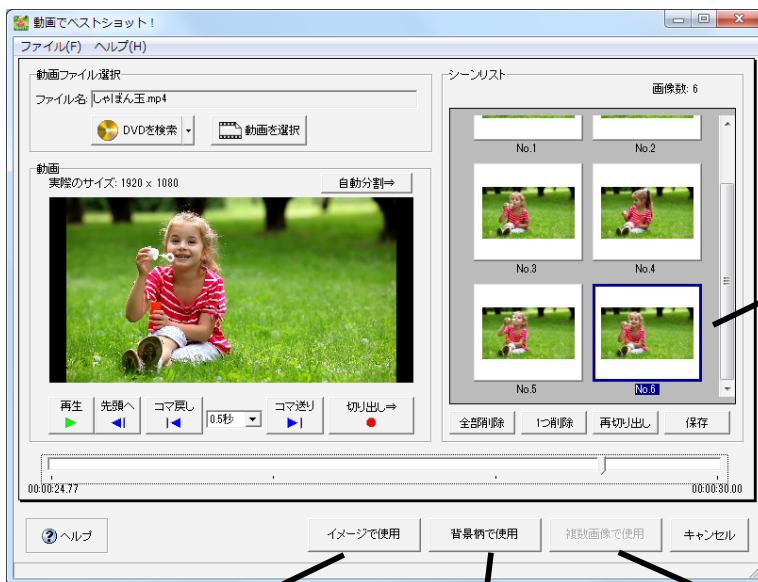
連携アプリタブから  ボタンをクリックすると、「動画でベストショット!」が起動します。

Step 2

「動画でベストショット!」で動画から静止画を切り出します。

Step 3

画面右側に画像の一覧が表示されますので、「らくちん CD ラベルメーカー」へ取り込みたい画像をクリックして選択します。
画面下のボタンから、画像を取り込みます。



編集画面に送る画像を選択します。

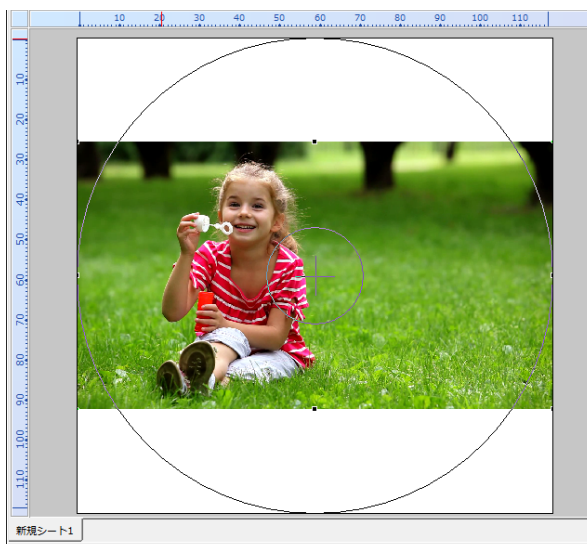
画像をイラストオブジェクトとして取り込みます。

画像を背景柄オブジェクトとして取り込みます。

画像を「複数イメージファイルの選択」画面に送ります。

Step 4

「らくちん CD ラベルメーカー」へ選択された画像が貼り付けられました。



Step 5

画像が取り込み終わったら、「動画でベストショット！」は自動で閉じられます。

『「動画でベストショット！」の使い方について』

※「動画でベストショット！」の使い方に関する詳細は、「動画でベストショット！」の ヘルプをご覧ください。

ヘルプファイルの起動法は、メニューの〈ヘルプ (H)〉から〈ヘルプ (C)〉を選択するか、【F1】キーを押してください。

3-19. 撮メモシリーズとの連携

お使いのパソコンに「撮メモ」がインストールされていれば、撮メモで撮影された画像を「らくちん CD ラベルメーカー」にらくちんに取り込むことができます。

Step 1

ラベル編集画面右側の



ボタンをクリックして、「撮メモ」を起動します。

Step 2

「撮メモ」で PC 画面を撮影します。

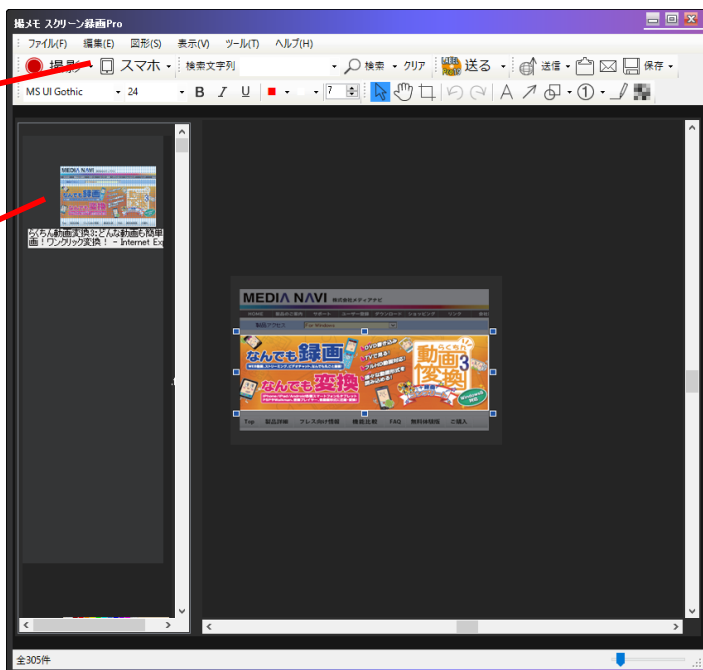
Step 3

画面左側に画像の一覧が表示されますので、「らくちん CD ラベルメーカー」へ取り込みたい画像をクリックして選択します。

画面上の「送る」ボタンから、画像を取り込みます。

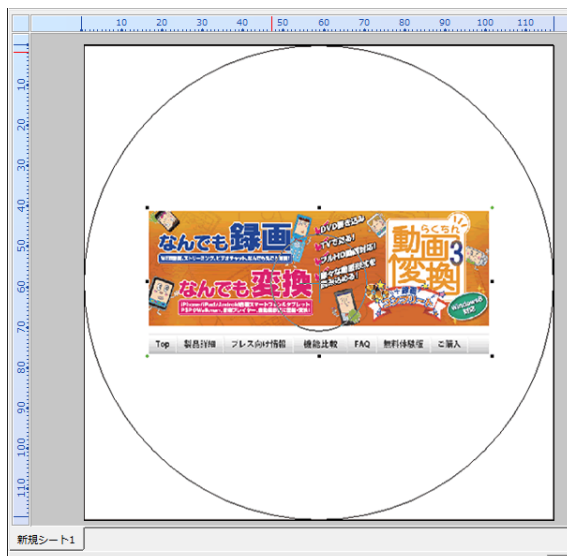
画像をイラストオブジェクトとして取り込みます。

編集画面に送る画像を選択します。



Step 4

「らくちん CD ラベルメーカー」へ選択された画像が貼り付けられました。



『「撮メモシリーズ」の使い方について』

※「撮メモ」の使い方に関する詳細は、「撮メモ」の ヘルプをご覧ください。

ヘルプファイルの起動法は、メニューの〈ヘルプ (H)〉から〈ヘルプ (H)〉を選択するか、【F1】キーを押してください。

3-20. SMACom Wi-Fi 写真転送との連携

お使いのパソコンに「SMACom Wi-Fi 写真転送」がインストールされていれば、スマートフォンやタブレットで撮影された画像を「らくちん CD ラベルメーカー」へらくちんに取り込むことができます。

3-20-1. 写真を取り込む場合

Step 1

連携アプリタブから  SMACom Wi-Fi 写真転送 ボタンをクリックして、「SMACom Wi-Fi 写真転送」を起動します。

スマートフォン・タブレットのアプリも起動し、接続します。

Step 2

SMACom Wi-Fi 写真転送」の左側の「写真」を選択すると右側に画像の一覧が表示されます。「らくちん CD ラベルメーカー」へ取り込みたい画像をクリックして選択します。

選べたら、画面下の【イメージで使用】ボタン、【背景柄で使用】ボタン、【複数画像で使用】ボタンを使用し、画像を「らくちん CD ラベルメーカー」へ取り込みます。

スマートフォンやタブレットに保存されている写真の一覧を表示します。

写真を選択する前に「選択」ボタンをクリックしてから写真を選択します。



画像をイラストオブジェクトとして取り込みます。


画像を背景柄オブジェクトとして取り込みます。

画像を「複数イメージファイルの選択」画面に送ります。

SMACom Wi-Fi 写真転送での操作を終了し画面を閉じます。

3-20-2. 動画から静止画を切り出して取り込む場合

Step 1

連携アプリタブから  SMACom Wi-Fi写真転送 ボタンをクリックして、「SMACom Wi-Fi 写真転送」を起動します。

スマートフォン・タブレットのアプリも起動し、接続します。

Step 2

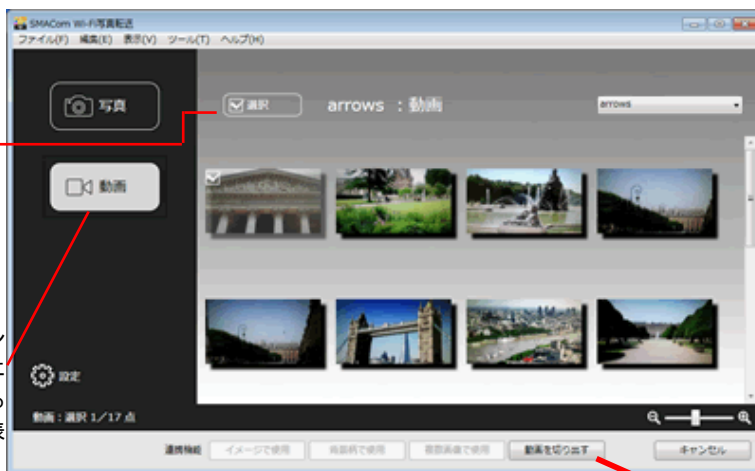
動画から静止画を切り出して取り込む場合、「SMACom Wi-Fi 写真転送」の左側の「動画」を選択すると右側に動画の一覧が表示されます。静止画を切り出したい動画をクリックして選択します。

選択できたら、画面下の【動画を切り出す】ボタンをクリックすると「動画でベストショット！」の画面が呼び出されます。

画像の切り出し方法については「動画でベストショット！」のページでご確認ください。

写真を選択する前に「選択」ボタンをクリックしてから写真を選択します。

スマートフォンやタブレットに保存されている動画の一覧を表示します。



「動画でベストショット！」の画面が呼び出されます。

『「SMACom Wi-Fi 写真転送」の使い方について』

※「SMACom Wi-Fi 写真転送」の使い方に関する詳細は、「SMACom Wi-Fi 写真転送」のヘルプをご覧ください。



ヘルプファイルの起動法は、メニューの〈ヘルプ (H)〉から〈SMACom Wi-Fi 写真転送の使い方 (C)〉を選択するか、【F1】キーを押してください。

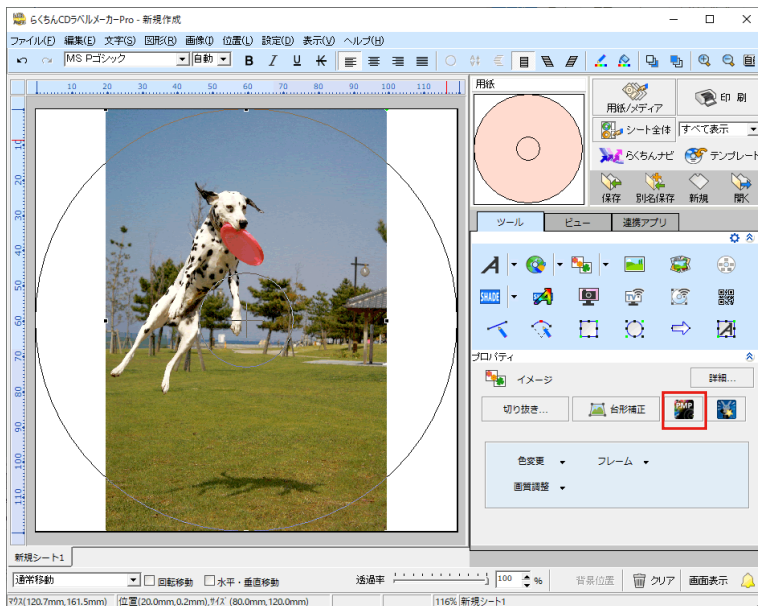
3-21. Photomaker Pro との連携

お使いのパソコンに「Photomaker Pro」がインストールされていれば、背景柄やイラストオブジェクトにさまざまな効果をつけたり、レタッチなどの加工が簡単にでき、そのまま「らくちん CD ラベルメーカー」の素材として利用できます。

※「Photomaker Pro」で写真や画像を加工すると、その加工を編集画面上で元に戻すことはできません。元に戻したい場合は、再度写真や画像を編集画面に貼り付けてください。

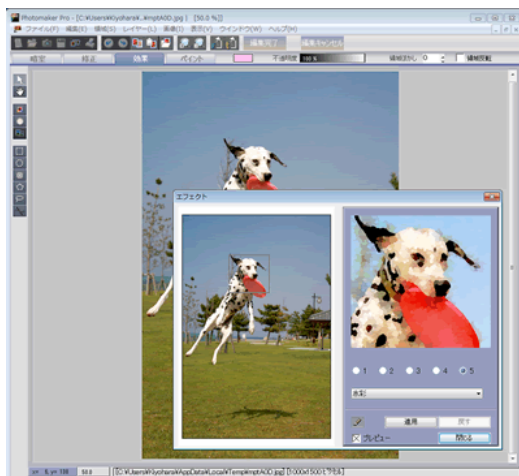
Step 1

編集画面上の背景柄やイラストを選択して「背景イメージの調整」や「イラストの設定」ダイアログの  ボタンをクリックするか、プロパティの詳細から  ボタンをクリックして「Photomaker Pro」の画面を呼び出します。



Step 2

「Photomaker Pro」で写真を加工します。

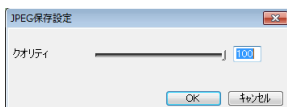
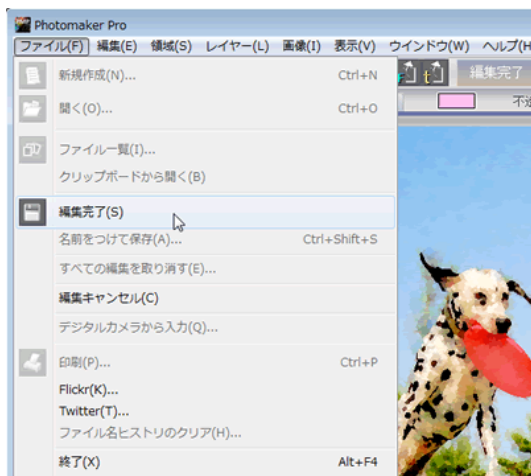


Step 3

「ファイル」から「編集完了」を選択し、「JPG 保存設定」画面で OK をクリックします。

「Photomaker Pro」は自動で閉じます。

「Ctrl+S」で編集完了し、「Photomaker Pro」を閉じることもできます。



Step 4

「背景イメージの調整」や「イラストの設定」ダイアログに加工された写真が反映されましたら、OK をクリックします。



Step 5

「らくちん CD ラベルメーカー」に加工が反映されました。



『「Photomaker Pro」の使い方について』

※「Photomaker Pro」の使い方に関する詳細は、「Photomaker Pro」の ヘルプをご覧ください。

ヘルプファイルの起動法は、メニューの〈ヘルプ (H)〉から〈ヘルプ (H)〉を選択するか、【F1】キーを押してください。

3-22. 想イデジタルとの連携

お使いのパソコンに「想イデジタル」がインストールされていれば、連携してお使いいただくことができます。

「想イデジタル」をまだお持ちでないお客様は弊社ホームページにてご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

想イデジタル（ディスクスキャン機能）の起動は連携アプリタブの〈想イデジタル〉ボタンから起動できます。



3-23. ココ消し君との連携

「ココ消し君」は、マウスでなぞるだけで、写真の一部を「消す」「目立たせる」「隠す」ことができる写真加工ソフトです。

お使いのパソコンに「ココ消し君」がインストールされていれば、「らくちん CD ラベルメーカー」と連携してお使いいただけます。イラストや写真、背景柄を加工することができます。

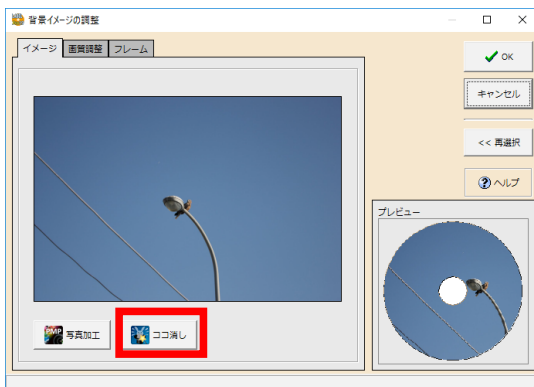
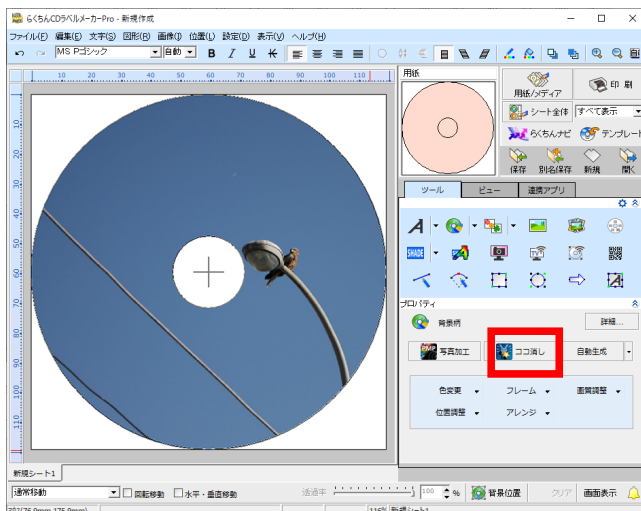
「ココ消し君」をまだお持ちでないお客様は弊社ホームページにてご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

※「ココ消し君」で写真や画像を加工すると、その加工を編集画面上で元に戻すことはできません。元に戻したい場合は、再度写真や画像を編集画面に貼り付けてください。

背景柄で操作方法を説明します。

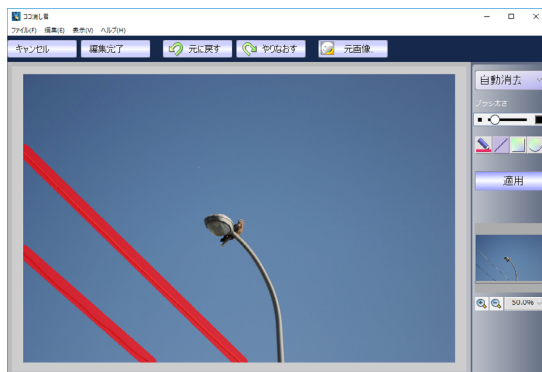
Step 1

プロパティから「ココ消し君」ボタンをクリックして「ココ消し君」の画面を呼び出します。詳細画面の「ココ消し君」ボタンからも呼び出すことができます。



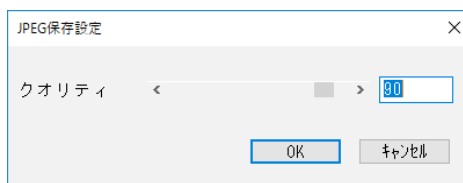
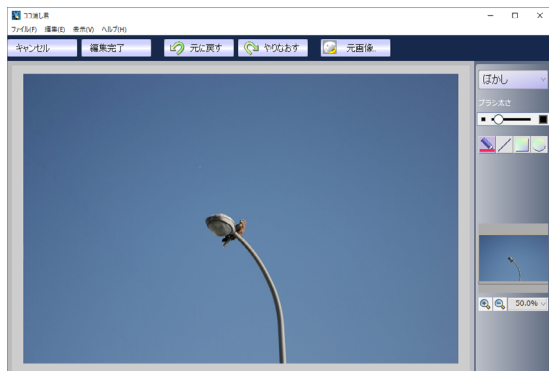
Step 2

「ココ消し君」で写真を加工します。



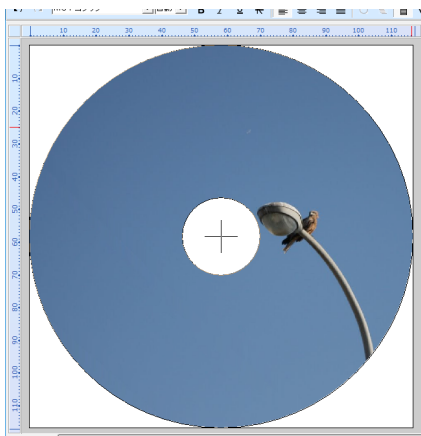
Step 3

「編集完了」ボタンをクリックします。JPEG の場合は、「JPEG 保存設定」画面で OK をクリックします。「ココ消し君」は自動で閉じます。



Step 4

「らくちん CD ラベルメーカー」に加工が反映されました。



3-24. 環境設定

アプリケーションの環境を設定する方法です。お使いの環境に応じてカスタマイズしてください。

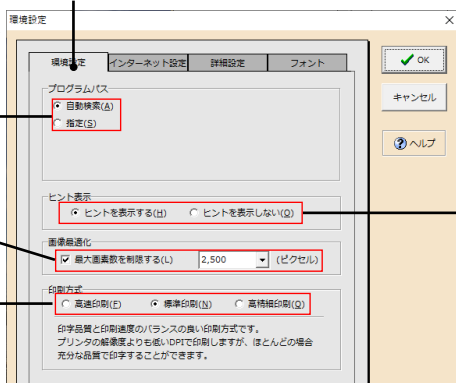
3-24-1. 環境設定

メニュー<ファイル(F)><環境設定(E)>を選択します。「環境設定」ダイアログが表示されます。

「環境設定」タブを選択しています。

画像データやテンプレートデータが格納されている場所を指定します。

画像データを印刷に最適な画素数に変換します。



※高速印刷に設定した場合、プリンタドライバによってはオブジェクトが印刷されないなどの現象がおきる可能性があります。高精細印刷はプリンタの解像度に合わせた印刷方法ですが、印刷に時間がかかる場合があります。

ボタンなどを、ポインタで一定時間あわせていると、そのボタンのヒントが表示されます。

印刷速度設定ができます。初期設定では、標準印刷に設定されています。

- ・高速印刷（印刷の速度を優先します。デザインイメージ通りに印刷されないことがあります）
- ・標準印刷（印字品質と印刷速度のバランスの良い印刷方式です）
- ・高精細印刷（プリンタの解像度に合わせた印刷方法ですが、印刷に時間がかかる場合があります）

「インターネット設定」タブを選択しています。



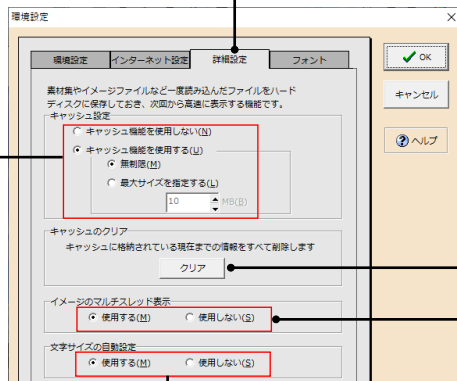
プロキシサーバーを使用した場合はプロキシサーバーで使用するアカウント名とパスワードを入力します。

チェックを入れると、お知らせをらくちんCDラベルメーカーを起動した時に表示しないようになります。

プロキシサーバーへの接続方法を設定します。プロキシサーバーを使用する場合は、システム管理者もしくはプロバイダから指定されたポート番号を入力してください。

「詳細設定」タブを選択しています。

素材集やイメージファイルなど一度読み込んだファイルをハードディスクに保存しておき、次回から高速に表示することができます。また、利用最大サイズを指定することもできます。

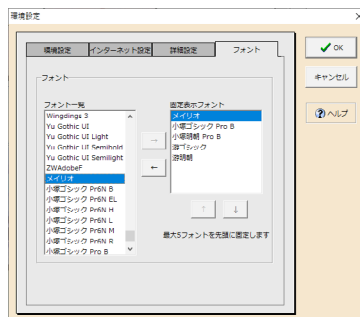


キャッシュに格納されているデータを消します。

通常は「使用する」をお選びください。

「使用する」にチェックを入れると、文字サイズがウィンドウサイズと連動して変化します。

フォントタブでの詳細は、「3-6-16. フォントの登録」を参照してください。

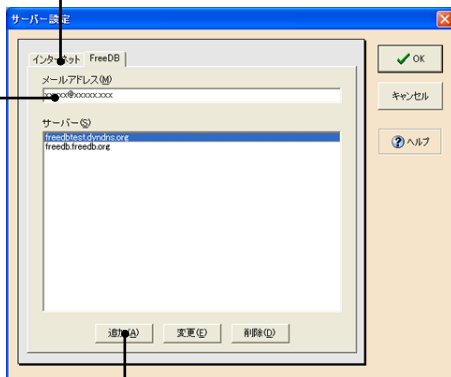


3-24-2. CDDB サーバー設定

CDDB の情報登録、情報取得する際の環境設定です。新しく接続サーバーを登録することができます。

環境設定と同様に、サーバーへのアクセス方法を指定します。

FreeDB を利用する際のメールアドレスを入力します。曲名データをデータベースに登録した場合などに、指定したアドレスにメールが送信されます。



新しくサーバーを追加することができます。サーバー名を入力してください。

制限事項

文字の表示と印刷

“らくちん CD ラベルメーカー” に使用されている文字が指定されているフォントやフォントサイズによって、画面表示と印刷時で位置や大きさに若干のずれが生じることがあります。このような時は、他のフォントに変更したり別のサイズに設定しなおしてください。

Windows のフォントサイズ

“らくちん CD ラベルメーカー” は、Windows の画面のプロパティで〈小さいフォント〉のサイズで画面デザインされていますので、〈大きいフォント〉などの設定でお使いになった場合、メッセージなどの表示がずれて表示されることがあります。

デジタルカメラなどの TWAIN 機器について

デジタルカメラやスキャナーなどの TWAIN 対応機器をご使用になる場合は、“らくちん CD ラベルメーカー 21” を使用して写真を取り込まれる前に、機器に付属している TWAIN ドライバやユーティリティソフトで画像が正しく取り込まれることを確認してからご使用ください。

TWAIN 機器をお使いになるためには、機器に付属している TWAIN ドライバのインストールが必要になります。また、デジタルカメラなどでは、パソコンとの接続キットが別売の場合もありますので、接続方法や接続に必要なキットなどは TWAIN 機器に付属のマニュアルでご確認ください。

※ “らくちん CD ラベルメーカー” は、32 ビット版の TWAIN ドライバに対応していますので、16 ビット版の TWAIN ドライバや規格に正しく準拠していない TWAIN ドライバの場合、ドライバ画面が正しく表示されなかったり、画像を正しく取り込めない場合があります。

印刷について

“らくちん CD ラベルメーカー” でラベルシートを印刷する際、お使いのプリンタによっては、印刷に時間。また、高画質のイメージをご使用の場合に、プリンタドライバによっては極端に大きい一時ファイルを作成することがありますのでご注意ください。

キヤノンピクサスかんたん印刷について

「キヤノンピクサスかんたん印刷」に対応したプリンタの機種などにつきましては、Canon の WEB サイトを参照ください。

ユーザーサポート

“らくちんCDラベルメーカー”の操作中に問題や疑問が生じた場合は、正規登録ユーザーの方に限りサポートを受けることができます。

ユーザー登録は、インターネットでのオンライン登録をお願い致します。

詳細は、ユーザー登録カードの「ユーザー登録について」（シリアル番号が記載された用紙）をご参照ください。

また、同紙に記載された「お客様控えシリアル番号」はユーザーサポートの際に必要ですので、紛失しないように保管してください。

お問い合わせの前に以下の事項をご確認ください。

1. パソコン本体のメーカー名と機種名（型番）・OSの種類とバージョン・ドライババージョン
2. 印刷に関係するご質問の場合はプリンタ名と機種名（型番）
3. 具体的な症状や疑問点

株式会社メディアナビ ユーザーサポート係

〒150-0011 東京都渋谷区東 1-10-9 リマージュ K 2F

受付時間 10：00～12：00／13：00～16：00（平日：月～金）

TEL：03-5467-1781 FAX：03-5467-1780

2021年3月19日 第一版発行

■開発

株式会社モノリス

Monolith

■企画・販売

株式会社メディアナビ

MEDIA NAVI

〒150-0011 東京都渋谷区東 1-10-9 リマージュ K 2F

Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iTunes 及び iPod は、米国及びその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

収録している写真の一部はdigitalvisionより使用許諾を得ています。

その他、本文中に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

©1998-2021 MEDIA NAVI, Inc. All rights reserved.

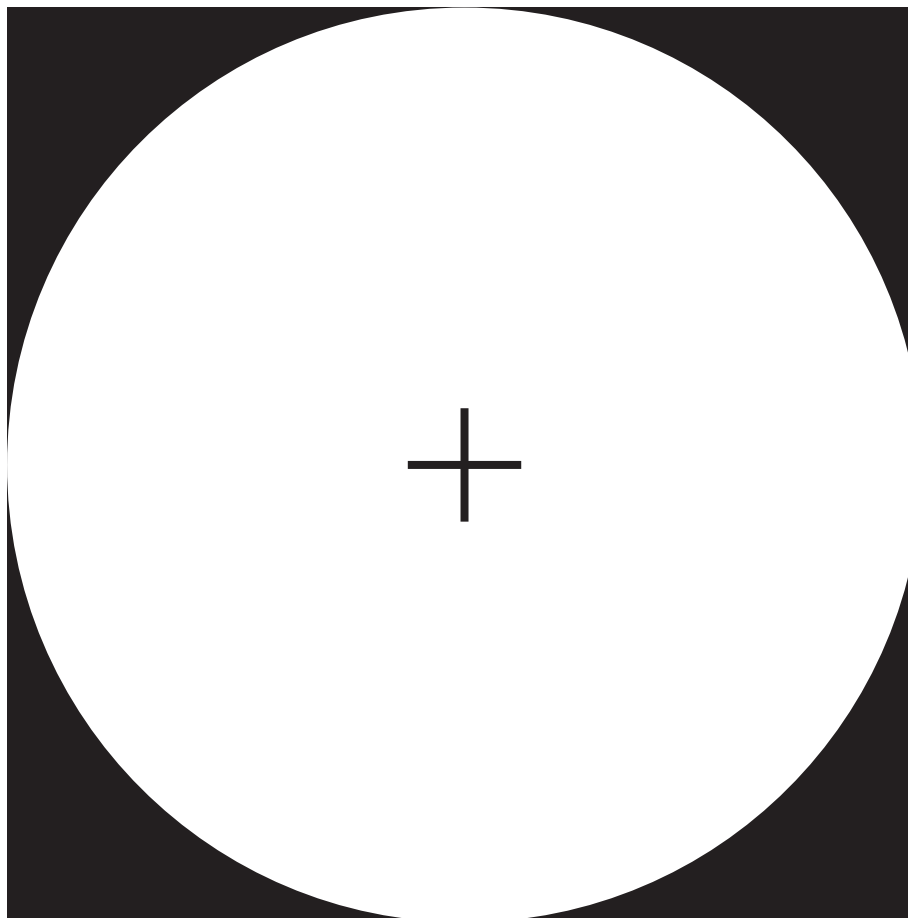


● ユーザーズマニュアル ●

MEDIA NAVI

ディスクスキャン台紙

この下の枠の中にディスクを置いて撮影して下さい。



【撮影方法】

- ①黒枠内の + マークにディスクの中心を合わせて置いてください。
- ②スマートフォンでディスクを撮影します。
本体を横向きにして撮影してください。
斜め上から撮影すると、照明などの映り込みを軽減することができます。
- ③撮影後はスキャン・補正画面で平面補正を行います。

※この台紙は繰り返しご使用いただけます。

※ディスクスキャンの詳しい操作方法は
マニュアルをご覧ください。